

第375回

地震調査委員会 資料

2022年7月11日

GNSS関連資料の見方

1. 解析の種類

GEONET では、軌道暦と解析に用いるデータの組合せにより最終解(F5)、速報解(R5)、迅速解(Q5)の3種類の解析を実施しています(下表参照)。1日間のデータは UTC の 0:00~23:59 で解析しています。各解析の詳細につきましては、国土地理院時報 134 集(2021)をご参照下さい。

(<https://www.gsi.go.jp/REPORT/JIHO/vol134-main.html>)

表 解析の種類による軌道暦等の違い

解析の種類	軌道暦	解析に用いるデータ	解の間隔	解析結果
F5(最終解)	IGS 最終暦	24 時間分	1 日	2~3 週間後
R5(速報解)	IGS 速報暦	24 時間分	1 日	2 日後
Q5(迅速解)	IGS 超速報暦	6 時間分	3 時間	約 3 時間後

2. 電子基準点の保守

電子基準点の安定運用を図るため保守及び器材の更新を実施しています。その際、受信機やアンテナの機種を変更することにより、F5解等の解析結果にオフセットが生じることがあります。この場合、F5解を基にオフセット量を算出し、資料作成時に補正を行っています。なお、変動ベクトル図・変動ベクトルの差の図では、この補正を行った観測点を白抜き矢印で表示し、未補正の観測点は表示から外しています。

国土地理院で行っているオフセット補正の詳細につきましては、国土地理院時報 118 集(2009) (GPS 連続観測システム (GEONET) 解析結果に生じる人為的要因によるオフセットの補正手法について <http://www.gsi.go.jp/common/000054719.pdf>)をご参照下さい。

3. 2 期間の地殻水平変動ベクトルの差—○○—

期間①の変動ベクトルと期間②の変動ベクトルの差を表示しています(下図参照)。

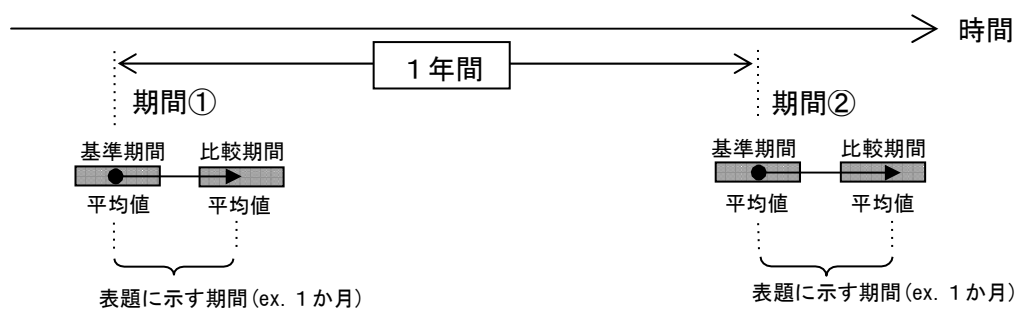
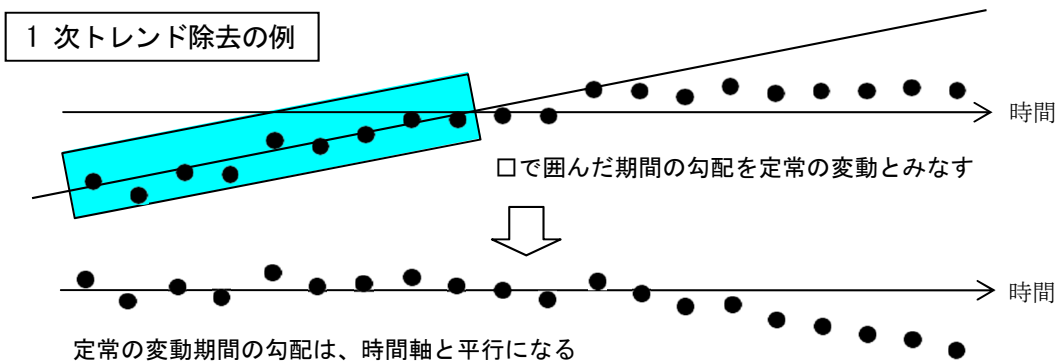


図 「2 期間の地殻水平変動ベクトルの差」の説明

4. 1 次トレンド・年周・半年周成分除去

より詳細な変動を見るために、定常の変動とみなした期間における 1 次トレンド・年周・半年周の成分を推定し、全期間から差し引いています。これにより、非定常的な変動を見やすくすることができます。定常とみなした期間は「計算期間」として、グラフ及びベクトル図に表示しています。



5. 基線ベクトル成分の速度

余効変動のような緩やかな非定常変動の推移を見積もる方法として、基線ベクトル成分の速度をプロットしています。基線ベクトル成分の速度は、指定された日数（下図の例では60日間）の変化の1次トレンドとして計算し、計算期間の中間日にプロットしています。この計算を1日ずつずらしてグラフにしています。

更に定常とみなした変動からの離れ具合を表すために、グラフ内の左上に「Linear Trend (期間)」として示す期間について基線ベクトル成分の変化から、1次トレンド、年周・半年周成分を推定し、得られた1次トレンドの値を平均的な速度として一定の値の横棒で表しています。



6. 移転

移転した電子基準点は、移転前の点と別個の点として扱われます。そのため、地殻変動観測の継続性を保つために、移転前・移転後の座標時系列を結合して資料を作成しています。この場合、時系列グラフには移転した点の名前と移転日の注記を入れています。

7. 解析時の固定点について

F5解析及びR5解析では、茨城県の「つくば1」(92110)を解析固定点としており、その座標値は世界各地の観測データから算出する手法を採用しています。一方、Q5解析では解析固定点を福岡県の「前原」(950450)とし、その座標値はノミナルな値で与えています。このため、F5解析及びR5解析とQ5解析を比較した場合、座標値に見かけ上の差が生じますが、通常、基線ベクトルを形成することで、その差は相殺されます。ただし、1000kmを超えるような長距離基線では、最大で数ミリのずれが残ることがあります。

8. 出典

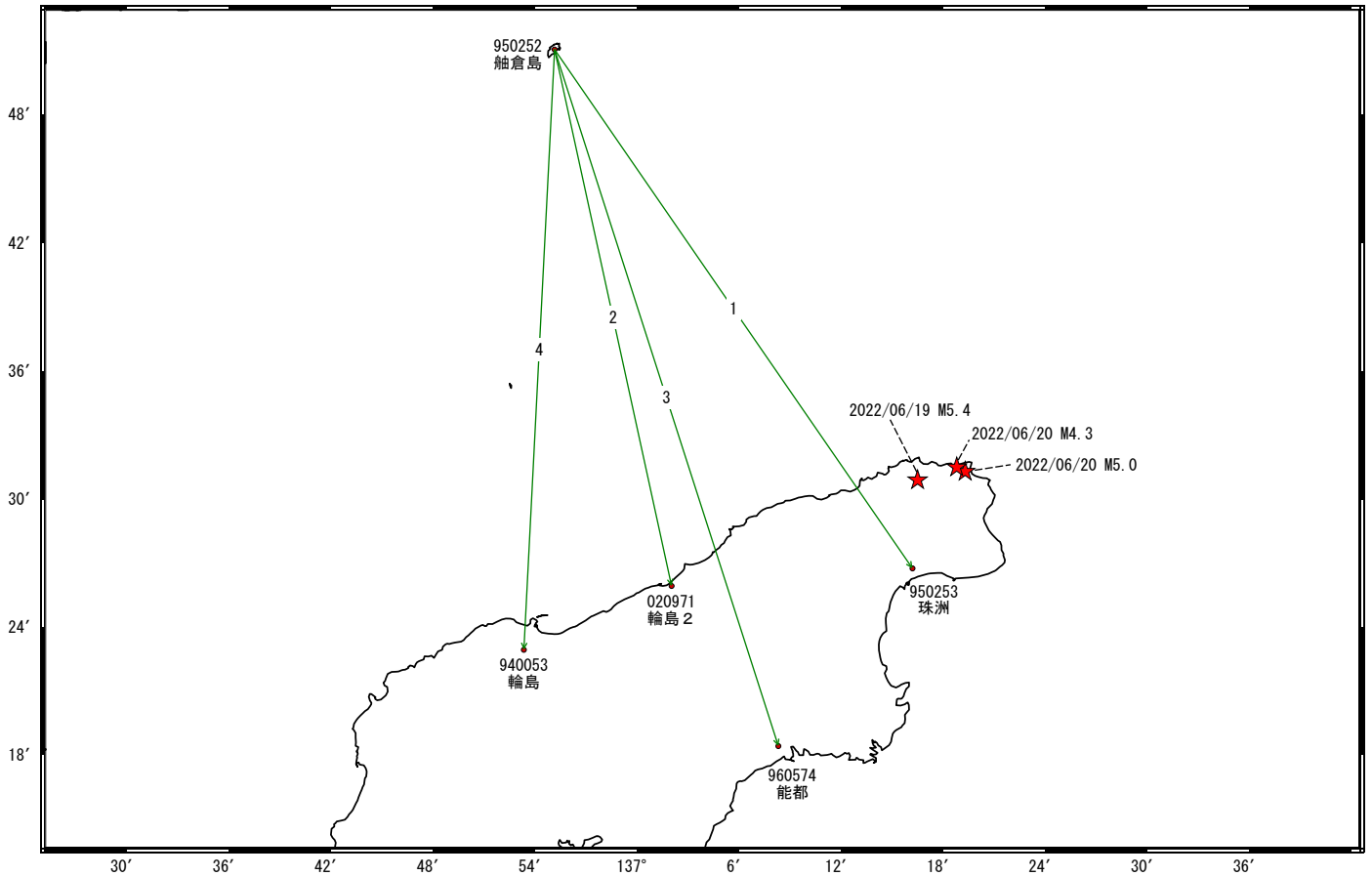
本資料を利用する際は、出典の記載をお願いします。

(出典記載例) 「出典：国土地理院」

石川県能登地方の地震(6月19日 M5.4)前後の観測データ (暫定)

この地震に伴う顕著な地殻変動は見られない。

基線図

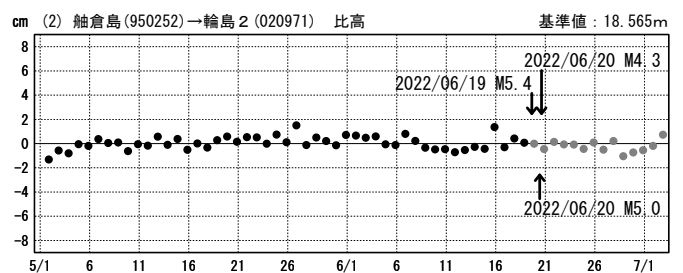
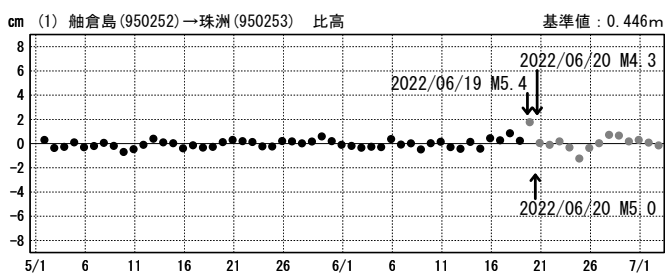
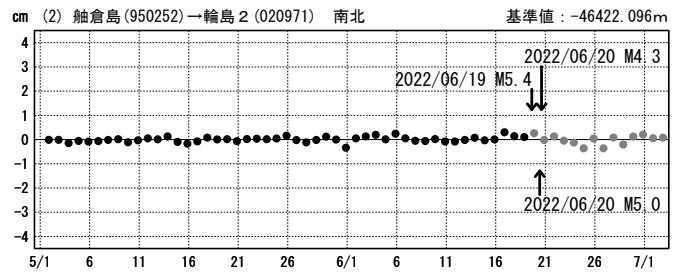
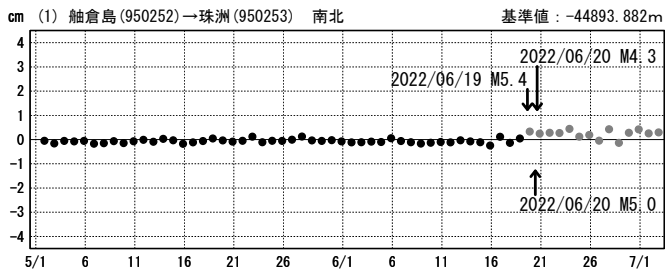
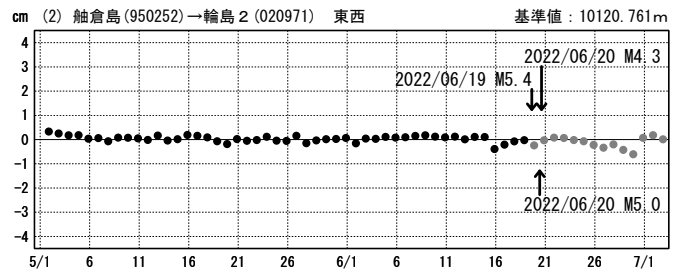
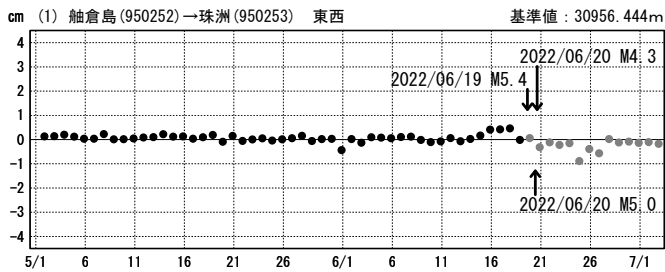


★ 震央

成分変化グラフ

期間: 2022/05/01~2022/07/02 JST

期間: 2022/05/01~2022/07/02 JST



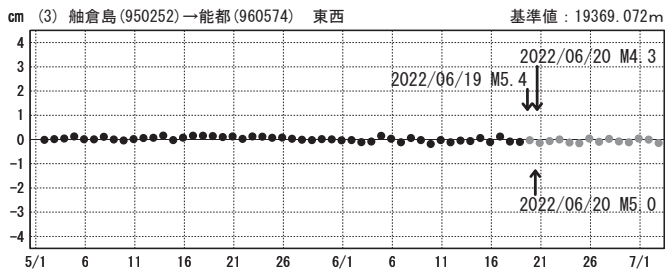
※電子基準点「珠洲」の位置が、地震に伴いごくわずかに変化した可能性がある。

●---[F5:最終解] ●---[R5:速報解]

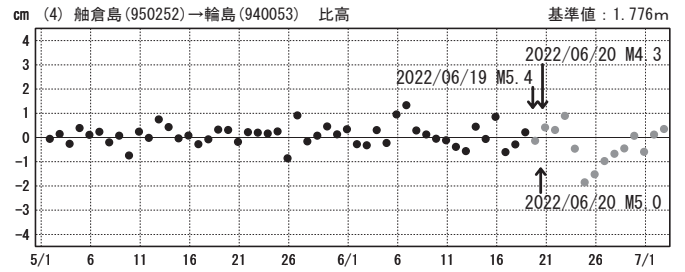
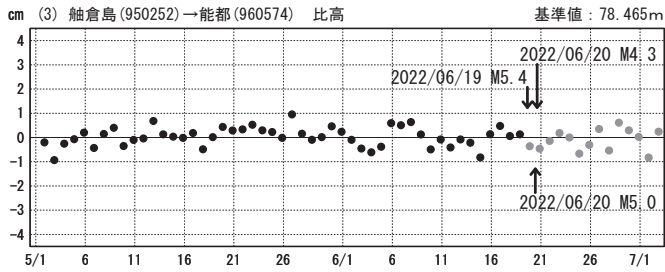
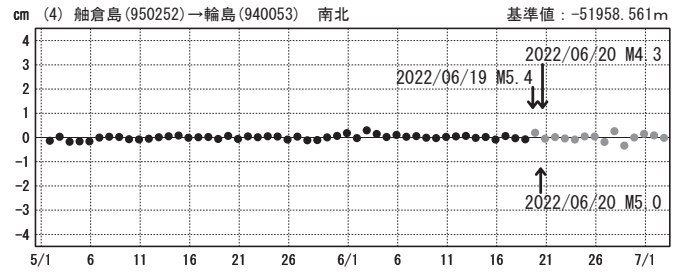
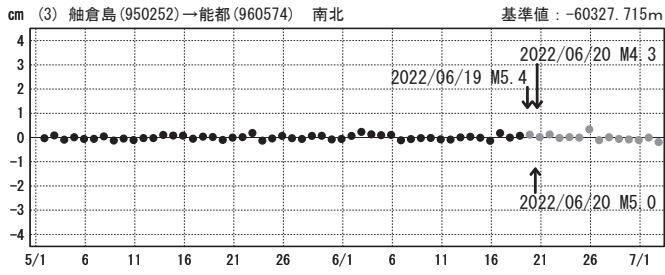
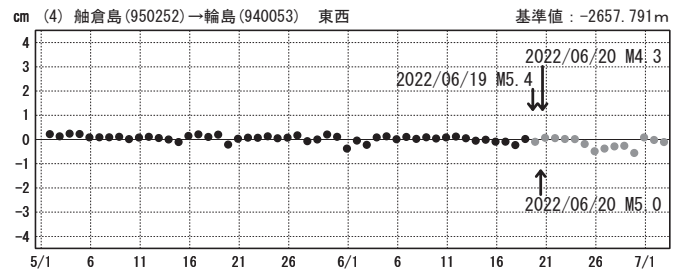
石川県能登地方の地震(6月19日 M5.4)前後の観測データ (暫定)

成分変化グラフ

期間: 2022/05/01~2022/07/02 JST



期間: 2022/05/01~2022/07/02 JST



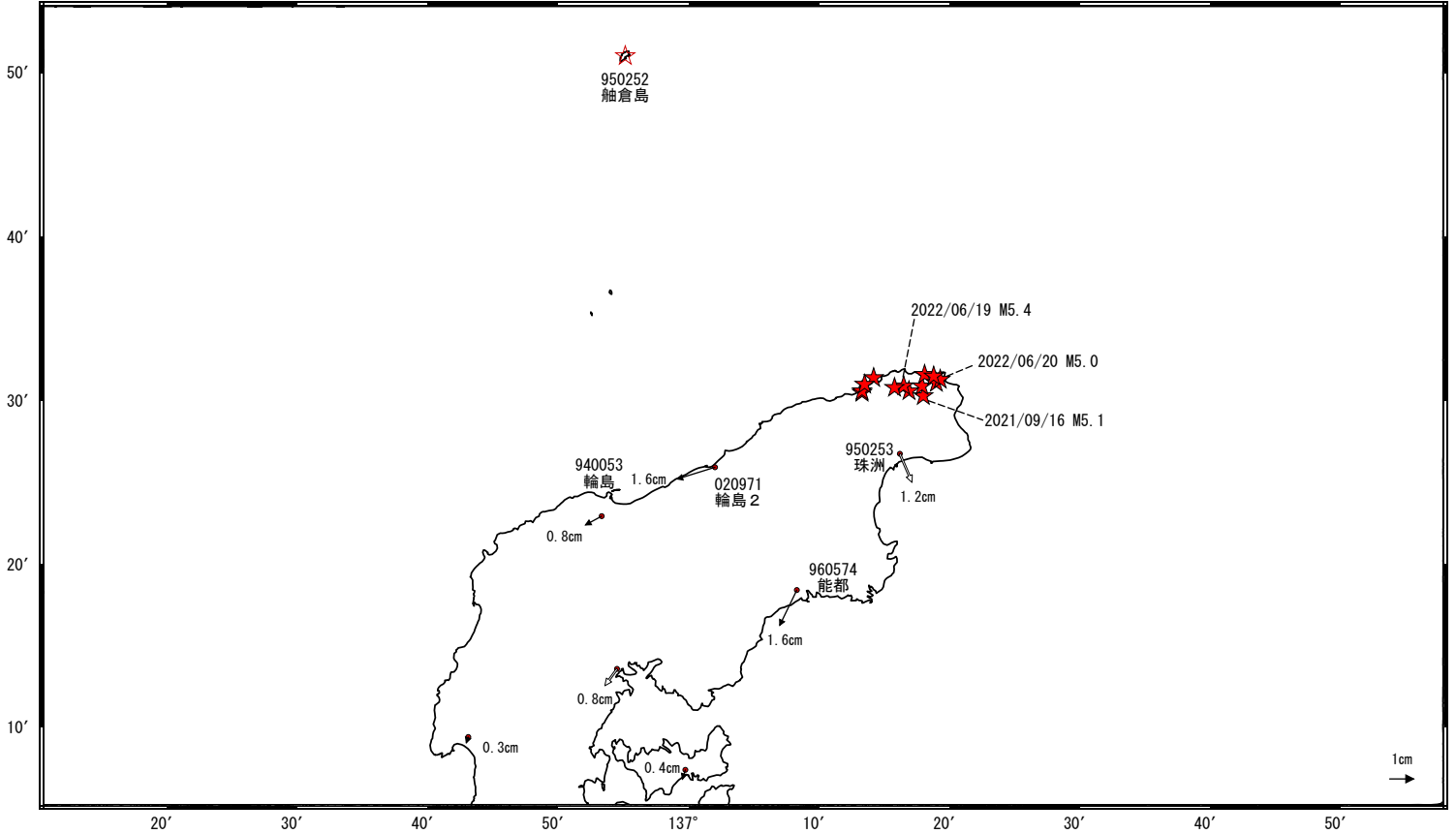
●---[F5:最終解] ●---[R5:速報解]

石川県能登地方の地震活動時の観測データ（暫定）

ベクトル図（水平） （一次トレンド・年周成分・半年周成分除去後）

基準期間：2020/11/01～2020/11/07[F5:最終解]
比較期間：2022/06/26～2022/07/02[R5:速報解]

計算期間：2017/09/01～2020/09/01

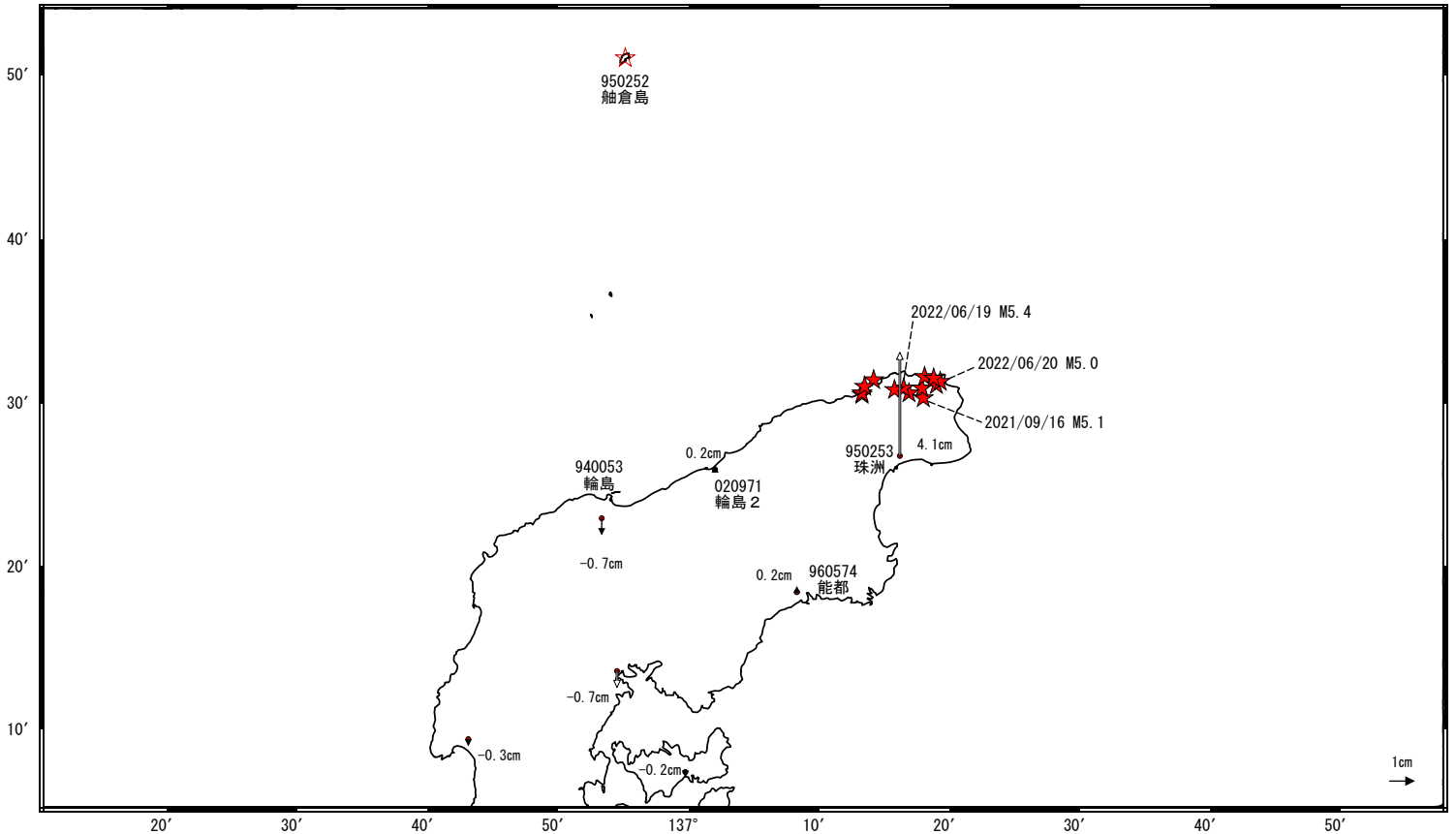


☆ 固定局：舳倉島 (950252)

ベクトル図（上下） （一次トレンド・年周成分・半年周成分除去後）

基準期間：2020/11/01～2020/11/07[F5:最終解]
比較期間：2022/06/26～2022/07/02[R5:速報解]

計算期間：2017/09/01～2020/09/01



☆ 固定局：舳倉島 (950252)

★ 震央

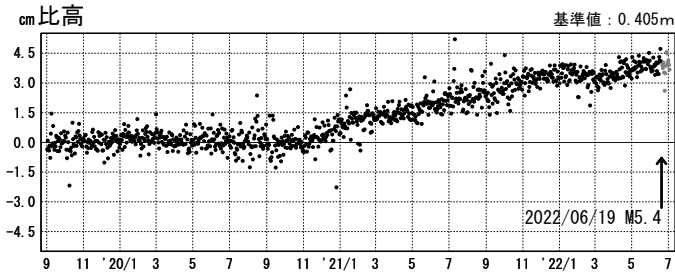
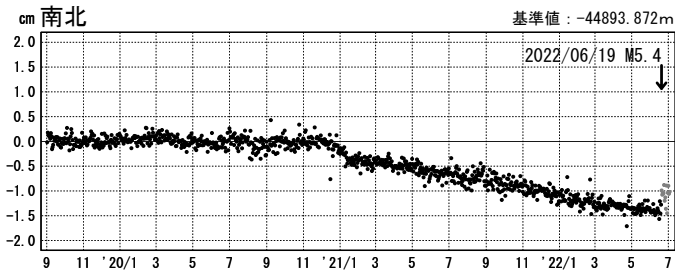
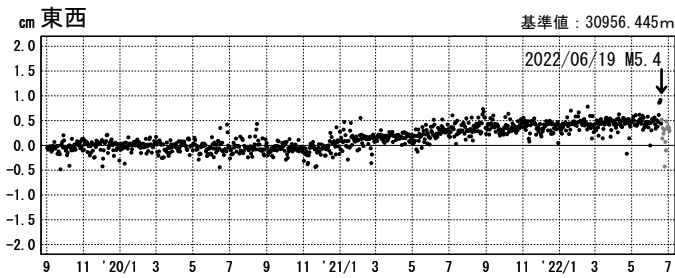
※電子基準点「珠洲」の位置が、地震に伴いごくわずかに変化した可能性がある。

石川県能登地方の地震活動時の観測データ（暫定）

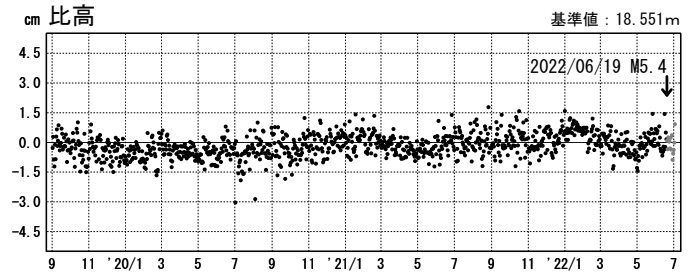
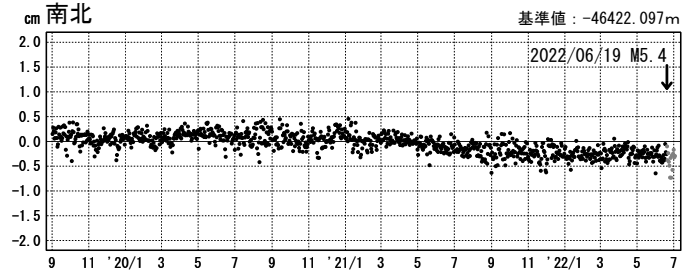
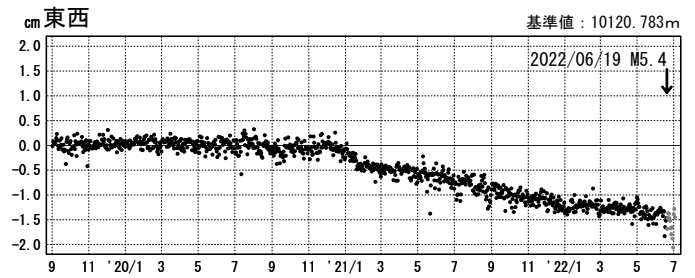
一次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

期間：2019/09/01～2022/07/02 JST 計算期間：2017/09/01～2020/09/01

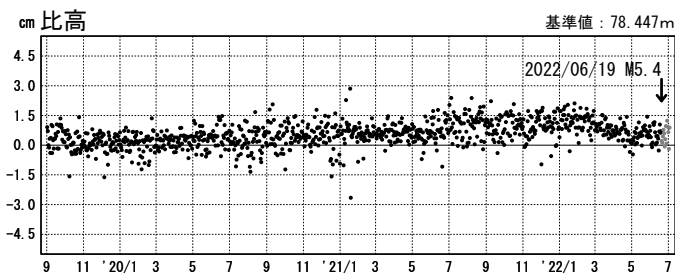
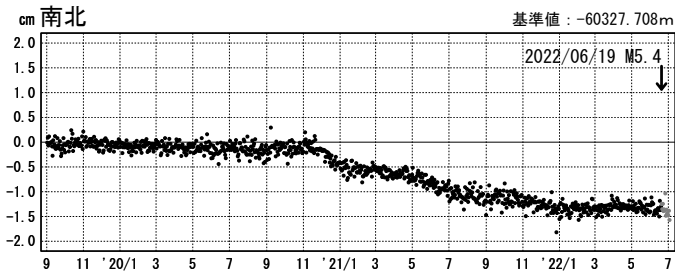
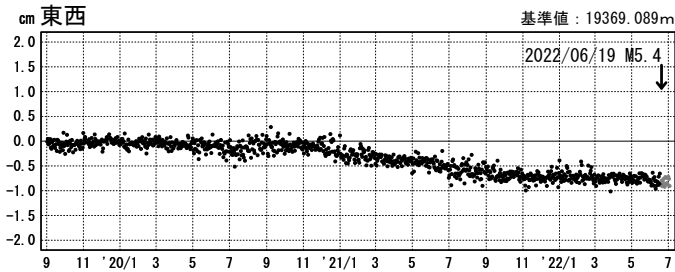
(1) 舢倉島(950252)→珠洲(950253)



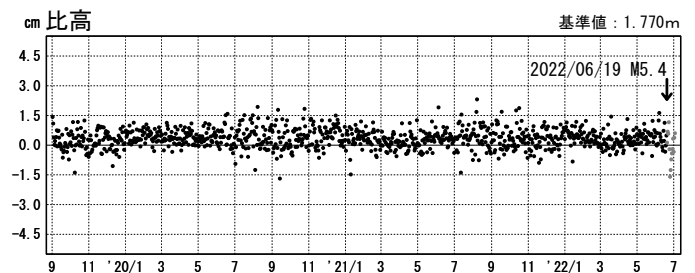
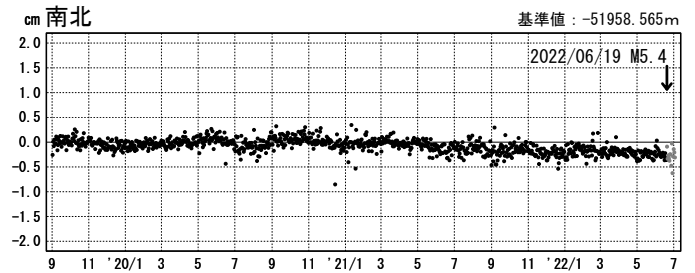
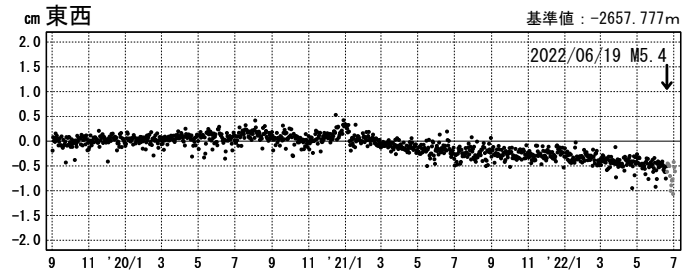
(2) 舢倉島(950252)→輪島2(020971)



(3) 舢倉島(950252)→能都(960574)



(4) 舢倉島(950252)→輪島(940053)

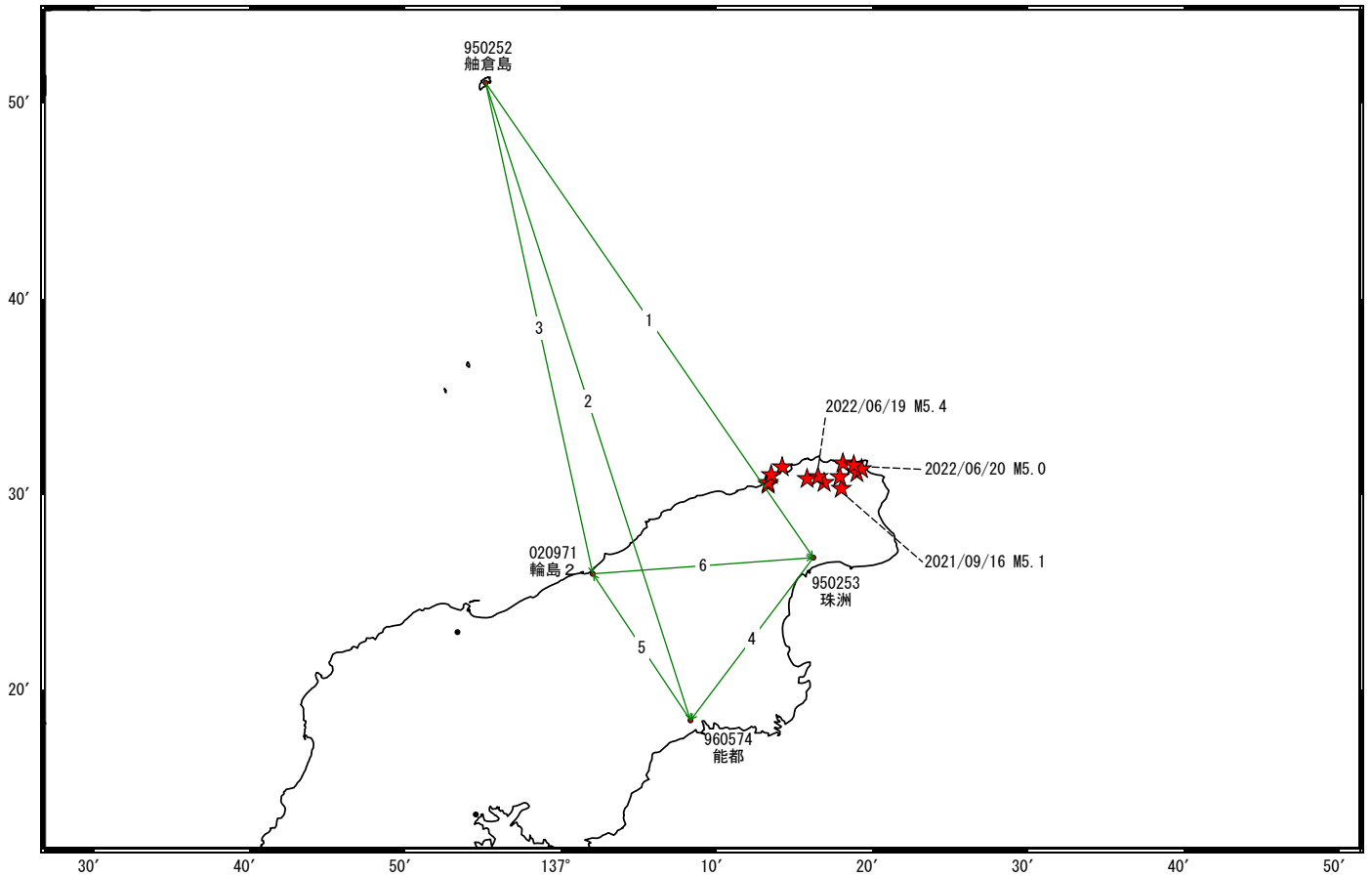


●---[F5:最終解] ●---[R5:速報解]

※電子基準点「珠洲」の位置が、地震に伴いごくわずかに変化した可能性がある。

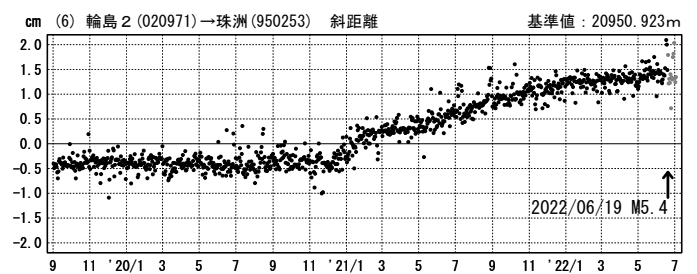
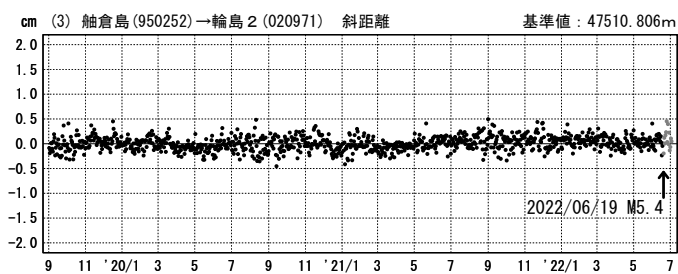
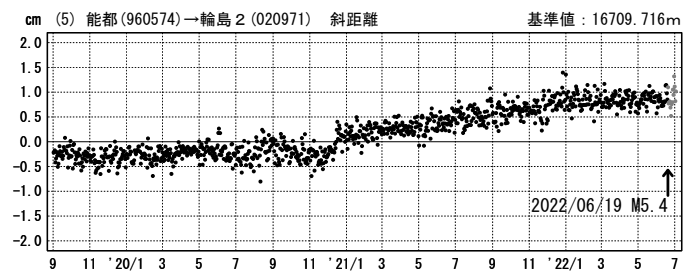
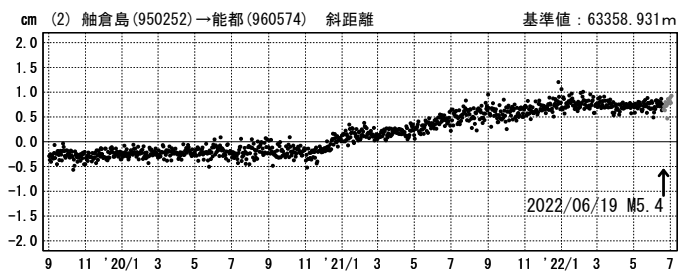
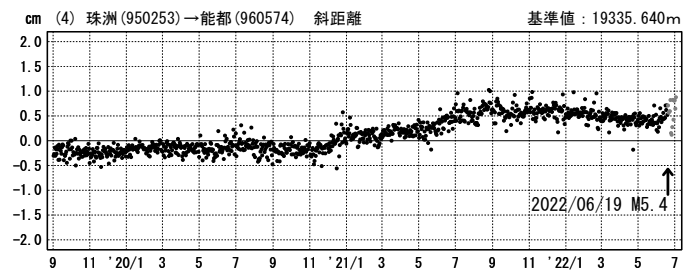
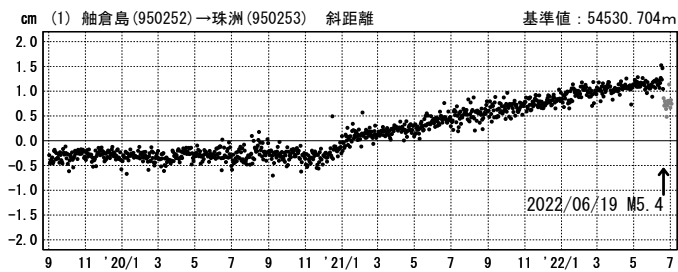
石川県能登地方の地震活動時の観測データ（暫定）

基線図



斜距離（一次トレンド・年周成分・半年周成分除去後）

期間：2019/09/01～2022/07/02 JST 計算期間：2017/09/01～2020/09/01



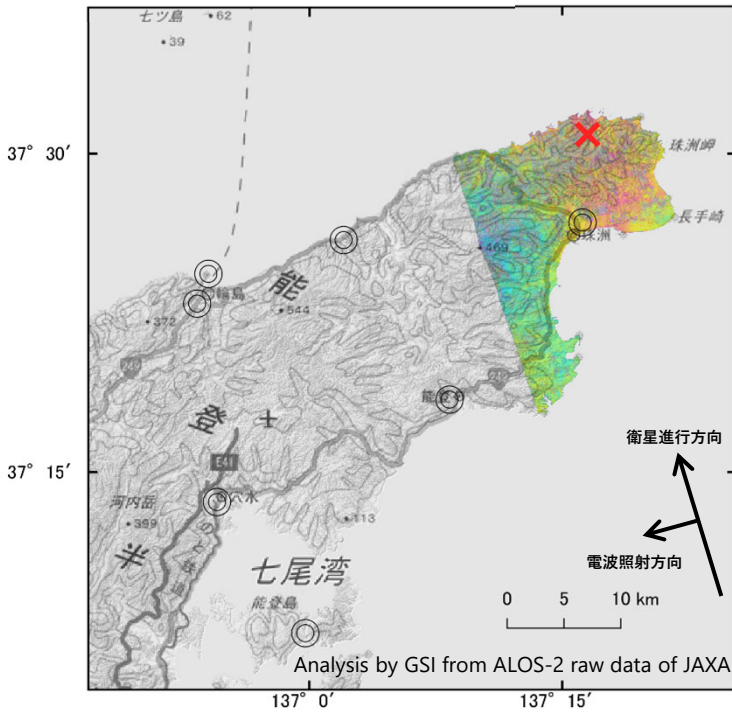
●—[F5:最終解] ●—[R5:速報解]

※電子基準点「珠洲」の位置が、地震に伴いごくわずかに変化した可能性がある。

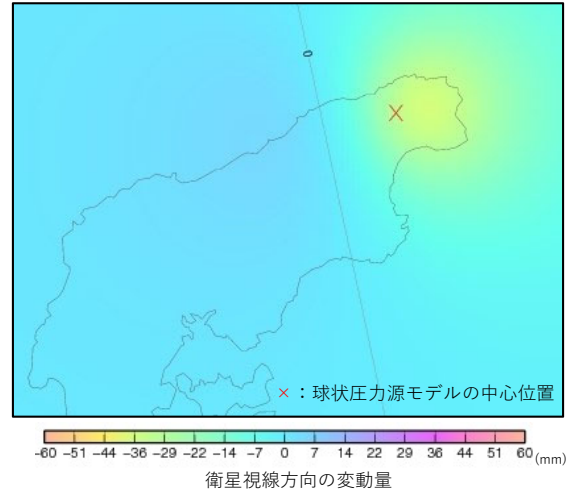
「だいち2号」観測データの干渉解析による 石川県能登地方の地震（2022年6月19日）の地殻変動

この地震によるノイズレベルを超える地殻変動は見られません。本解析結果には2020年11月からの隆起を伴う地殻変動が含まれている可能性があります。

(a) 2020-11-22~2022-06-19



球状圧力源モデルから推定した累積変動量

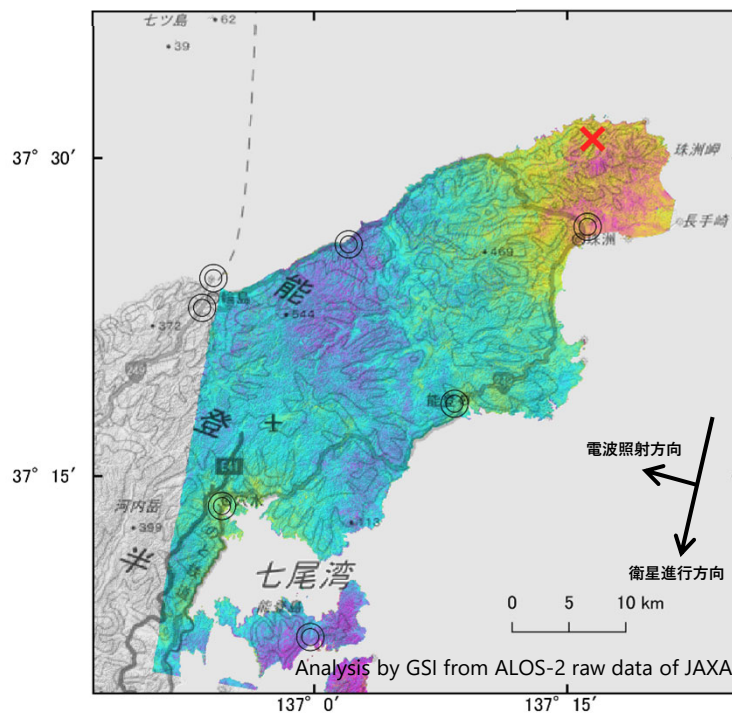


モデル推定に用いたGNSSデータの期間：
2020年11月~2022年5月

モデルのパラメータ

経度：137.24766°，緯度：37.48470°
深さ：13.49 km，体積変化量：39.016 × 10⁶ m³

(b) 2020-11-08~2022-06-05

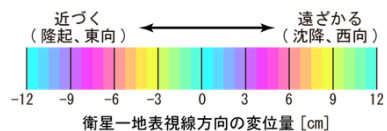


	(a)	(b)
衛星名	ALOS-2	ALOS-2
観測日時	2020-11-22 2022-06-19 22:50頃 (574日間)	2020-11-08 2022-06-05 11:56頃 (574日間)
衛星進行方向	北行	南行
電波照射方向	左(西)	右(西)
観測モード*	U-U	U-H
入射角	55.2°	36.3°
偏波	HH	HH
垂直基線長	-109 m	+159 m

* U：高分解能(3m)モード
H：高分解能(6m)モード

◎ 国土地理院GNSS観測点

✕ 震央 2022-06-19 15:08
深さ13km M5.4 (気象庁発表)



背景：地理院地図 標準地図・陰影起伏図・傾斜量図

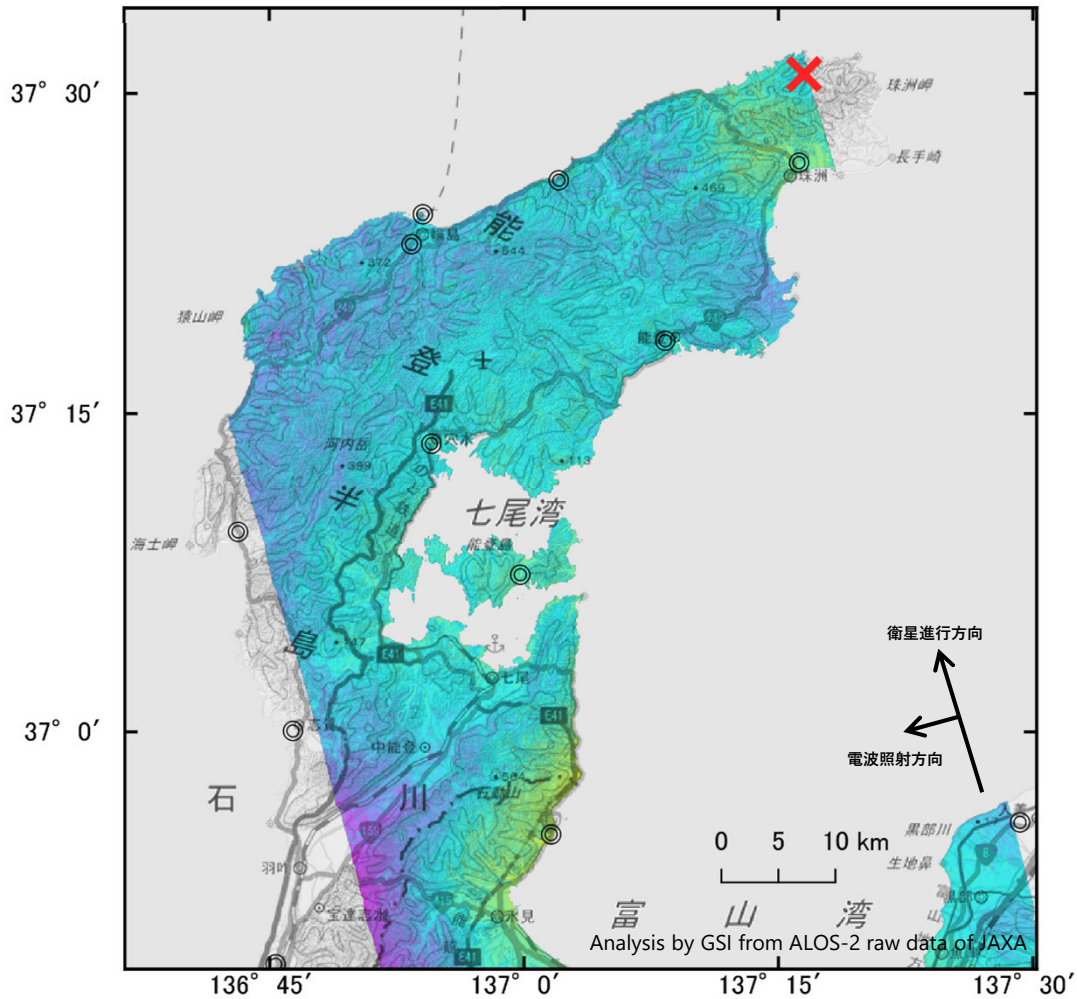
本解析で使用したデータの一部は、地震予知連絡会SAR解析ワーキンググループの活動を通して得られたものです。対流圏遅延補正には、気象庁数値予報格子点データを使用しています。

国土地理院

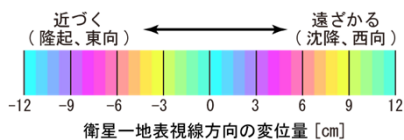
「だいち2号」観測データの干渉解析による 石川県能登地方の地震（2022年6月19日）の地殻変動

ノイズレベルを超える地殻変動は見られません。

2022-05-23~2022-06-20



◎ 国土地理院GNSS観測点
 × 震央 2022-06-19 15:08
 深さ13km M5.4 (気象庁発表)



衛星名	ALOS-2
観測日時	2022-05-23 2022-06-20 23:10頃 (28日間)
衛星進行方向	北行
電波照射方向	左(西)
観測モード*	U-U
入射角	32.5°
偏波	HH
垂直基線長	+ 129 m

* U：高分解能(3m)モード

背景：地理院地図 標準地図・陰影起伏図・傾斜量図

本解析で使用したデータの一部は、地震予知連絡会SAR解析ワーキンググループの活動を通して得られたものです。対流圏遅延補正には、気象庁数値予報格子点データを使用しています。

国土地理院

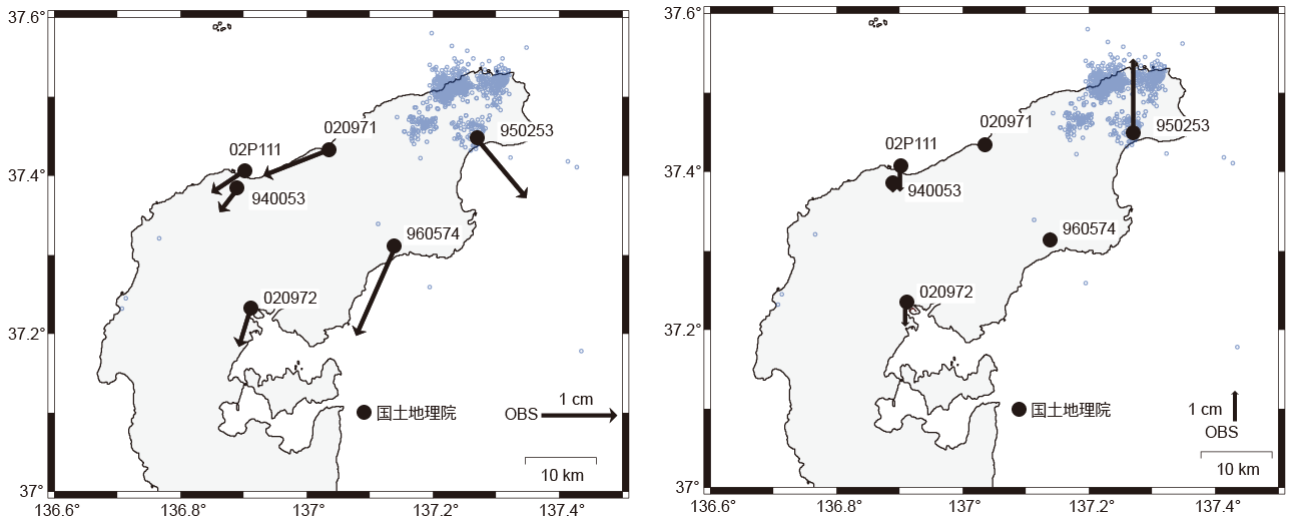
石川県能登地方の非定常地殻変動のモデルについて（その1）

2020年12月頃から石川県能登地方で観測されている非定常地殻変動について、1) 球状圧力源、2) 開口割れ目、3) 逆断層を仮定した地殻変動モデル推定を行った。その結果、いずれのメカニズムでも観測データをある程度説明できることが分かった。

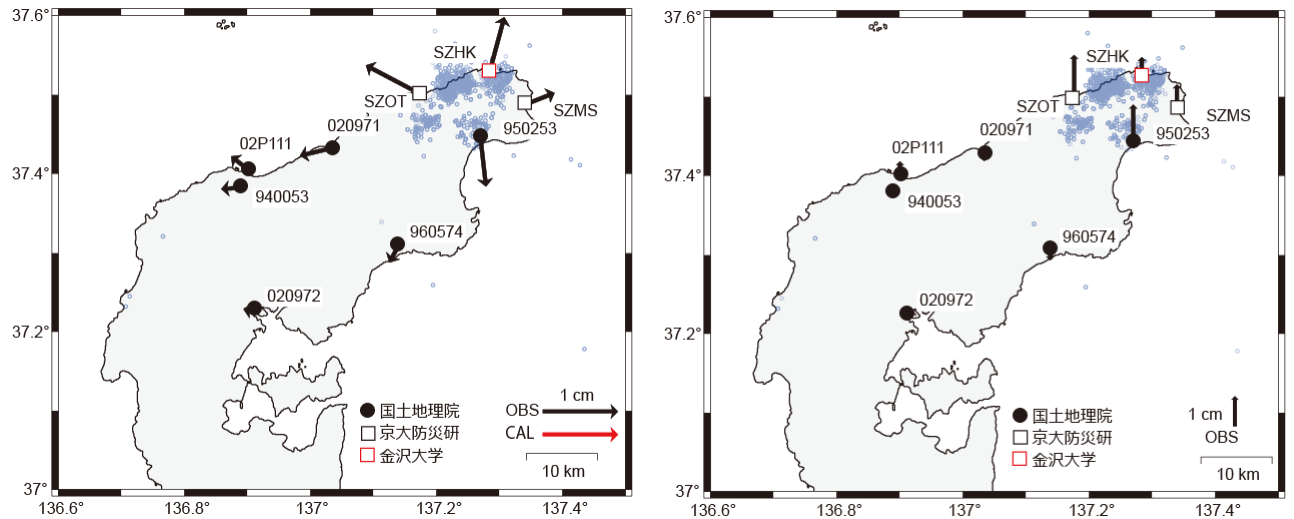
【使用データ】

- ・ 国土地理院 電子基準点
 - ・ 電子基準点日々の座標値 (F5: 最終解)
 - ・ 2017/09/01~2020/09/01 のデータを用いて推定された変位速度によるトレンド補正
 - ・ 京都大学防災研究所・金沢大学 GNSS 観測点
 - ・ GIPSYX Ver1.4 による PPP 解析
 - ・ 周辺の電子基準点の変位速度をスプライン補間して得られた変位速度によるトレンド補正
- 固定点：舳倉島(950252)

【期間1】 基準期間：2020/11/10~11/20 比較期間：2021/09/06~9/16



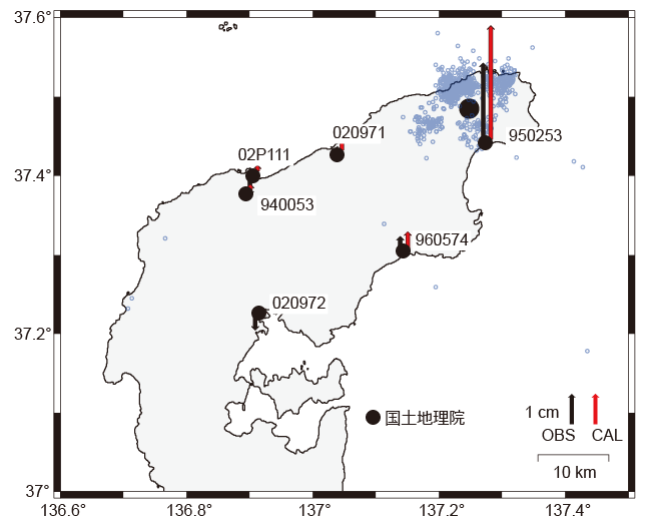
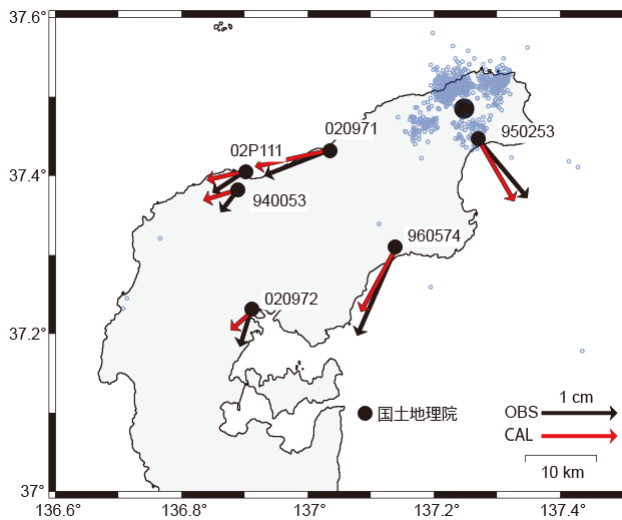
【期間2】 基準期間：2021/09/08~09/18 比較期間：2022/05/06~5/16



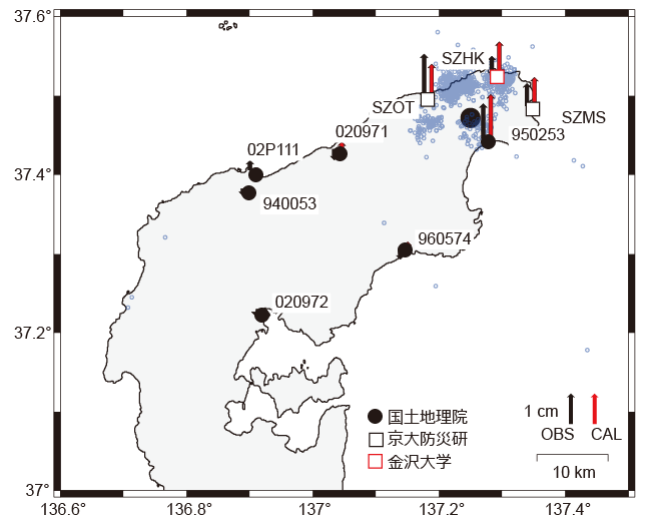
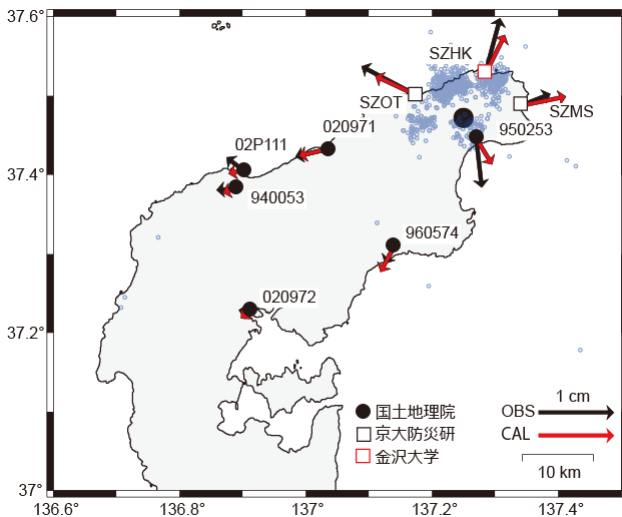
変動ベクトル図。青丸は2020年11月1日~2021年5月31日までの気象庁一元化震源 (M>=1、深さ20km以浅; リサンプル1/10)

1) 球状圧力源 (AIC=93)

【期間 1】 基準期間：2020/11/10～11/20 比較期間：2021/09/06～9/16



【期間 2】 基準期間：2021/09/08～09/18 比較期間：2022/05/06～5/16



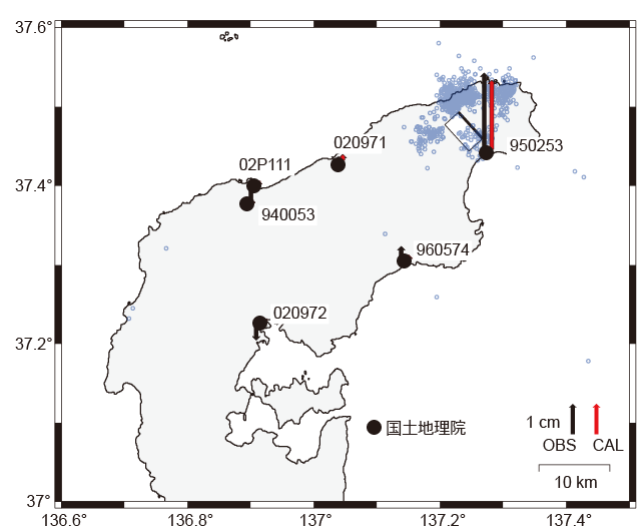
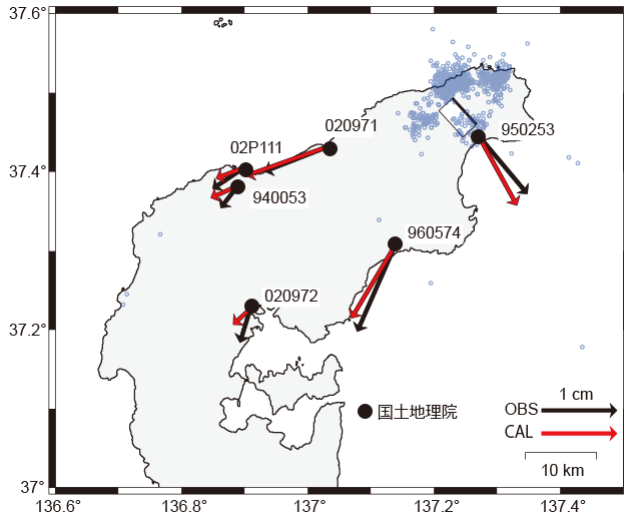
推定した地殻変動モデル（球状圧力源）と観測・計算値の比較。黒丸が推定された球状圧力源位置を表す。

経度(°)	緯度(°)	深さ(km)	期間 1 dV (10 ⁶ m ³)	期間 2 dV (10 ⁶ m ³)
137.250	37.472	12.2	26.1	10.1
0.003	0.003	0.7	2.4	1.3

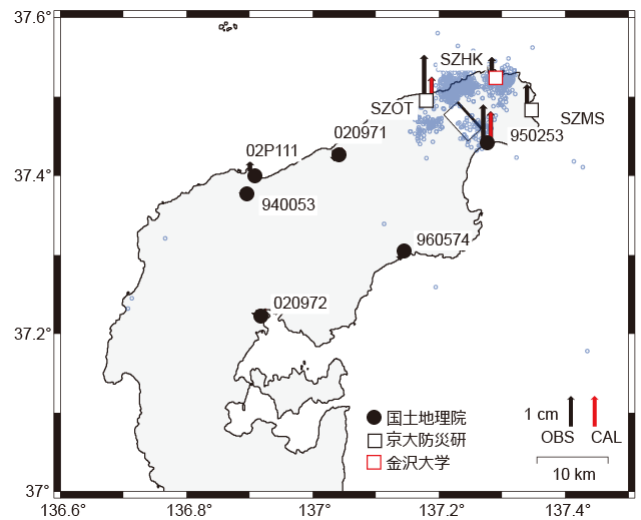
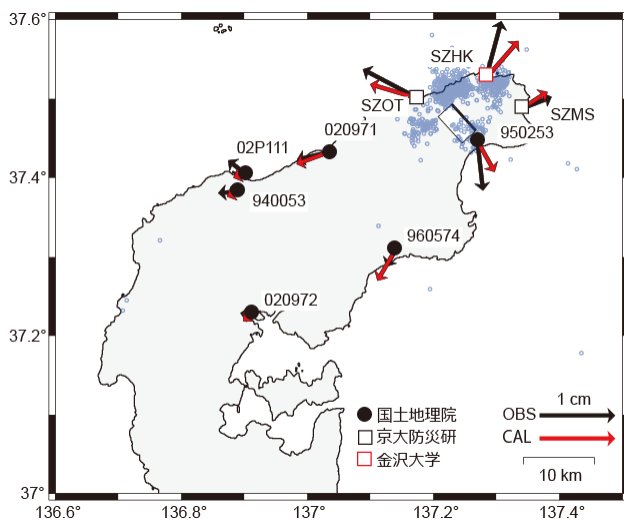
*下段は誤差 (1sigma)

2) 開口割れ目 (AIC=87)

【期間 1】 基準期間：2020/11/10～11/20 比較期間：2021/09/06～9/16



【期間 2】 基準期間：2021/09/08～09/18 比較期間：2022/05/06～5/16



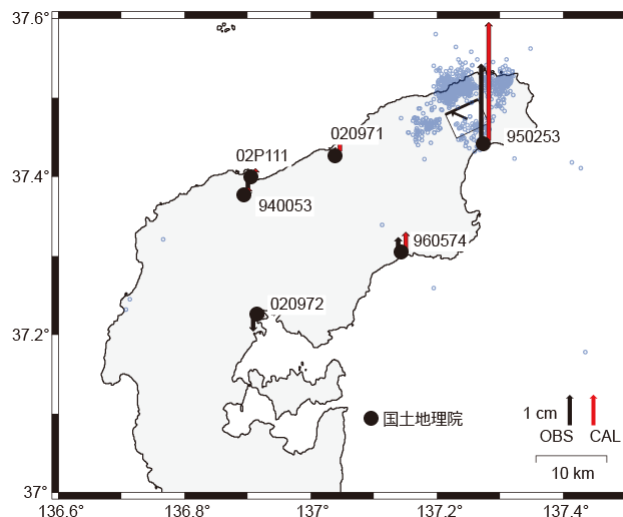
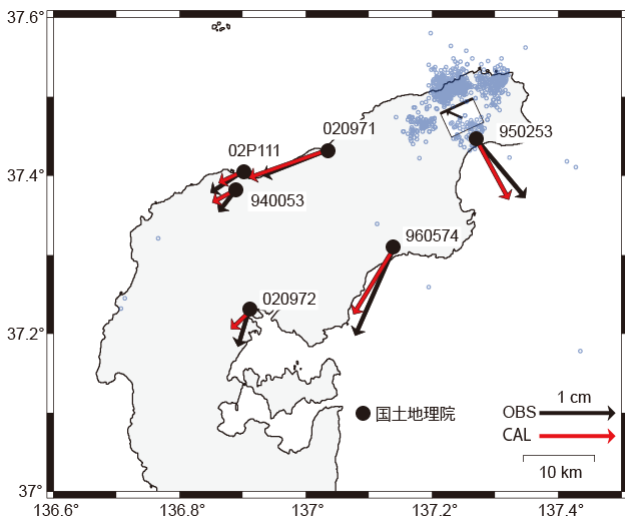
推定した地殻変動モデル（開口割れ目）と観測・計算値の比較。矩形領域は推定された開口割れ目の位置を表す。

経度(°)	緯度(°)	深さ(km)	長さ(km)	幅(km)	走向(°)	傾斜(°)	期間 1	期間 2
							開口量(m)	開口量(m)
137.236	37.469	4.1	5	5	136	59	0.56	0.22
0.004	0.003	0.4	-	-	2	2	0.03	0.02

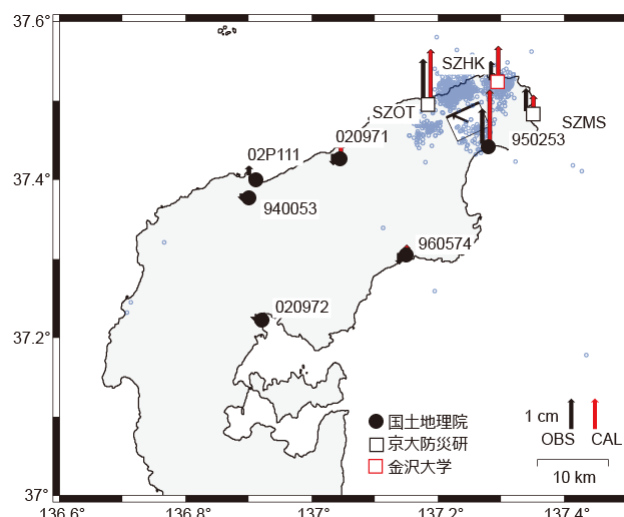
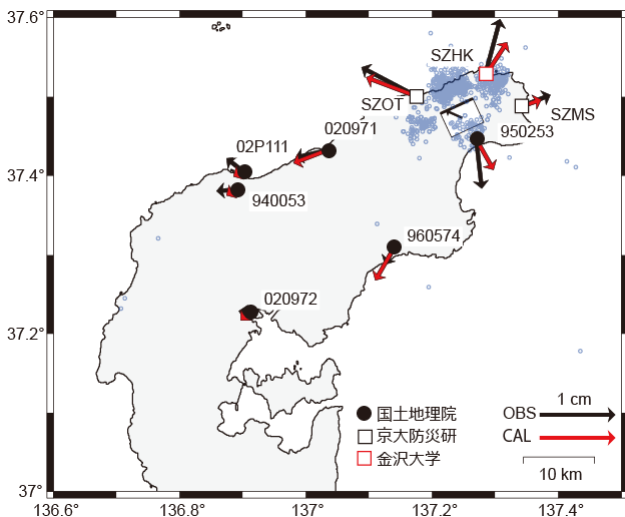
*太字は固定値、下段は誤差(1sigma)

3) 逆断層 1 (AIC=98)

【期間 1】 基準期間：2020/11/10～11/20 比較期間：2021/09/06～9/16



【期間 2】 基準期間：2021/09/08～09/18 比較期間：2022/05/06～5/16



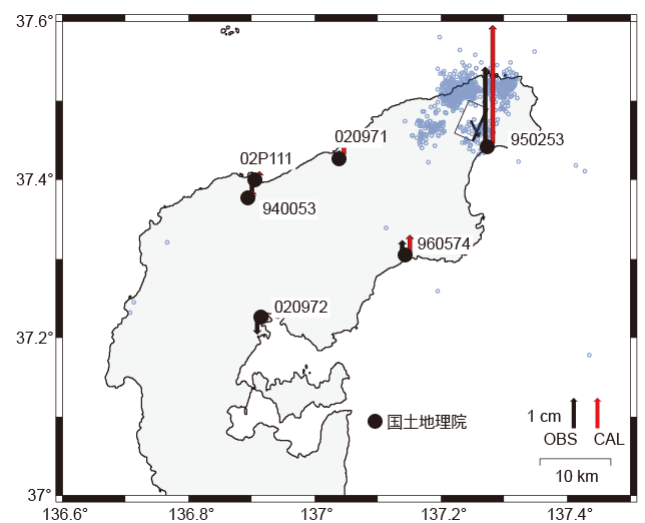
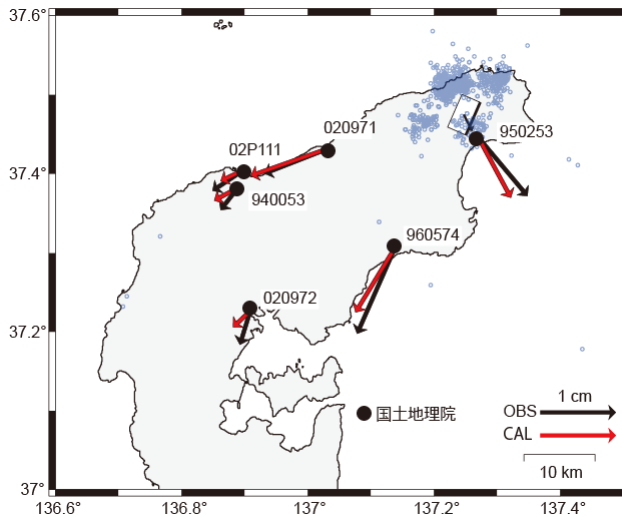
推定した地殻変動モデル（逆断層）と観測・計算値の比較。矩形領域は推定された断層位置を表す。

経度(°)	緯度(°)	深さ(km)	長さ(km)	幅(km)	走向(°)	傾斜(°)	滑り角(°)	期間 1 滑り量(m)	期間 2 滑り量(m)
137.245	37.476	14.3	5	5	62	44	121	2.04	0.94
0.004	0.004	1.1	-	-	6	4	5	0.22	0.10

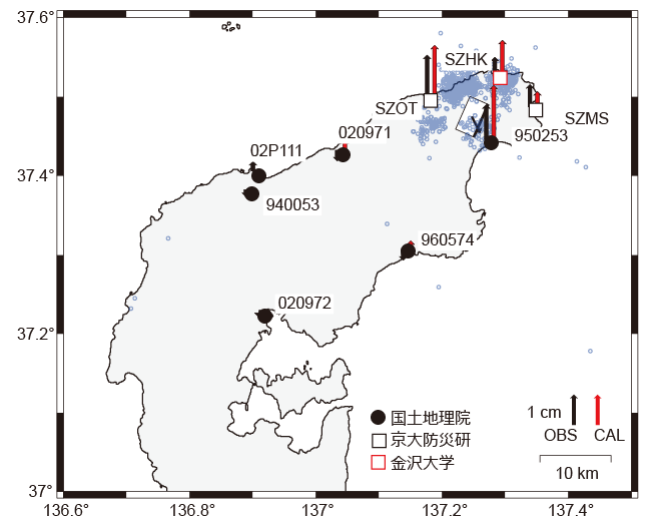
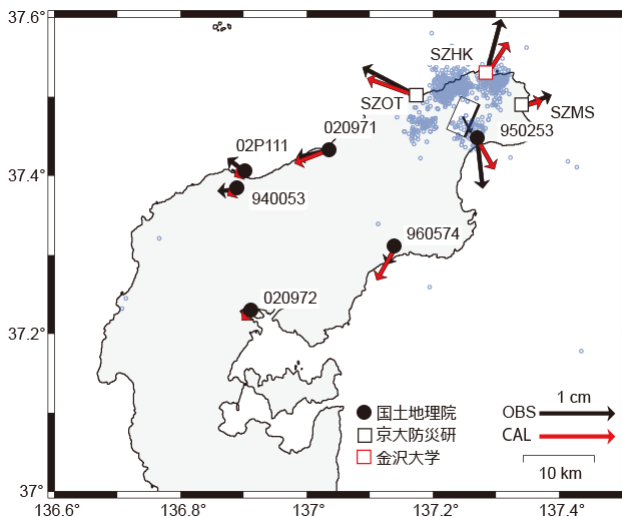
*太字は固定値、下段は誤差(1sigma)

4) 逆断層 2 (AIC=99)

【期間 1】 基準期間：2020/11/10～11/20 比較期間：2021/09/06～9/16



【期間 2】 基準期間：2021/09/08～09/18 比較期間：2022/05/06～5/16



推定した地殻変動モデル（逆断層）と観測・計算値の比較。矩形領域は推定された断層位置を表す。

経度(°)	緯度(°)	深さ(km)	長さ(km)	幅(km)	走向(°)	傾斜(°)	滑り角(°)	期間 1 滑り量(m)	期間 2 滑り量(m)
134.244	37.477	14.7	5	5	201	55	65	2.11	0.96
0.004	0.005	1.1	-	-	4	3	6	0.23	0.11

*太字は固定値、下段は誤差(1sigma)

【謝辞】

本解析では、京都大学防災研究所、金沢大学が設置した GNSS 観測点のデータを使用させていただいた。関係者に感謝を申し上げます。

石川県能登地方の非定常地殻変動のモデルについて（その2）

2020年12月頃から石川県能登地方で観測されている非定常地殻変動について、逆断層のすべり面を仮定してすべり分布を推定した。その結果、前半(2020/11~2021/09)では、広い範囲ですべりが見られるのに対し、後半(2021/09~2022/05)では、領域の一部にすべりが限定されていることが分かった。

【使用データ】

- ・ 国土地理院 電子基準点
 - ・ 電子基準点日々の座標値(F5:最終解)
 - ・ 2017/09/01~2020/09/01のデータを用いて推定された変位速度によるトレンド補正
 - ・ 京都大学防災研究所・金沢大学 GNSS 観測点
 - ・ GIPSYX Ver1.4によるPPP解析
 - ・ 周辺の電子基準点の変位速度をスプライン補間して得られた変位速度によるトレンド補正
- 固定点：舳倉島(950252)

【解析について】

すべり面は、(その1)3)で推定された逆断層を含む面上で、長さ20km、深さ10~20kmの範囲で、1kmx1kmの矩形小断層群を発生させることで生成。また、解析にあたってすべり角は(その1)3)で推定された値に固定。

【期間1】基準期間：2020/11/10~11/20 比較期間：2021/09/06~9/16 【期間2】基準期間：2021/09/08~09/18 比較期間：2022/05/06~5/16

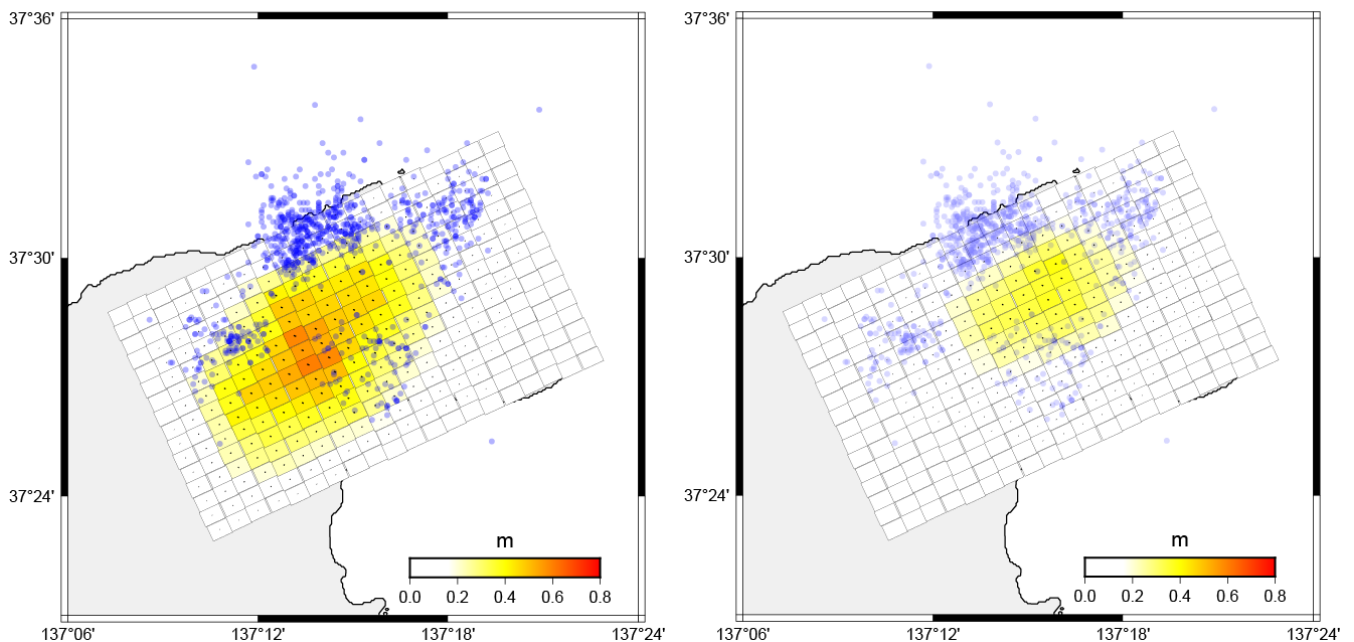
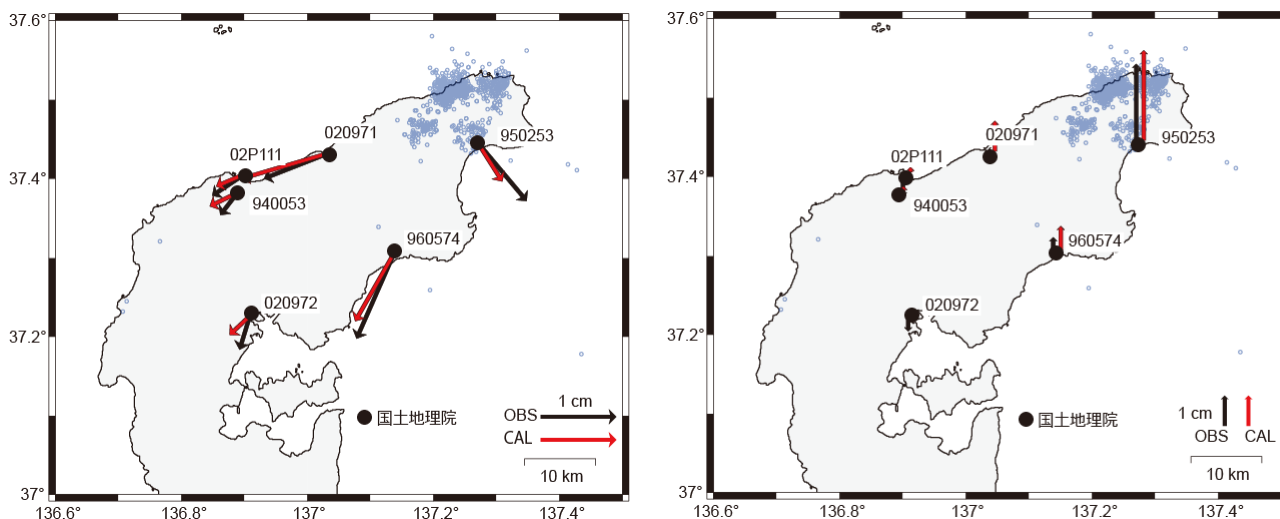


図1 推定されたすべり量分布。青丸は2020年11月1日~2021年5月31日までの気象庁一元化震源(M>=1、深さ20km以浅;リサンプル1/10)

【期間 1】 基準期間：2020/11/10～11/20 比較期間：2021/09/06～9/16



【期間 2】 基準期間：2021/09/08～09/18 比較期間：2022/05/06～5/16

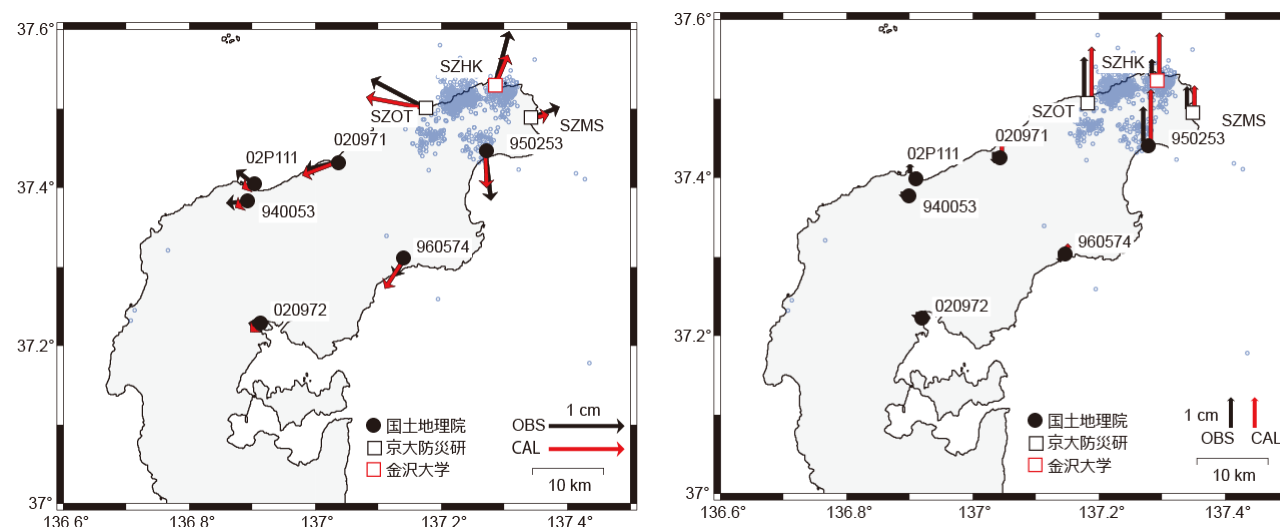


図 2 観測・計算値の比較。

【謝辞】

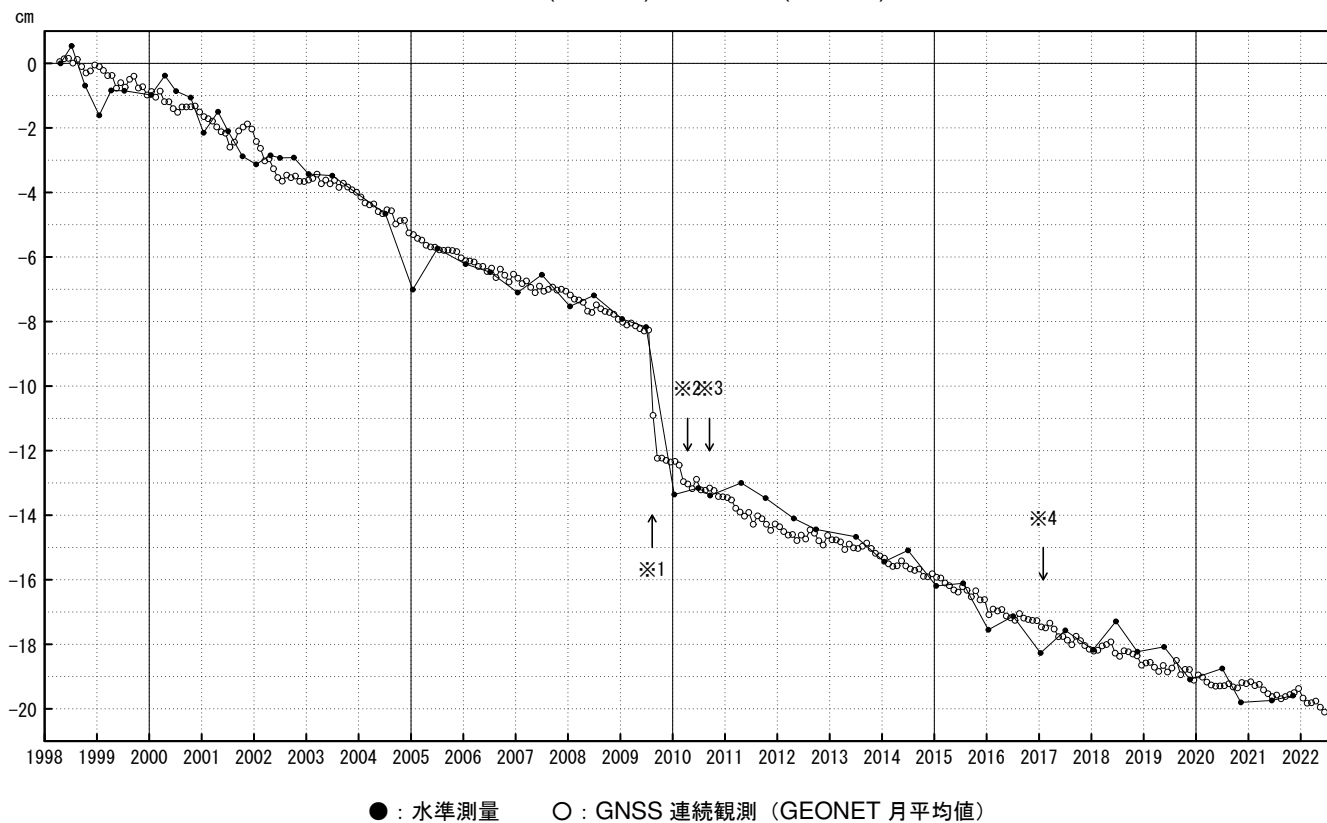
本解析では、京都大学防災研究所、金沢大学が設置した GNSS 観測点のデータを使用させていただいた。関係者に感謝を申し上げる。

御前崎 電子基準点の上下変動

水準測量と GNSS 連続観測

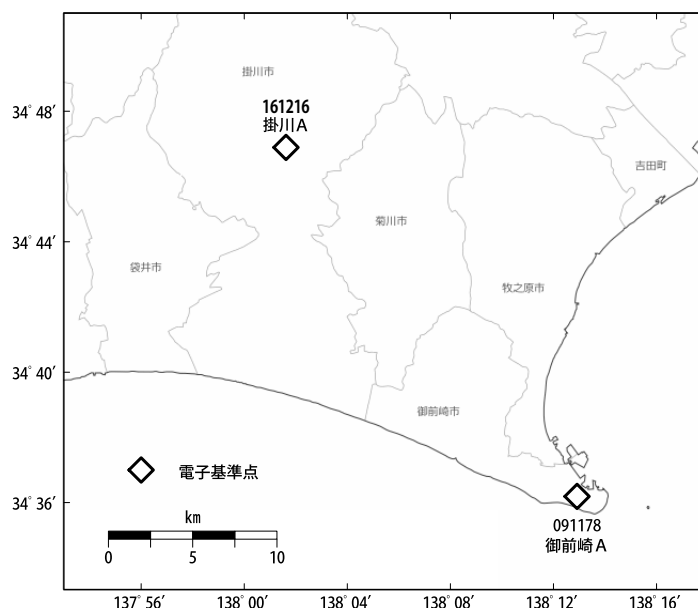
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

掛川 A (161216) - 御前崎 A (091178)



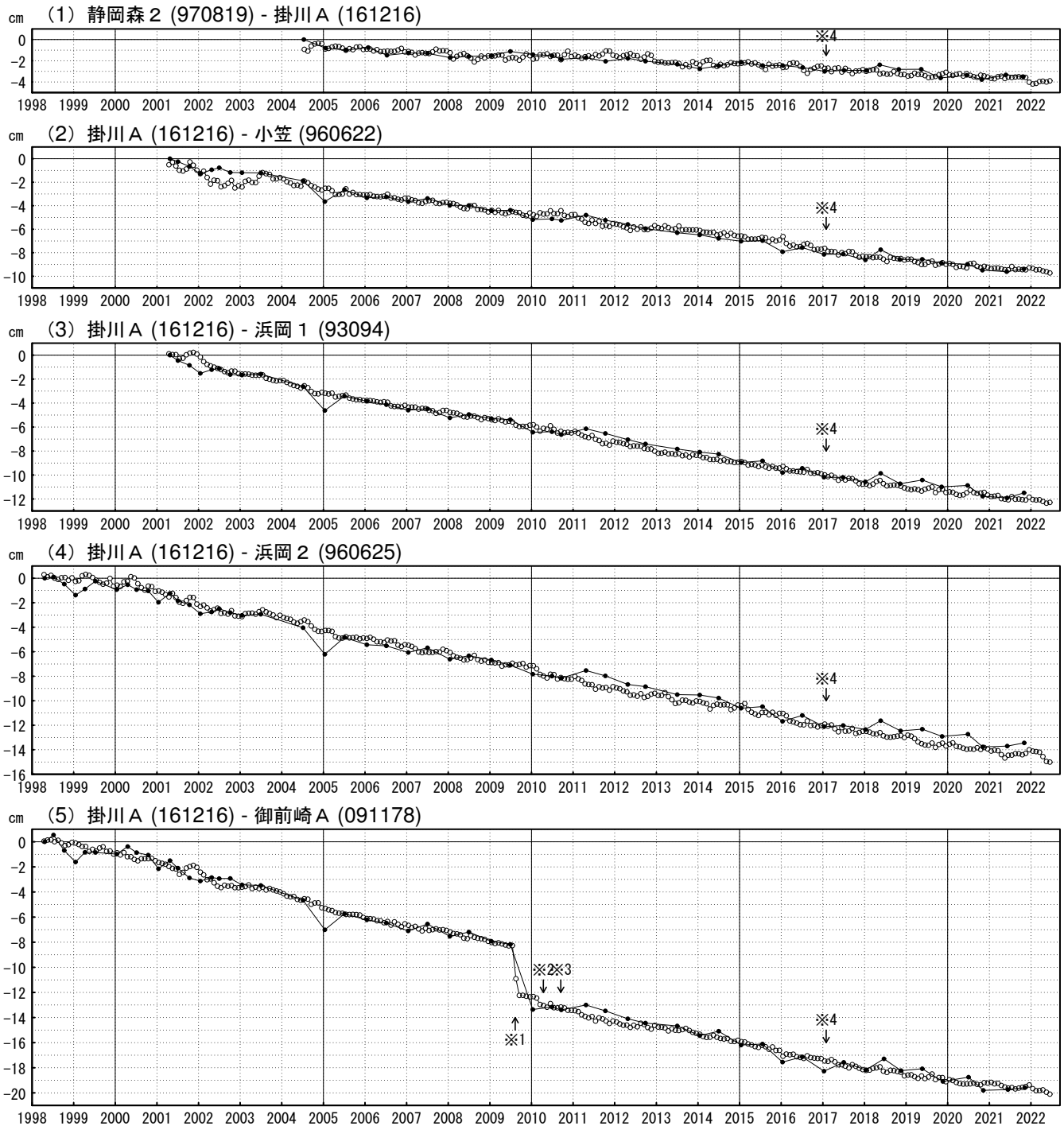
- ・ 水準測量による結果は、最初のプロット点の値を 0cm として描画している。
- ・ GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値 (F5: 最終解) から計算した値の月平均値。最新のプロット点は 6/1~6/11 の平均。
- ・ GNSS 連続観測による結果については、水準測量の全期間との差が最小となるように描画している。

- ※1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎 A」のデータを接続して表示している。
- ※3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。
- ※4 2017 年 1 月 30 日以降は、電子基準点「掛川」は移転し、電子基準点「掛川 A」とした。上記グラフは電子基準点「掛川」と電子基準点「掛川 A」のデータを接続して表示している。



御前崎 電子基準点の上下変動 水準測量とGNSS連続観測

御前崎周辺の長期的な沈降傾向に変化は見られない。



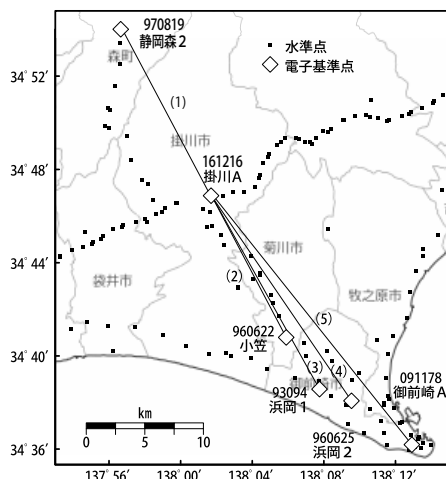
● : 水準測量

○ : GNSS 連続観測 (GEONET 月平均値)

- ・ 水準測量による結果は、最初のプロット点の値を 0cm として描画している。
- ・ GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値 (F5 : 最終解) から計算した値の月平均値。最新のプロット点は 6/1~6/11 の平均。
- ・ GNSS 連続観測による結果については、水準測量の全期間との差が最小となるように描画している。

- ※ 1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※ 2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。
- ※ 3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。
- ※ 4 2017 年 1 月 30 日以降は、電子基準点「掛川」は移転し、電子基準点「掛川 A」とした。

国土地理院

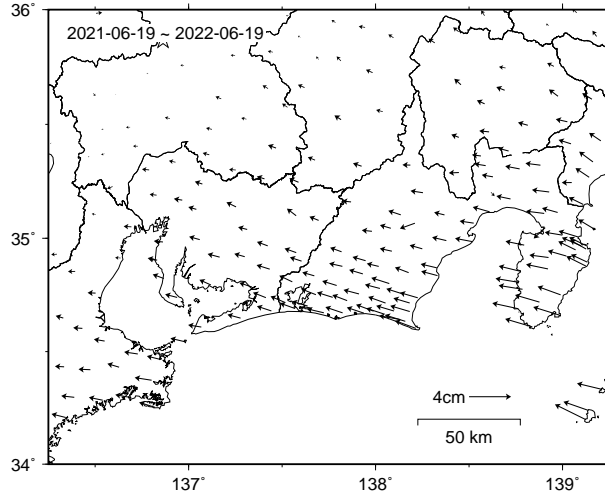


東海地方の水平地殻変動【固定局：白鳥】

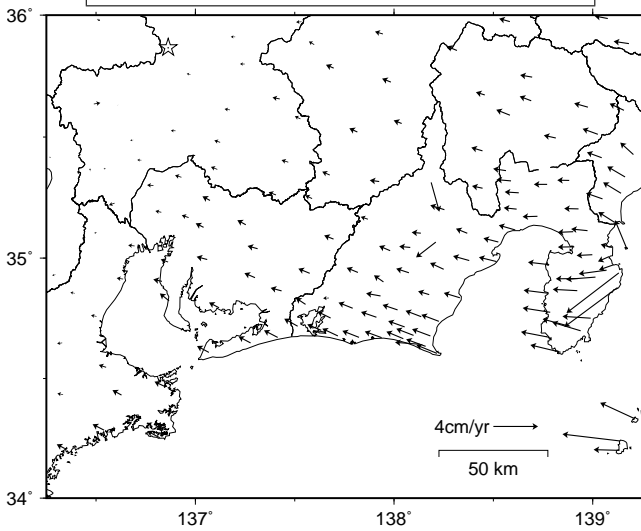
(2021年 06月～ 2022年 06月)

基準期間：2021-06-13～2021-06-25 [F5：最終解]

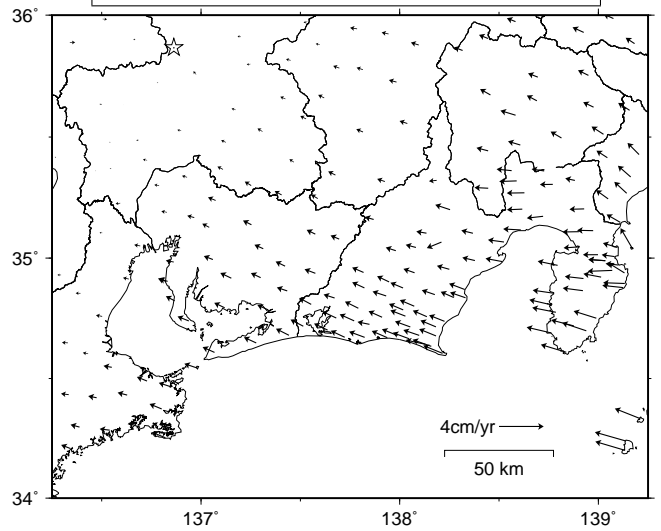
比較期間：2022-06-13～2022-06-25 [R5：速報解]



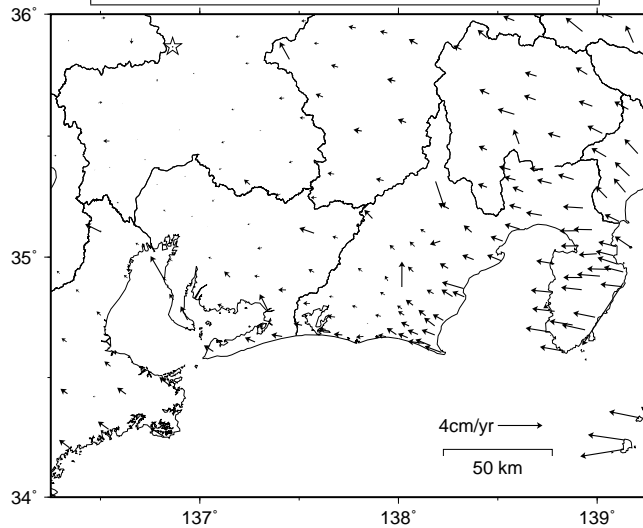
スロースリップ発生前の水平地殻変動速度
(1997年1月～2000年1月)



スロースリップ終息後の水平地殻変動速度
(2008年1月～2011年1月)

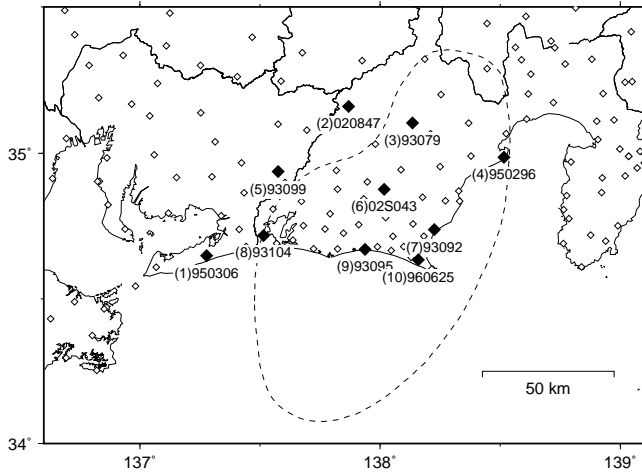


スロースリップ進行期の水平地殻変動速度
(2001年1月～2004年1月)

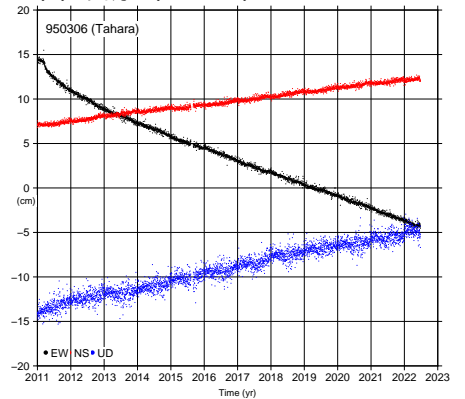


東海地方の地殻変動時系列【固定局：白鳥】

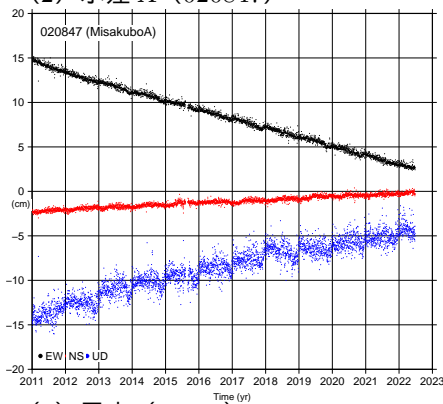
速報解合む 2011-01-01 ~ 2022-06-25



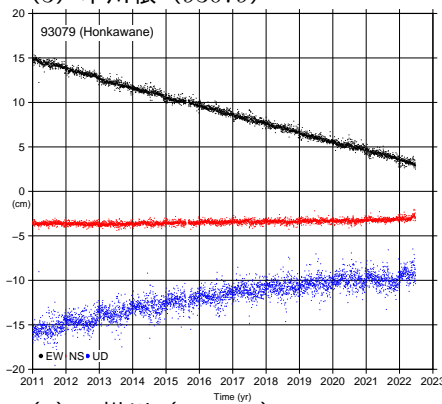
(1) 田原 (950306)



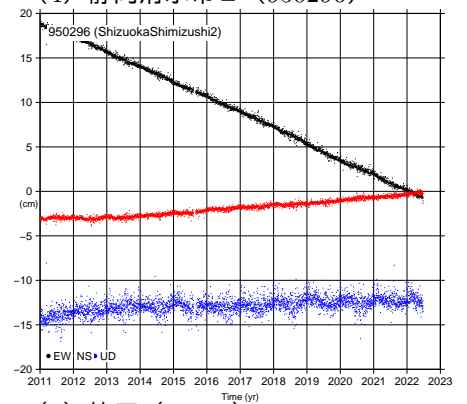
(2) 水窪 A (020847)



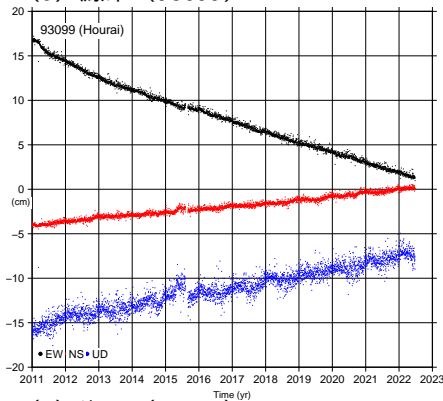
(3) 本川根 (93079)



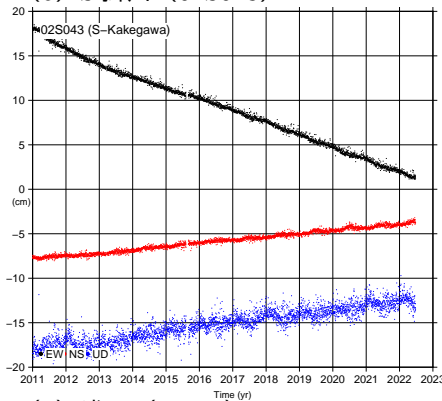
(4) 静岡清水市2 (950296)



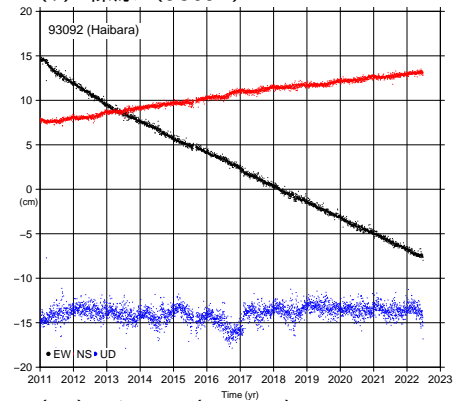
(5) 鳳来 (93099)



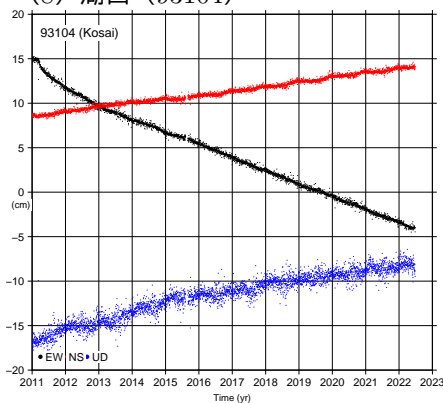
(6) S掛川 (02S043)



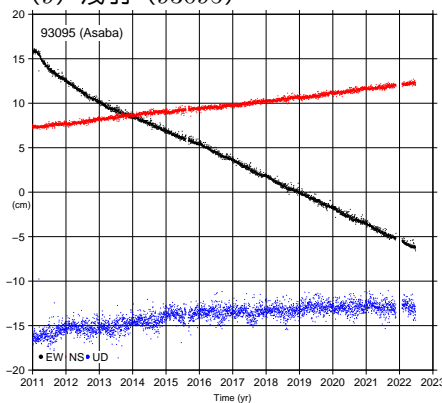
(7) 榛原 (93092)



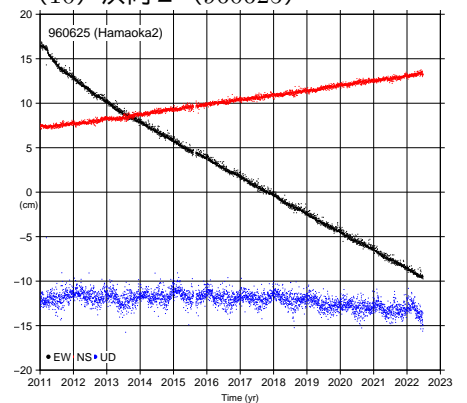
(8) 湖西 (93104)



(9) 浅羽 (93095)



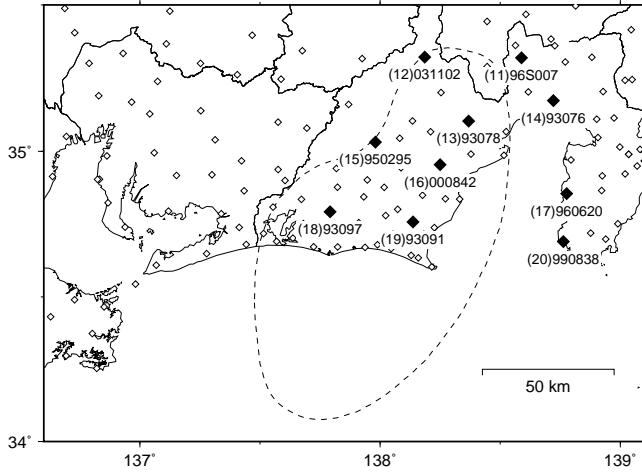
(10) 浜岡2 (960625)



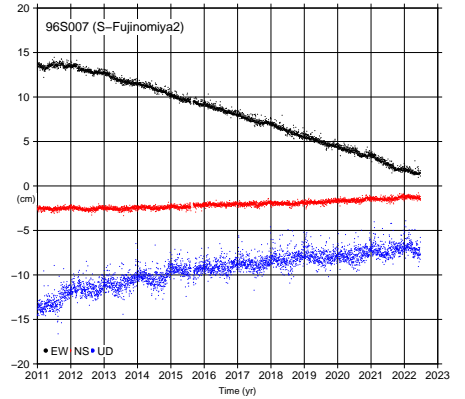
・ GEONET による日々の座標値 (F5 解、R5 解) を使用している。
 ・ 平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震による地殻変動の影響は取り除いている。

東海地方の地殻変動時系列 2 【固定局：白鳥】

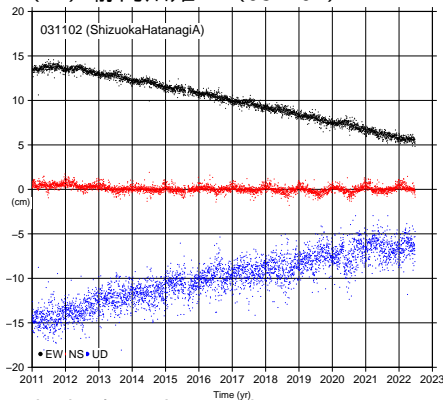
速報解含む 2011-01-01 ~ 2022-06-25



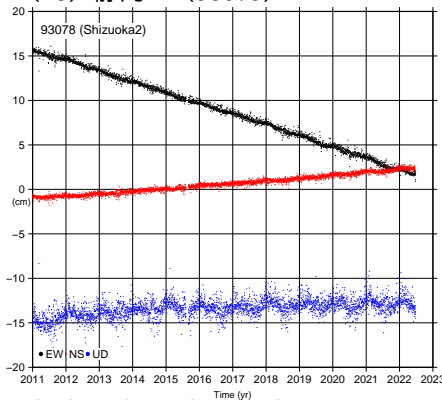
(11) S富士宮2 (96S007)



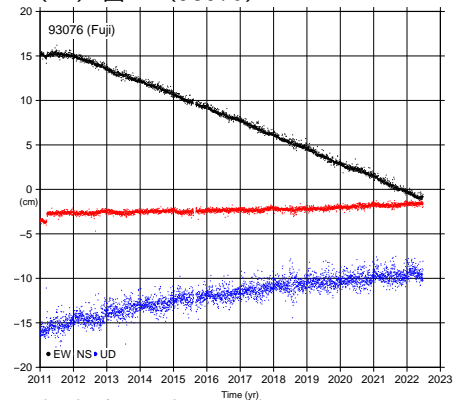
(12) 静岡畑薙 A (031102)



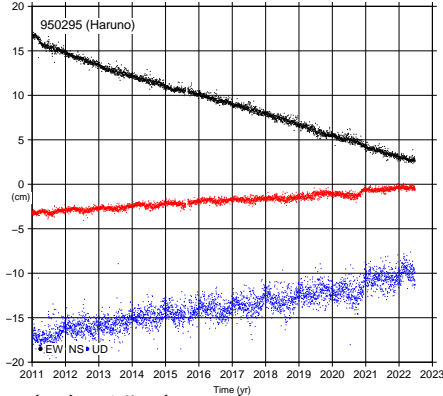
(13) 静岡2 (93078)



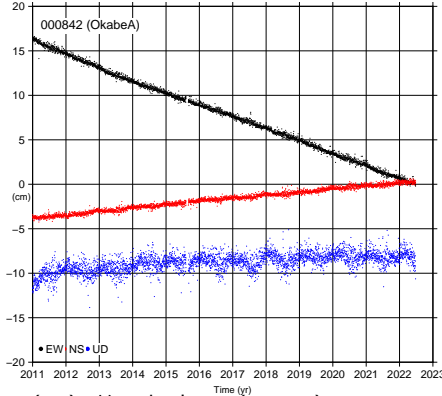
(14) 富士 (93076)



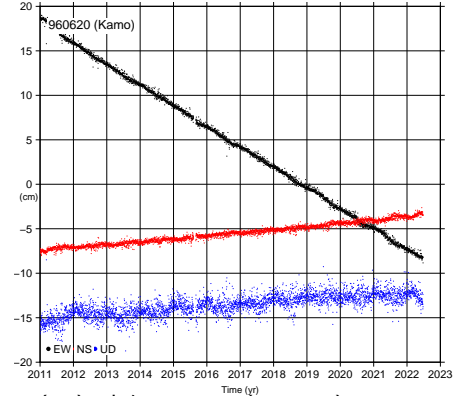
(15) 春野 (950295)



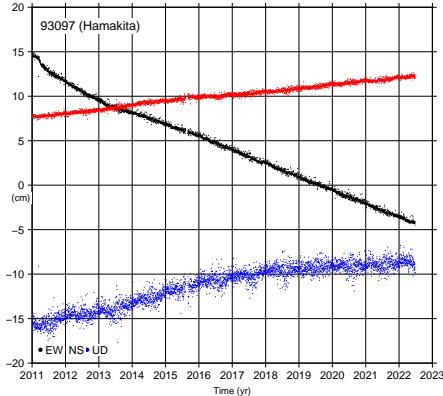
(16) 岡部 A (000842)



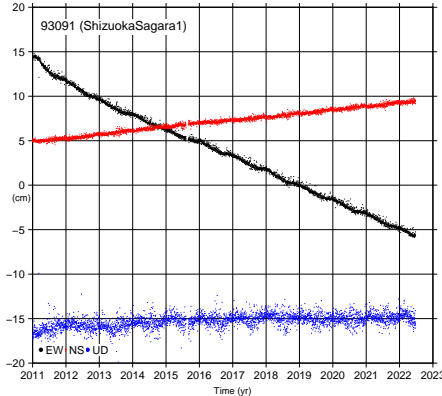
(17) 賀茂 (960620)



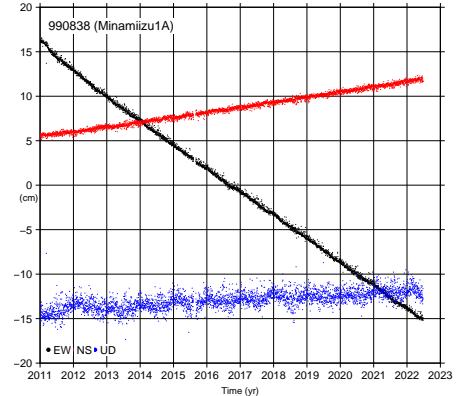
(18) 浜北 (93097)



(19) 静岡相良1 (93091)



(20) 南伊豆1 A (990838)



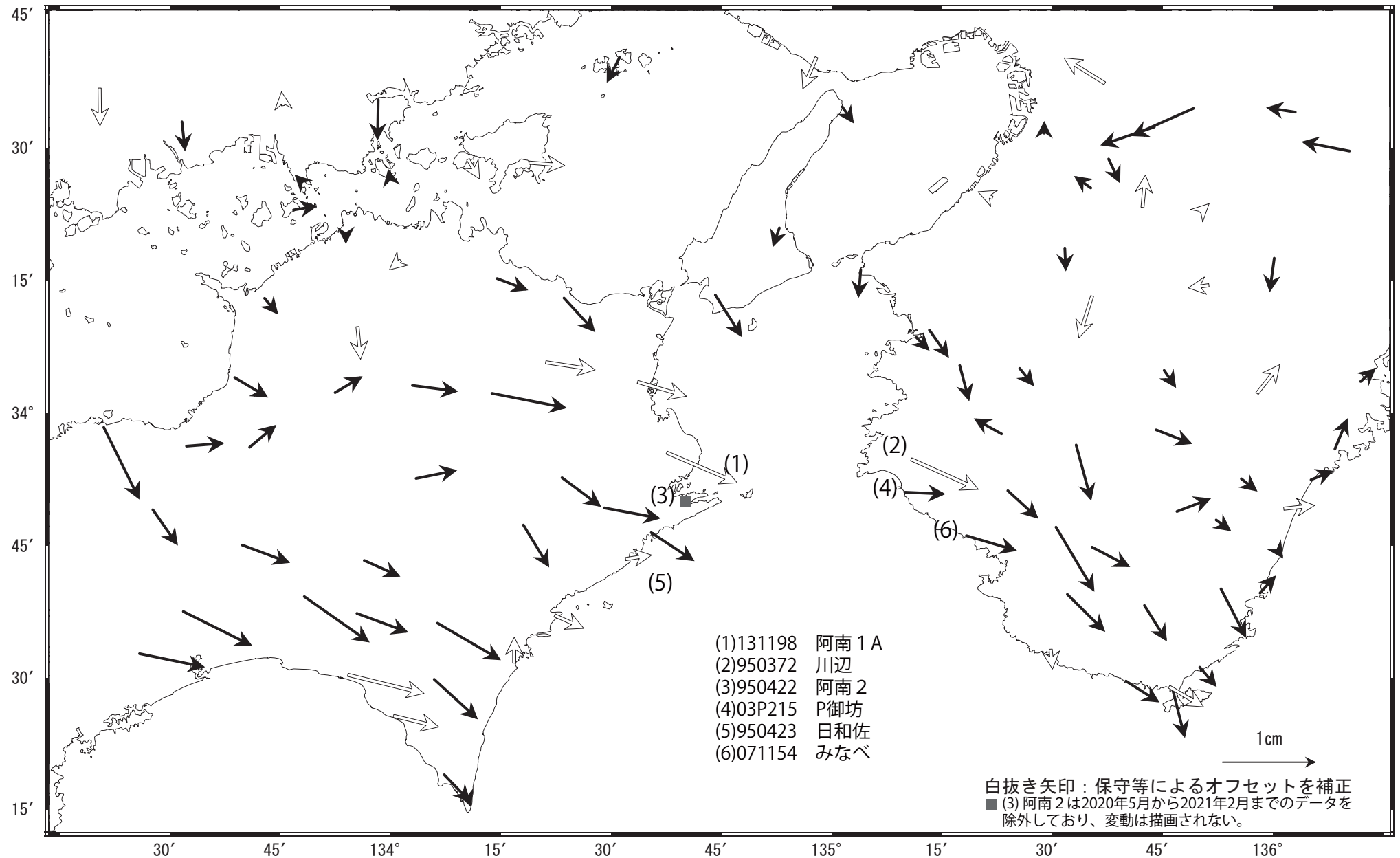
- ・ GEONET による日々の座標値 (F5 解、R5 解) を使用している。
- ・ 平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震による地殻変動の影響は取り除いている。

紀伊半島西部・四国東部の非定常水平地殻変動(1次トレンド・年周期・半年周期除去後)

基準期間: 2020/05/29~2020/06/04 [F5: 最終解]

比較期間: 2022/06/12~2022/06/18 [R5: 速報解]

計算期間: 2017/01/01~2017/12/31

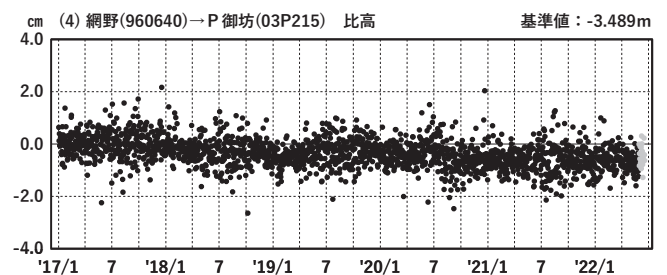
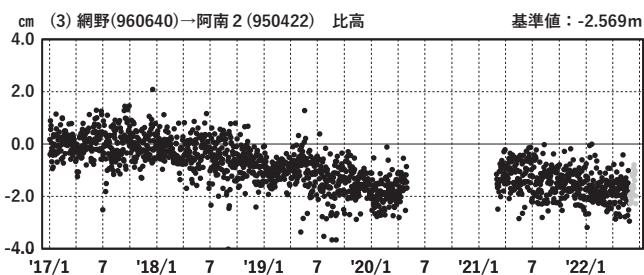
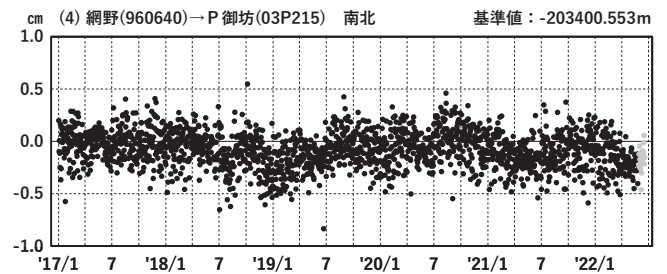
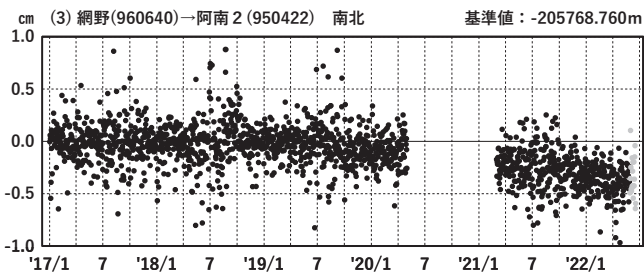
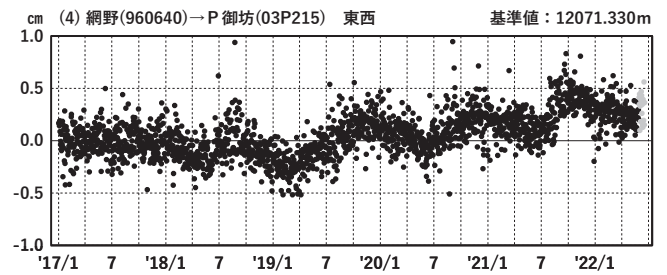
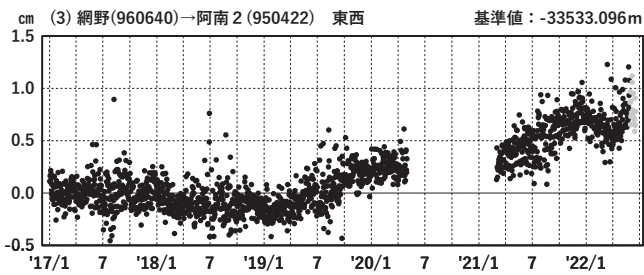
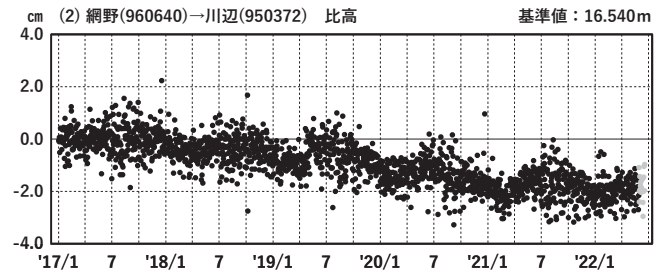
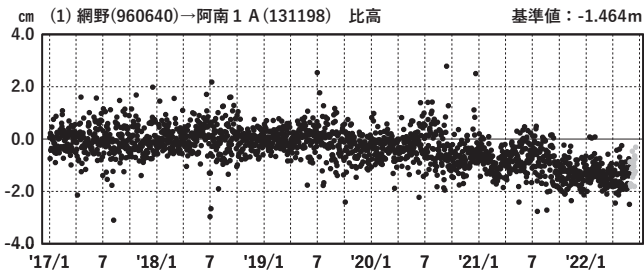
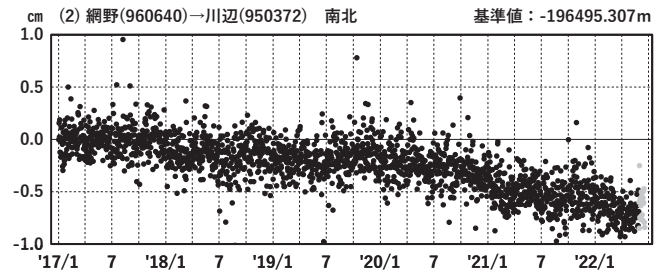
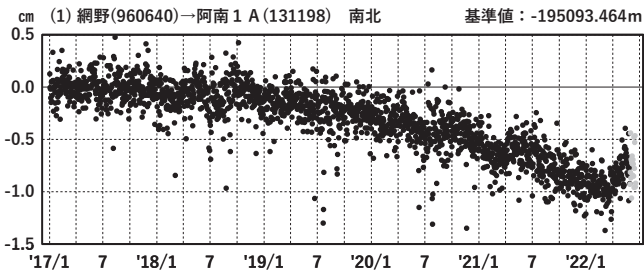
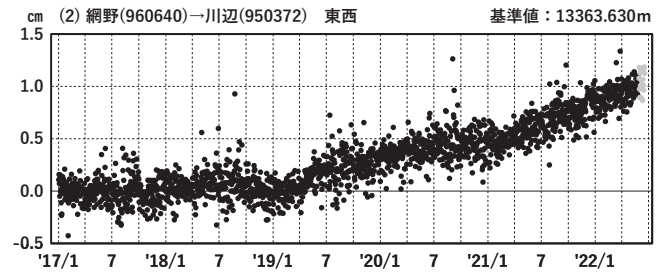
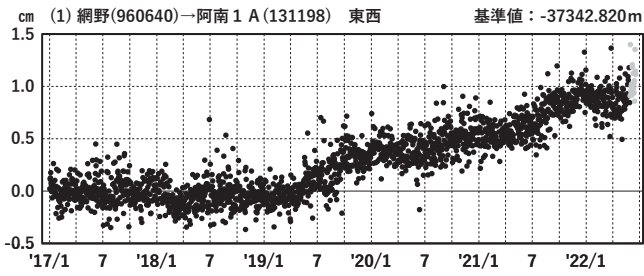


紀伊半島西部・四国東部 G N S S 連続観測時系列 (1)

1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

期間: 2017/01/01~2022/06/18 JST

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01



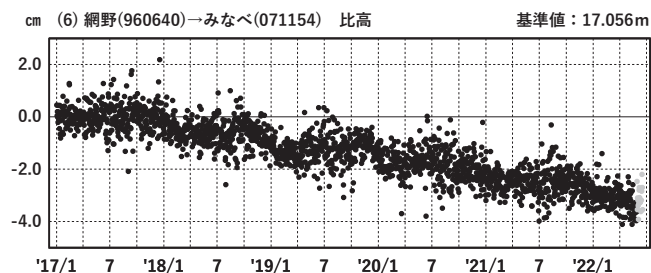
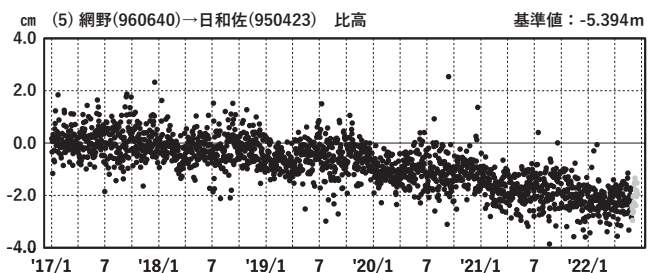
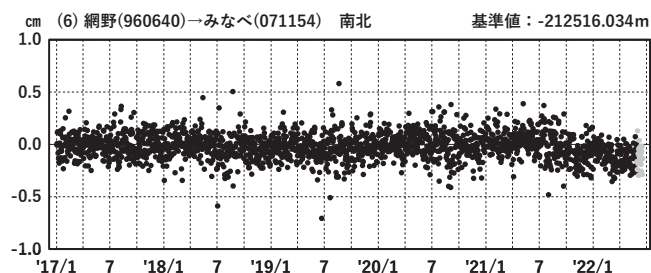
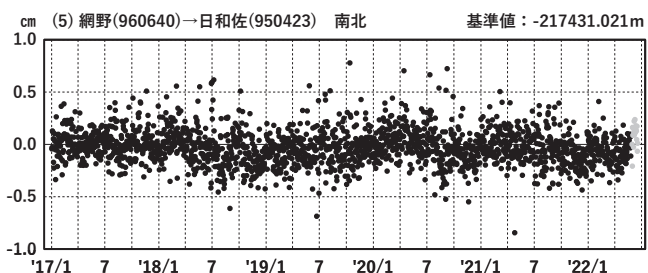
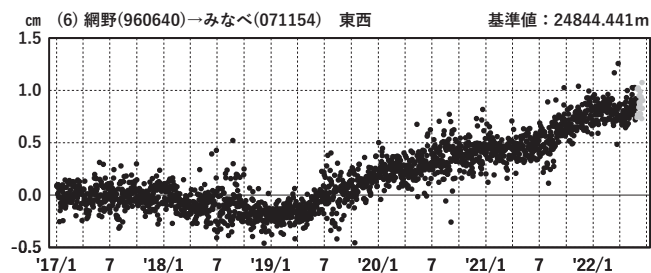
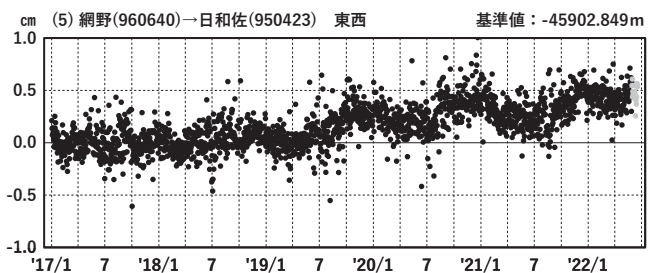
●---[F5:最終解] ●---[R5:速報解]

紀伊半島西部・四国東部 G N S S 連続観測時系列 (2)

1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

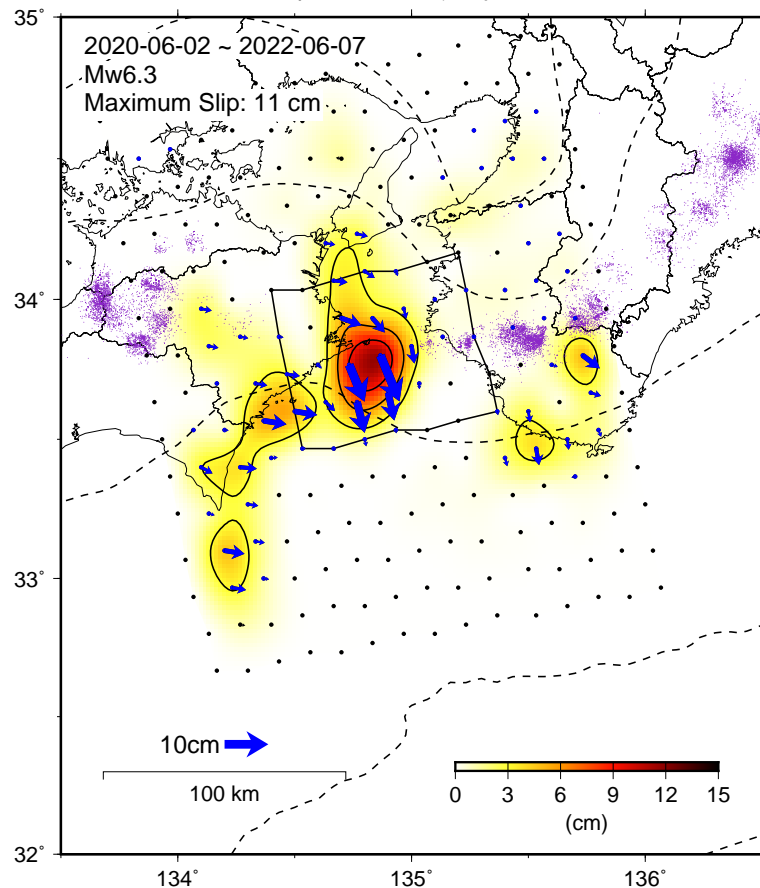
期間: 2017/01/01~2022/06/18 JST

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01

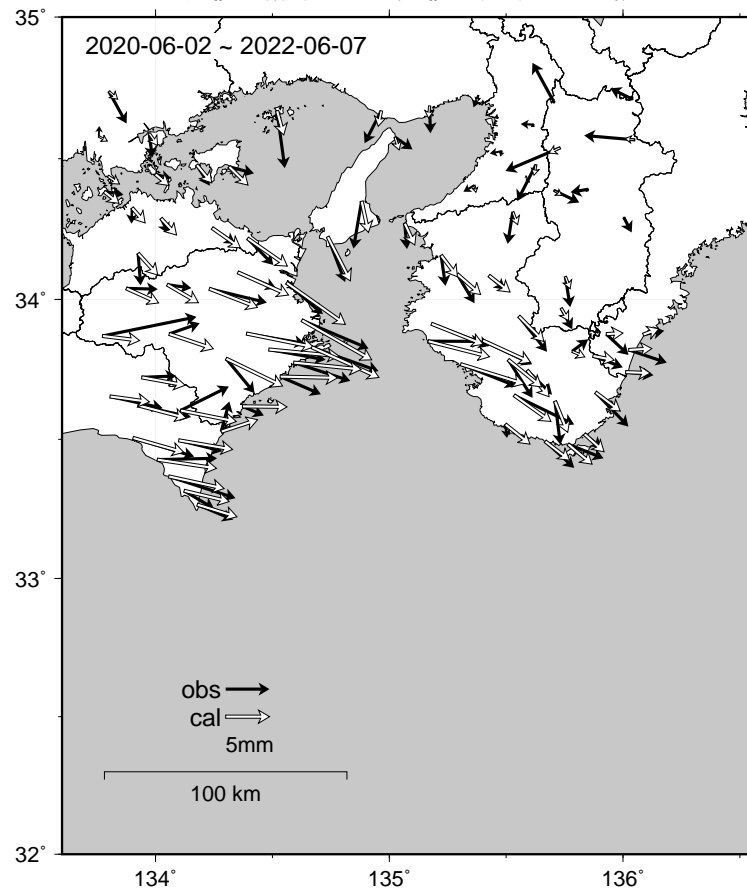


GNSS データから推定された紀伊水道の長期的ゆっくりすべり (暫定)

推定すべり分布



観測値 (黒) と計算値 (白) の比較



Mw 及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量 (カラー) 及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差 (σ) の3倍以上のグリッドを青色表示している。

使用したデータ: GEONET による日々の座標値 (F5、R5 解)

※電子基準点の保守等による変動は補正済み

トレンド期間: 2017-01-01~2018-01-01 (年周・半年周成分は 2017-01-01~最新のデータで補正)

モーメント計算範囲: 左図の黒枠内側

観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線 (Hirose et al., 2008)

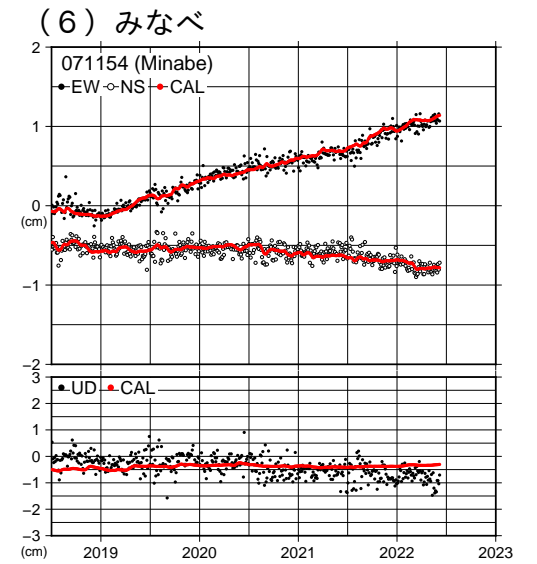
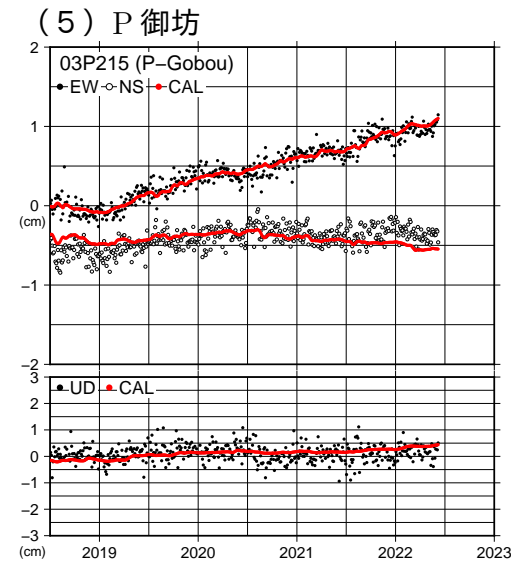
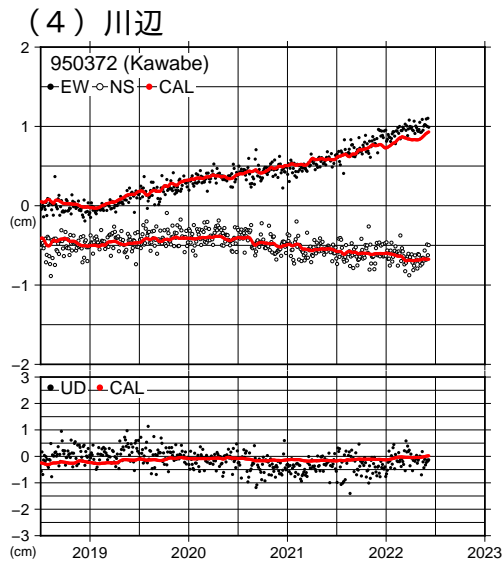
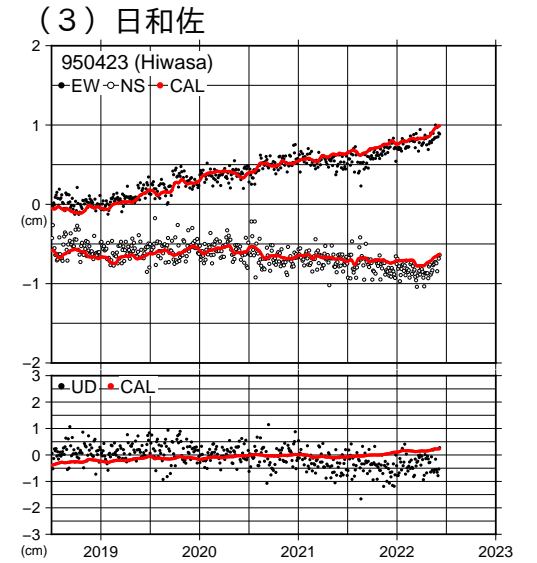
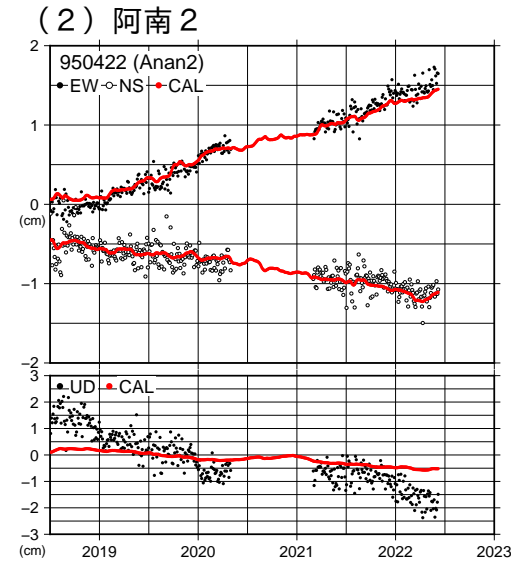
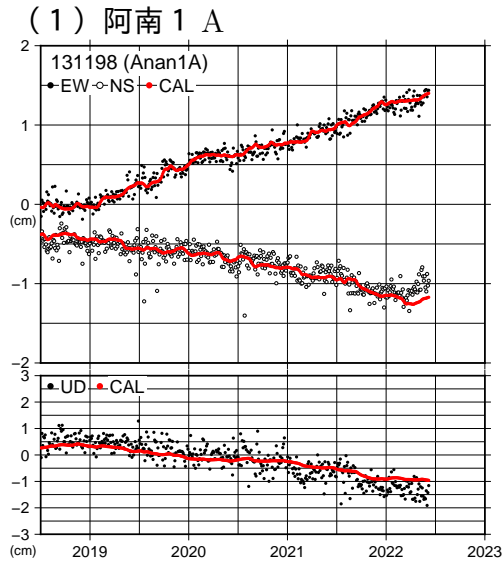
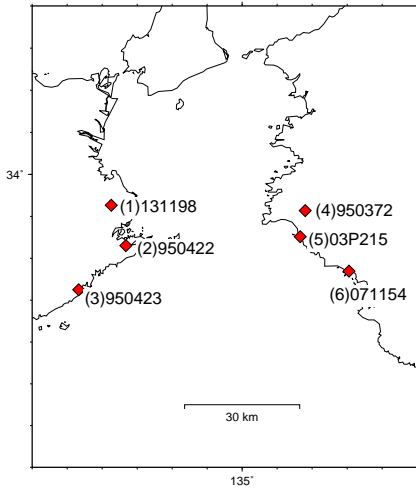
すべり方向: 東向きから南向きの範囲に拘束

紫丸: 低周波地震 (気象庁一元化震源) (期間: 2020-06-02~2022-06-07)

固定局: 網野

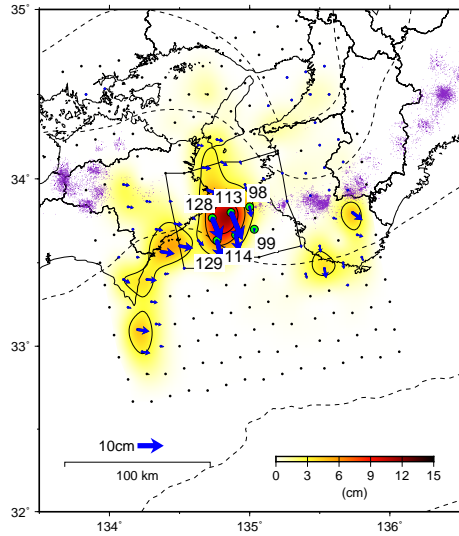
紀伊水道地域の観測点の座標時系列と計算値

時間依存のインバージョン

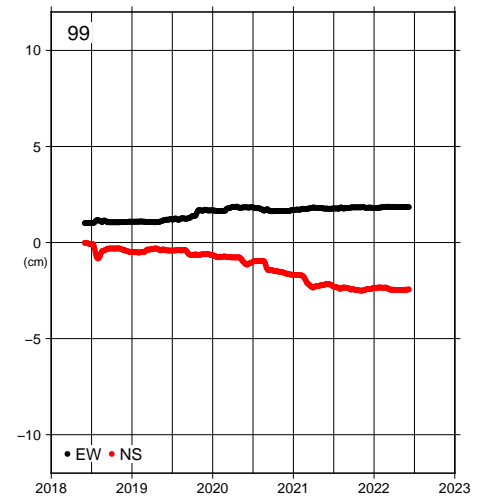
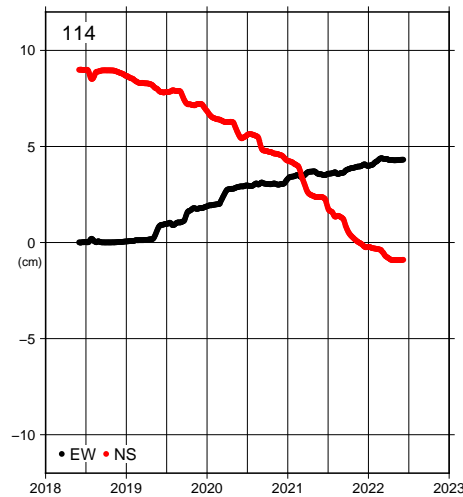
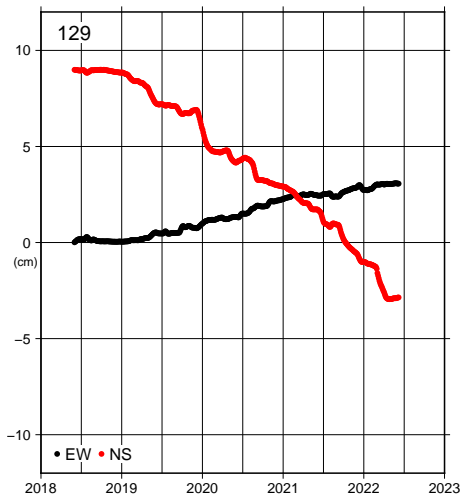
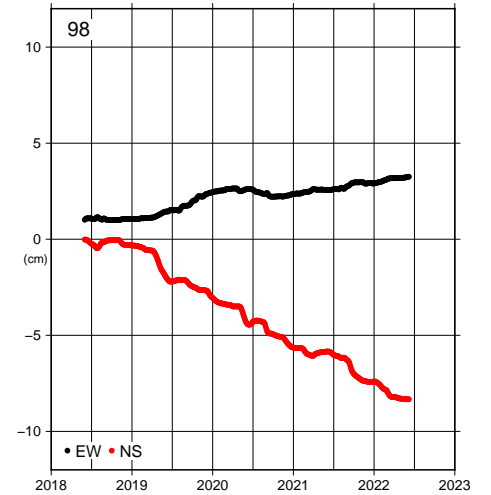
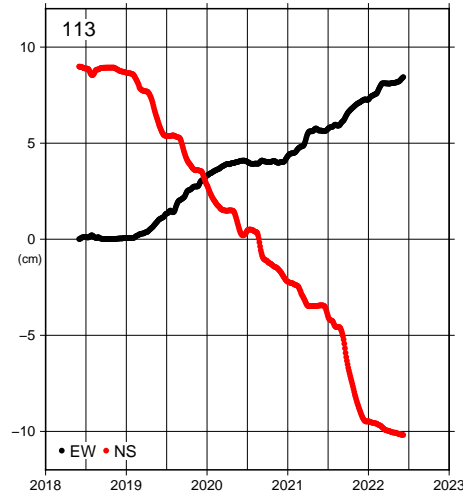
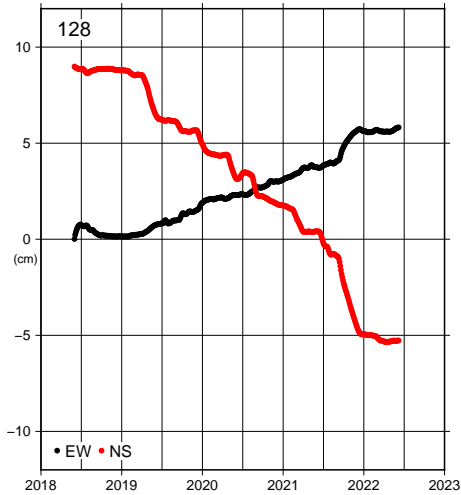


紀伊水道の長期的ゆっくりすべりの各グリッドにおけるすべりの時間変化

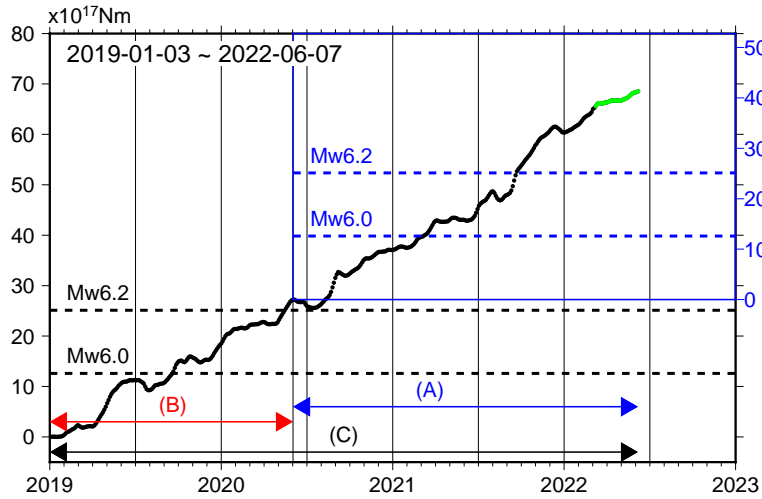
時間依存のインバージョン



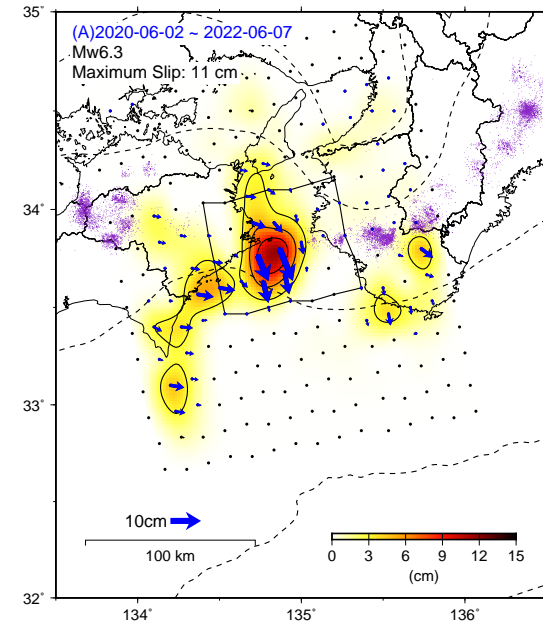
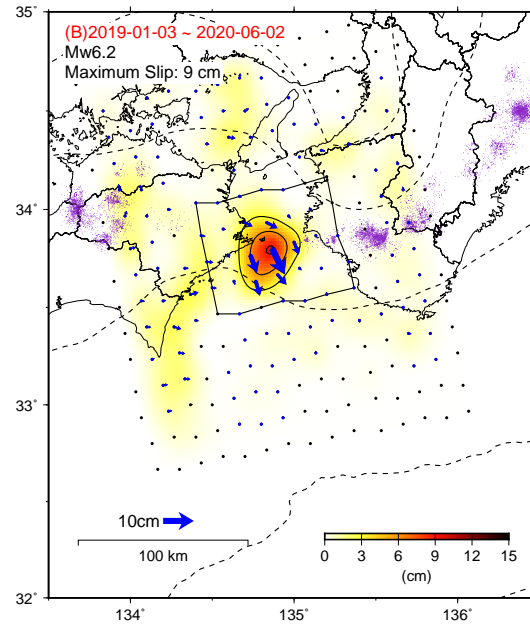
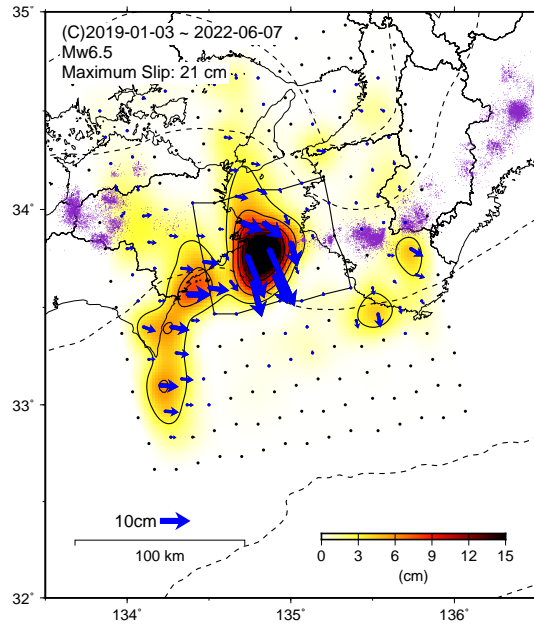
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差（ σ ）の3倍以上のグリッドを青色表示している。



紀伊水道の長期的ゆっくりすべりのモーメント※時系列（試算）



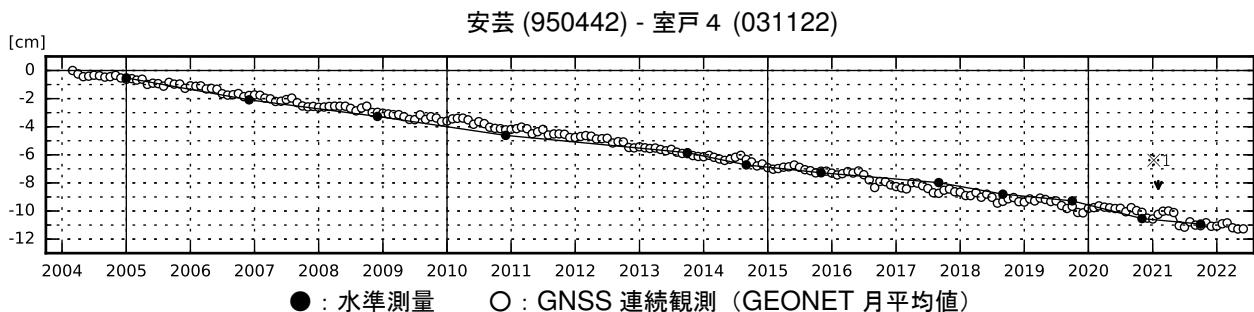
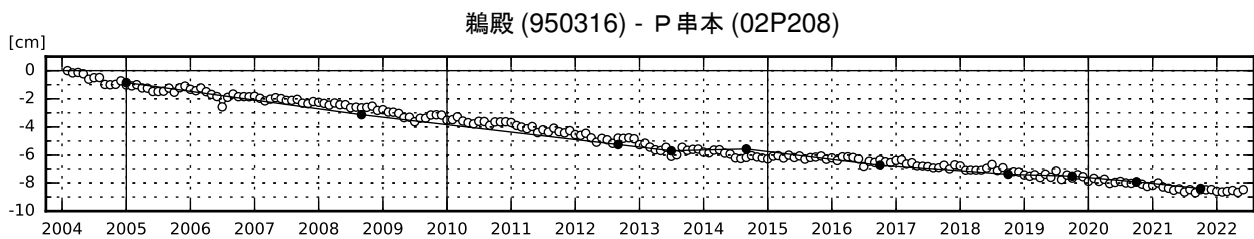
※モーメント
断層運動のエネルギーの目安となる量。
地震の場合の Mw（モーメントマグニチュード）に換算できる。



Mw 及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差（ σ ）の3倍以上のグリッドを青色表示している。

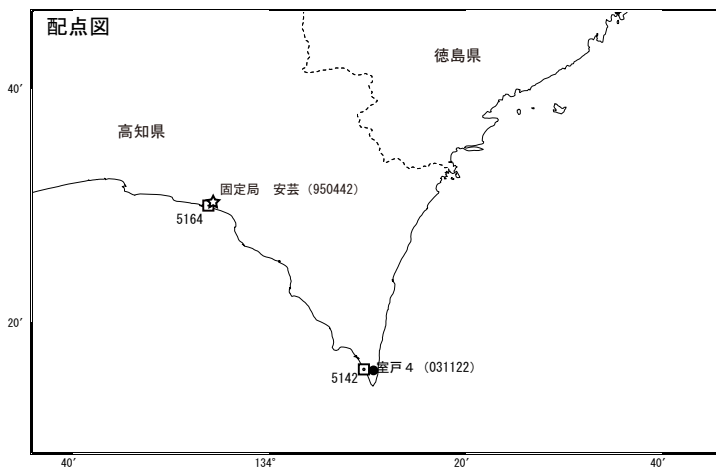
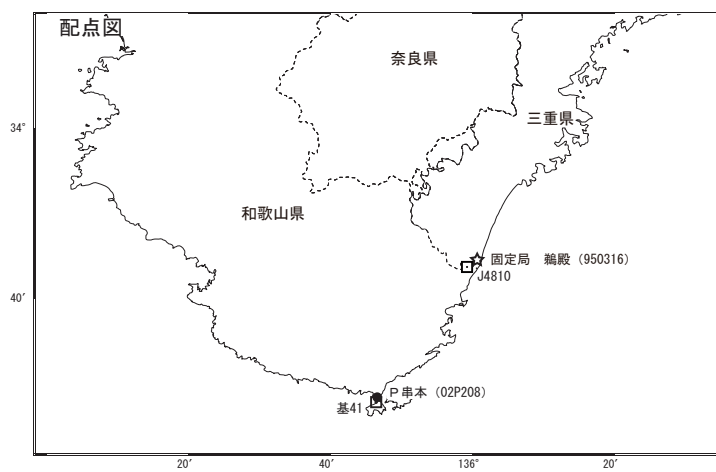
紀伊半島及び室戸岬周辺 電子基準点の上下変動

潮岬周辺及び室戸岬周辺の長期的な沈降傾向が続いている。



- ・ GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値 (F5 : 最終解) から計算した値の月平均値である。(最新のプロット点 : 6/1~6/11 の平均値)
- ・ 水準測量の結果は、最寄りの一等水準点の結果を表示しており、GNSS 連続観測の全期間の値との差が最小となるように描画している。
- ・ 水準測量による結果については、最寄りの一等水準点の結果を表示している。

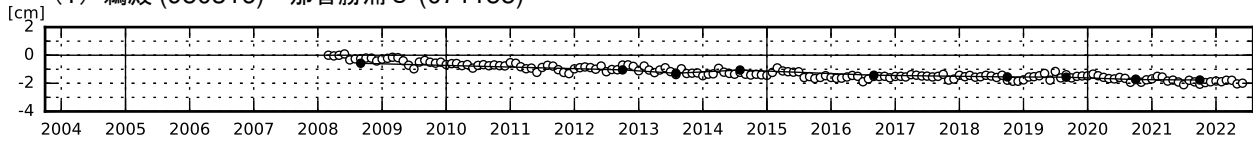
※ 1 2021/2/2 に電子基準点「安芸」のアンテナ更新及びレドーム交換を実施した。



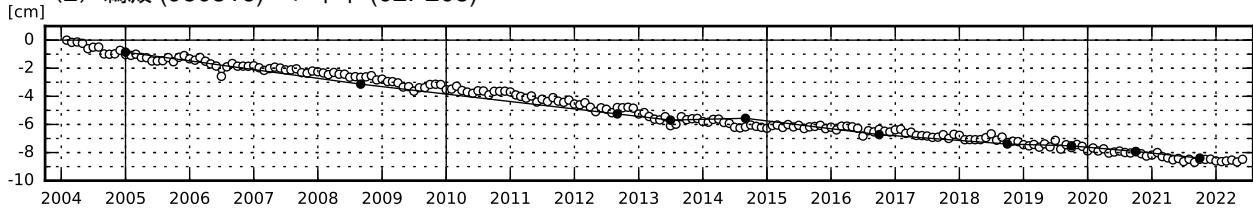
紀伊半島 電子基準点の上下変動（１）

潮岬周辺の長期的な沈降傾向に変化は見られない。

(1) 鵜殿 (950316) - 那智勝浦 3 (071155)

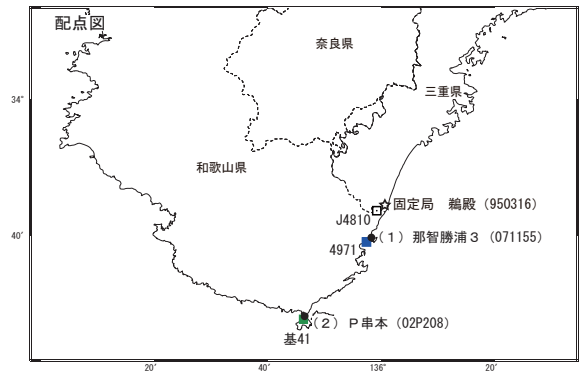
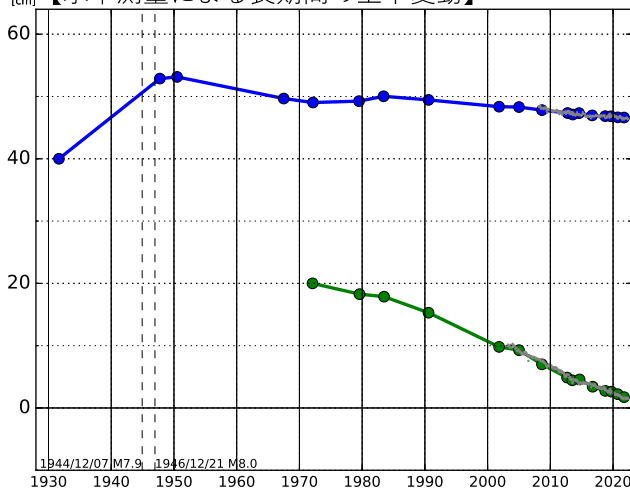


(2) 鵜殿 (950316) - P串本 (02P208)



● : 水準測量 ○ : GNSS 連続観測 (GEONET 月平均値)

【水準測量による長期間の上下変動】



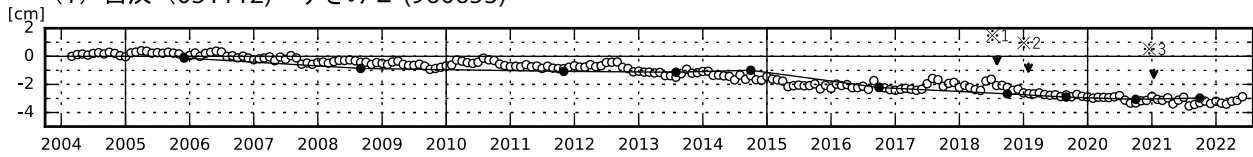
- ・ GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値（F5：最終解）から計算した値の月平均値である。（最新のプロット点：6/1～6/11 の平均値）
- ・ 水準測量の結果は、最寄り的一等水準点の結果を表示しており、GNSS 連続観測の全期間の値との差が最小となるように描画している。
- ・ 「水準測量による長期間の上下変動」のグラフにおける、各プロットの色は配点図の水準点の色と対応する。また、灰色のプロットは GEONET の月平均値を示している。

国土地理院

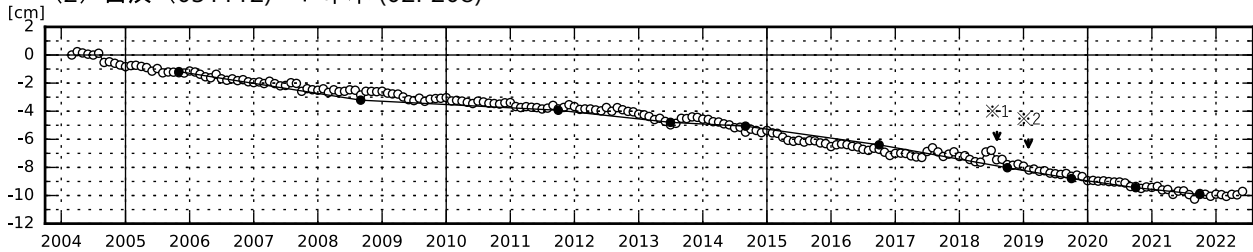
紀伊半島 電子基準点の上下変動（２）

潮岬周辺の長期的な沈降傾向に変化は見られない。

(1) 白浜 (031112) - すさみ2 (960653)

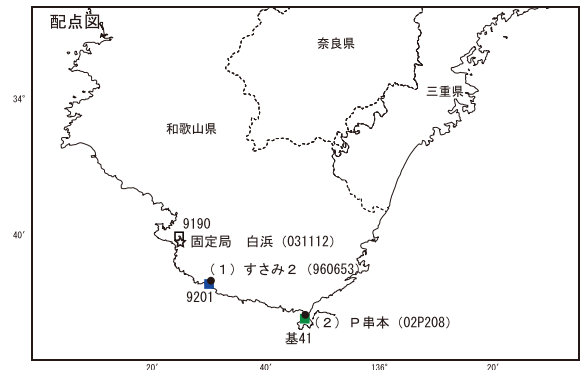
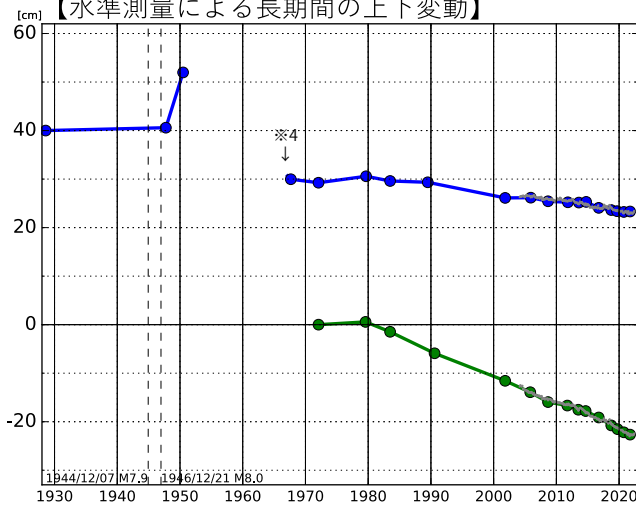


(2) 白浜 (031112) - P串本 (02P208)



● : 水準測量 ○ : GNSS 連続観測 (GEONET 月平均値)

【水準測量による長期間の上下変動】



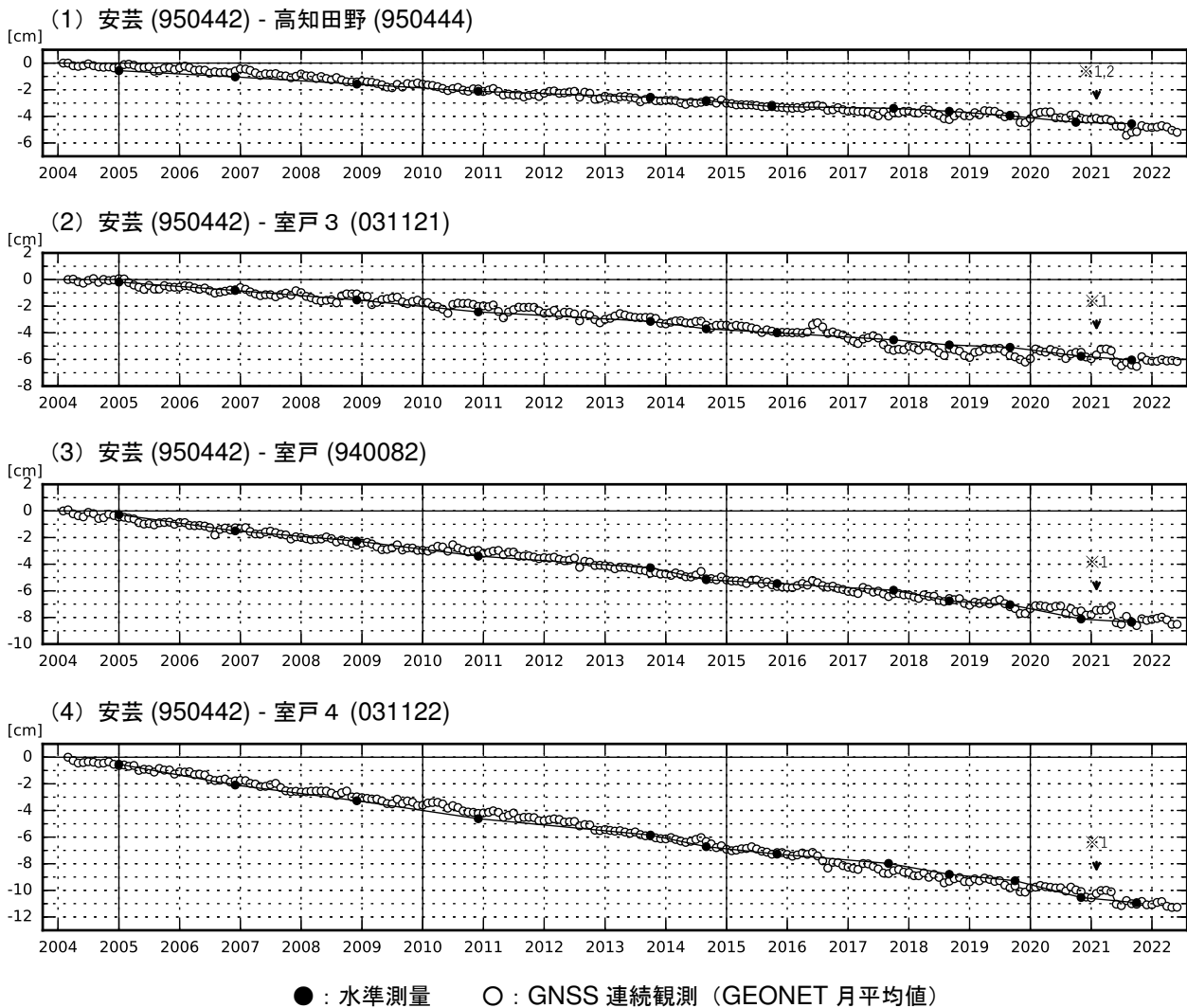
- ・ GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値 (F5 : 最終解) から計算した値の月平均値である。(最新のプロット点 : 6/1~6/11 の平均値)
- ・ 水準測量の結果は、近傍の一等水準点の結果を表示しており、GNSS 連続観測の全期間の値との差が最小となるように描画している。
- ・ 「水準測量による長期間の上下変動」のグラフにおける、各プロットの色は配点図の水準点の色と対応する。また、灰色のプロットは GEONET の月平均値を示している。

- ※ 1 2018/8/3に電子基準点「白浜」周辺の樹木を伐採した。
- ※ 2 2019/1/29に電子基準点「白浜」周辺の樹木を伐採した。
- ※ 3 2021/1/12に電子基準点「すさみ2」のアンテナ更新及びレドーム交換を実施した。
- ※ 4 1966/11に一等水準点「9190」を再設した。

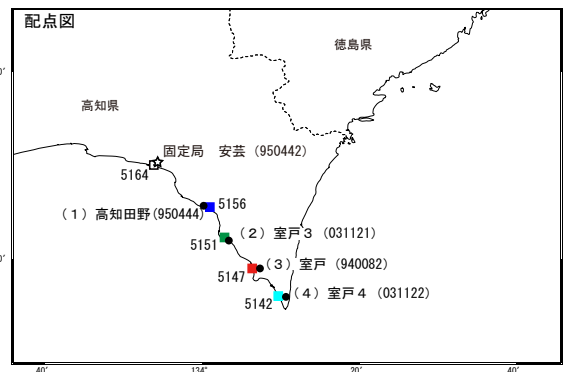
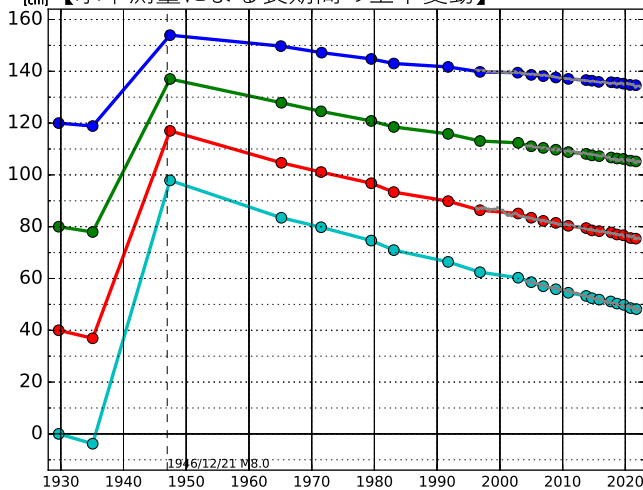
国土地理院

室戸岬周辺 電子基準点の上下変動（１）

室戸岬周辺の長期的な沈降傾向に変化は見られない。



【水準測量による長期間の上下変動】



- ・ GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値 (F5 : 最終解) から計算した値の月平均値である。(最新のプロット点 : 6/1~6/11 の平均値)
- ・ 水準測量の結果は、最寄りの一等水準点の結果を表示しており、GNSS 連続観測の全期間の値との差が最小となるように描画している。
- ・ 「水準測量による長期間の上下変動」のグラフにおける、各プロットの色は配点図の水準点の色と対応する。また、灰色のプロットは GEONET の月平均値を示している。

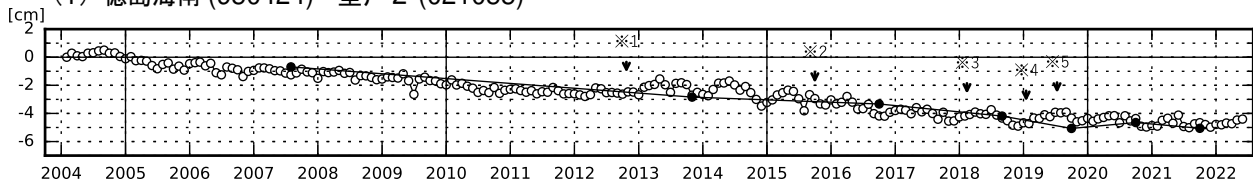
※ 1 2021/2/2 に電子基準点「安芸」のアンテナ更新及びレドーム交換を実施した。

※ 2 2021/2/5 に電子基準点「高知田野」のアンテナ更新及びレドーム交換を実施した。

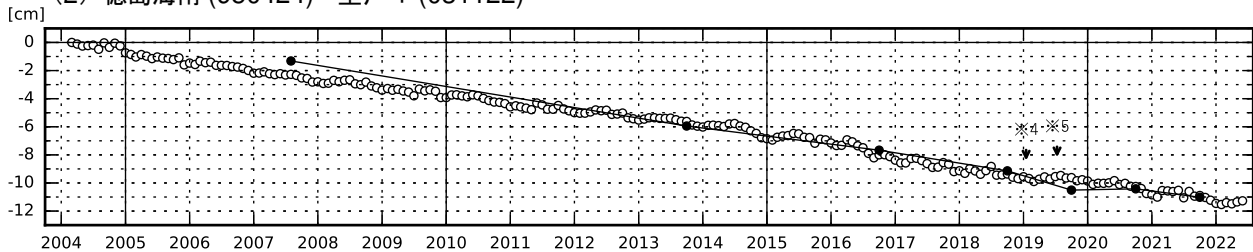
室戸岬周辺 電子基準点の上下変動（２）

室戸岬周辺の長期的な沈降傾向に変化は見られない。

(1) 徳島海南 (950424) - 室戸 2 (021055)

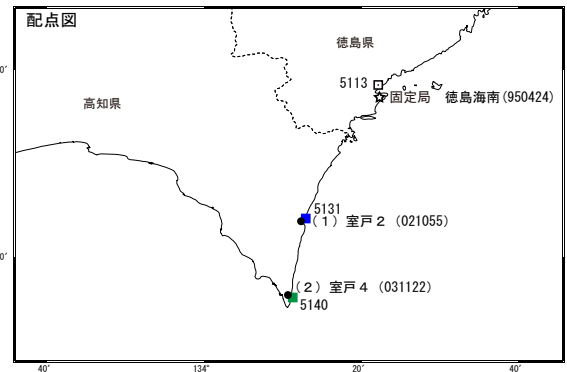
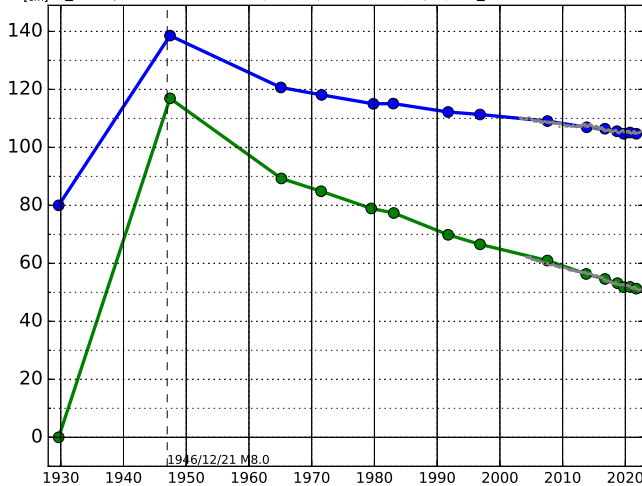


(2) 徳島海南 (950424) - 室戸 4 (031122)



● : 水準測量 ○ : GNSS 連続観測 (GEONET 月平均値)

【水準測量による長期間の上下変動】



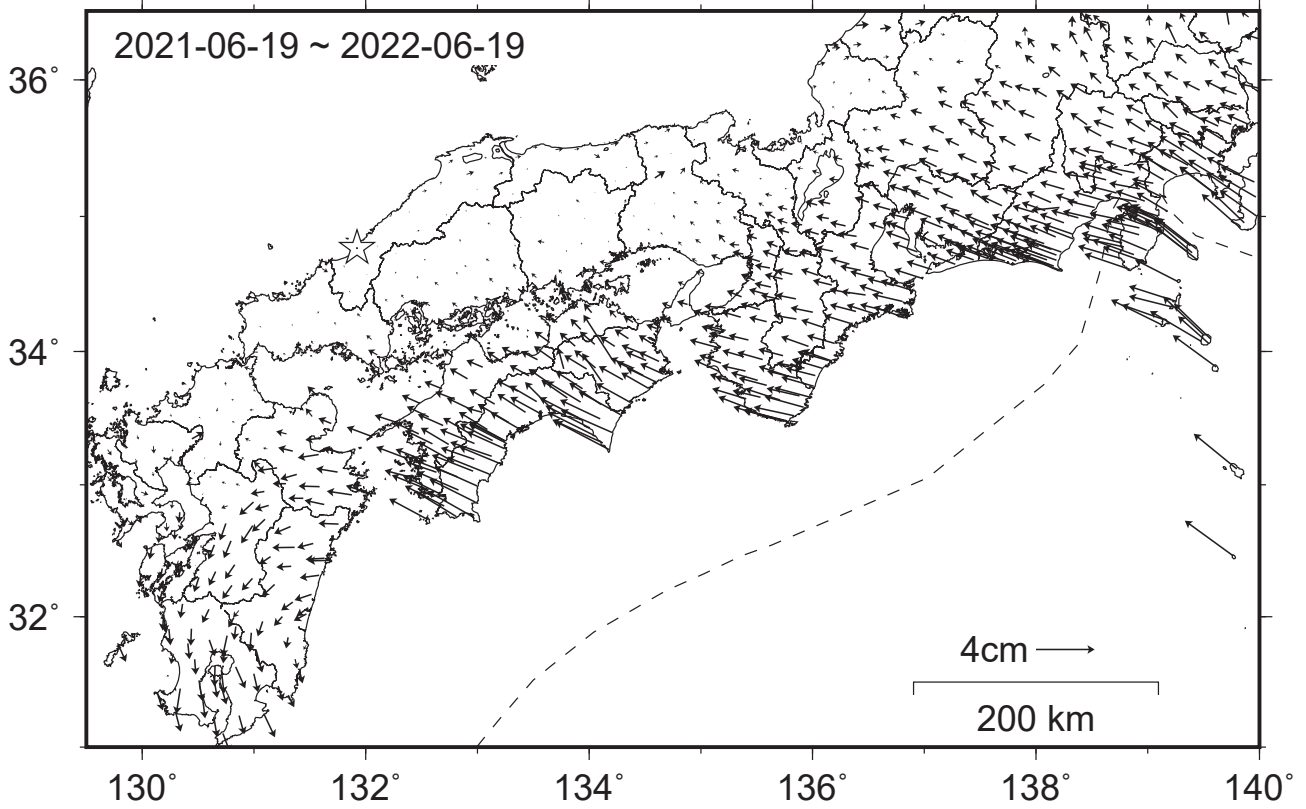
- ・ GNSS 連続観測のプロット点は、GEONET による日々の座標値 (F5 : 最終解) から計算した値の月平均値である。(最新のプロット点 : 6/1~6/11 の平均値)
- ・ 水準測量の結果は、最寄り的一等水準点の結果を表示しており、GNSS 連続観測の全期間の値との差が最小となるように描画している。
- ・ 「水準測量による長期間の上下変動」のグラフにおける、各プロットの色は配点図の水準点の色と対応する。また、灰色のプロットは GEONET の月平均値を示している。

- ※ 1 2012/10/23 に電子基準点「室戸 2」のアンテナ及び受信機交換を実施した。
- ※ 2 2015/10/1 に電子基準点「室戸 2」の受信機交換を実施した。
- ※ 3 2018/2/13 に電子基準点「室戸 2」のアンテナ及び受信機交換を実施した。
- ※ 4 2019/1/16 に電子基準点「徳島海南」の受信機交換を実施した。
- ※ 5 2019/7/11 に電子基準点「徳島海南」のアンテナ交換を実施した。

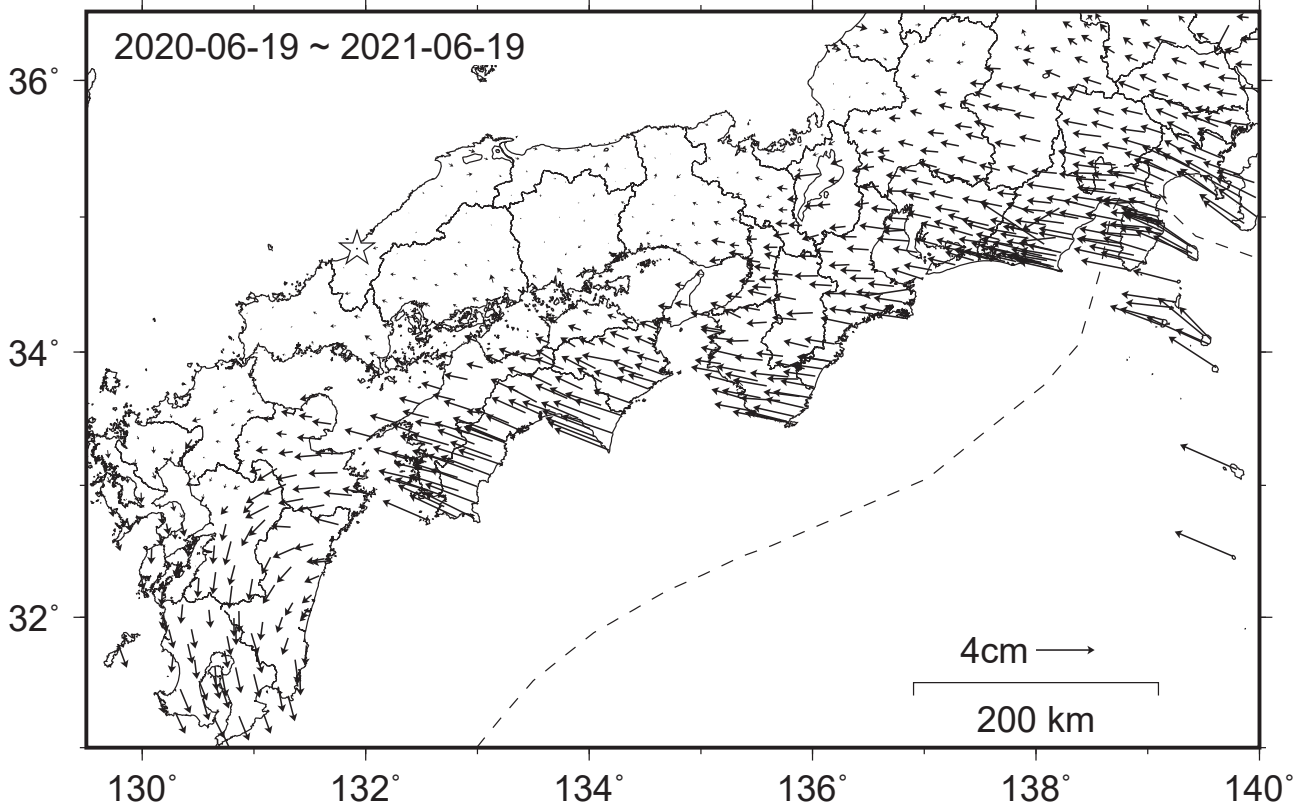
国土地理院

南海トラフ沿いの水平地殻変動【固定局：三隅】

【最近1年間】



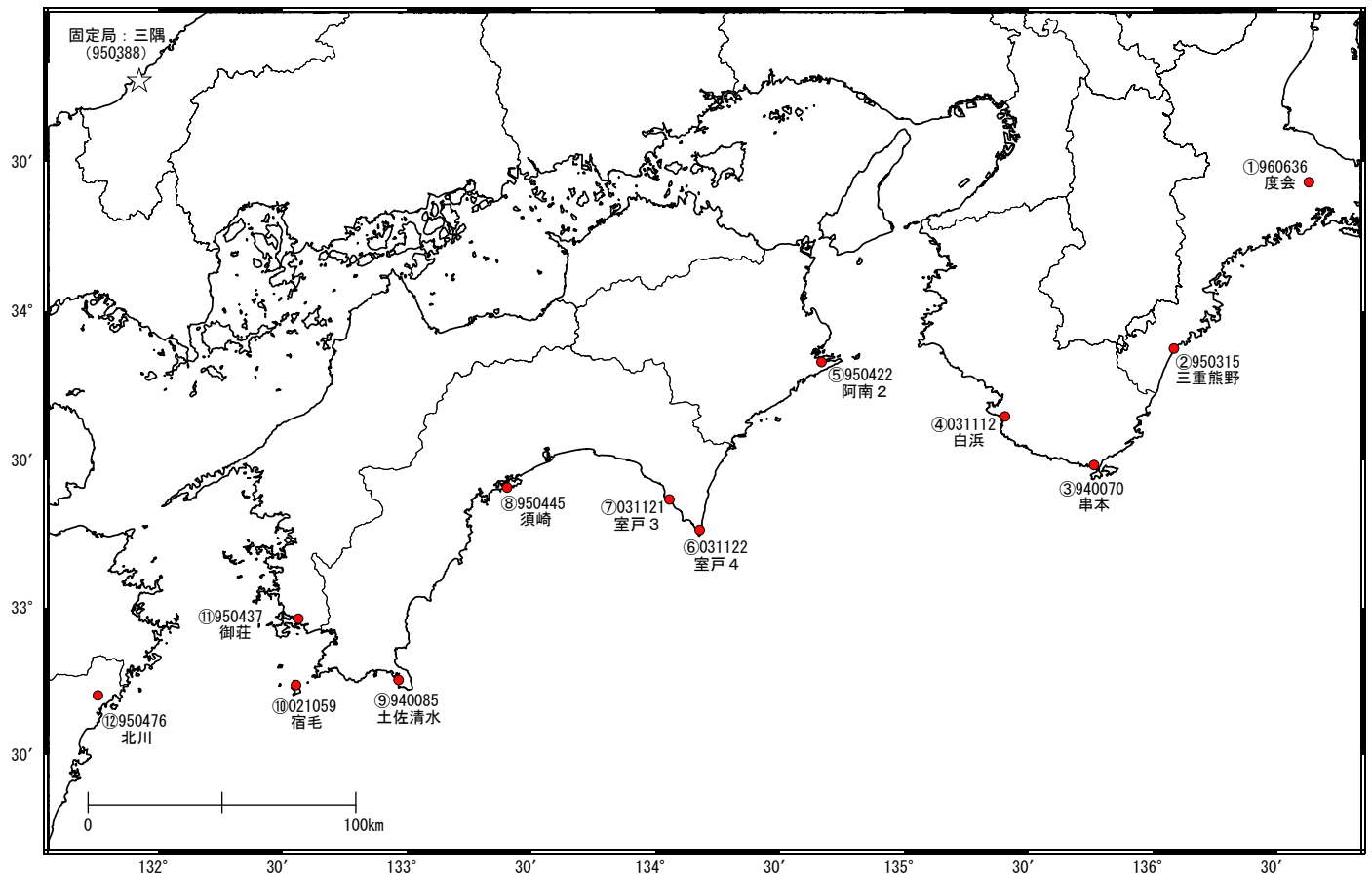
【1年前の1年間】



- ・ GEONET による日々の座標値 (F5 解、R5 解) を使用している。
- ・ 各日付 ± 6 日の計 13 日間の変動量の中央値をとり、その差から 1 年間の変動量を表示している。

南海トラフ周辺 G N S S 連続観測時系列 (1)

配点図



各観測局情報

点番号	点名	日付	保守内容
960636	度会	2010/02/09	受信機交換・レドーム開閉
		2012/11/07	アンテナ更新
		2014/08/12	アンテナ交換・受信機交換
		2017/11/27	受信機交換
950315	三重熊野	2011/01/14	受信機交換・レドーム開閉
		2012/10/31	アンテナ更新
		2021/01/17	受信機交換
940070	串本	2012/11/14	アンテナ更新・受信機交換
		2017/01/22	アンテナ交換
		2021/01/09	アンテナ更新・レドーム交換
		2021/12/01	受信機交換
031112	白浜	2010/01/22	受信機交換
		2012/11/13	アンテナ更新
		2018/01/10	受信機交換
		2018/08/03	周辺伐採
		2019/01/29	周辺伐採
950422	阿南2	2012/12/04	アンテナ更新・受信機交換
		2015/11/17	アンテナ交換
		2018/04/02	アンテナ交換・受信機交換
		2019/12/04	受信機交換
031122	室戸4	2010/01/26	受信機交換
		2012/10/22	アンテナ更新
		2017/05/23	受信機交換
		2018/01/30	受信機交換

点番号	点名	日付	保守内容
031121	室戸3	2010/01/25	受信機交換
		2012/10/22	アンテナ更新
		2017/01/18	受信機交換
950445	須崎	2012/10/11	アンテナ更新・受信機交換
		2017/06/23	アンテナ交換
		2019/11/28	受信機交換
940085	土佐清水	2012/11/15	アンテナ更新・受信機交換
		2019/11/26	受信機交換
021059	宿毛	2012/11/16	アンテナ更新・受信機交換
		2015/11/19	アンテナ交換
		2021/12/11	受信機交換
950437	御荘	2008/01/28	周辺伐採
		2011/10/06	周辺伐採
		2012/12/05	アンテナ更新・受信機交換
		2015/10/05	周辺伐採
		2016/07/19	アンテナ交換
950476	北川	2012/11/22	アンテナ更新・受信機交換
		2014/12/18	アンテナ交換
		2019/11/28	受信機交換
950388	三隅	2012/10/29	アンテナ更新・受信機交換
		2014/10/01	周辺伐採
		2019/11/13	受信機交換

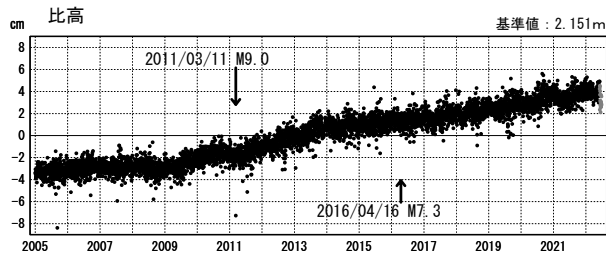
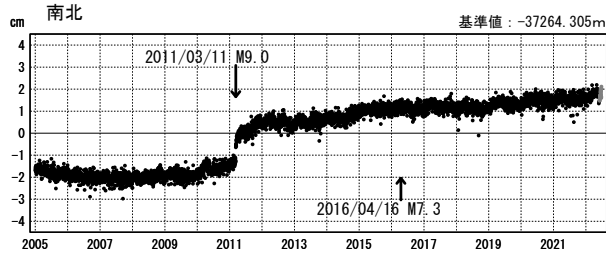
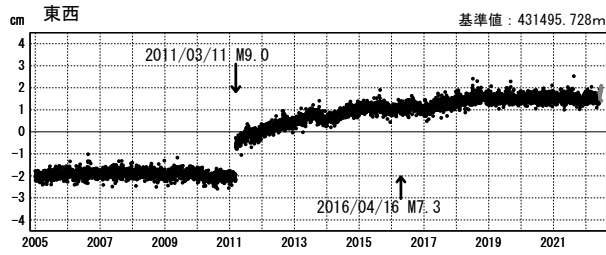
南海トラフ周辺 GNS S 連続観測時系列 (2)

1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

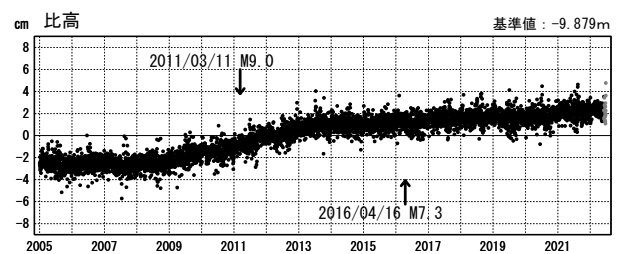
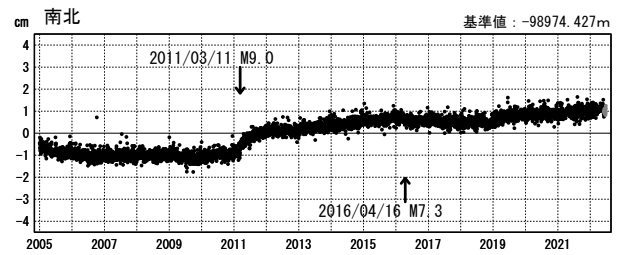
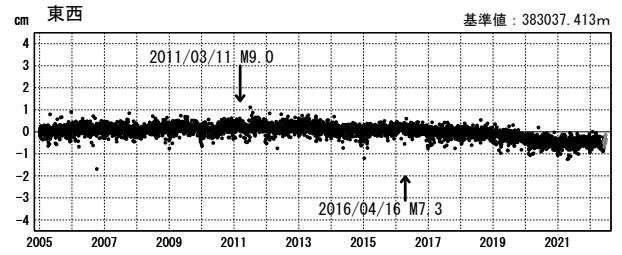
期間：2005/01/01～2022/06/25 JST

計算期間：2006/01/01～2009/01/01

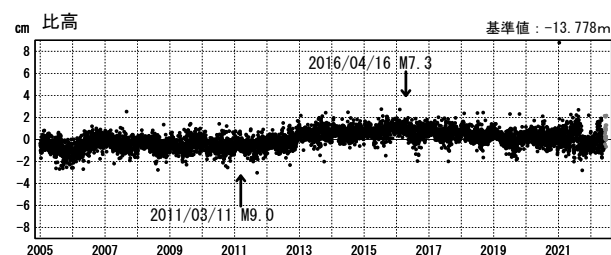
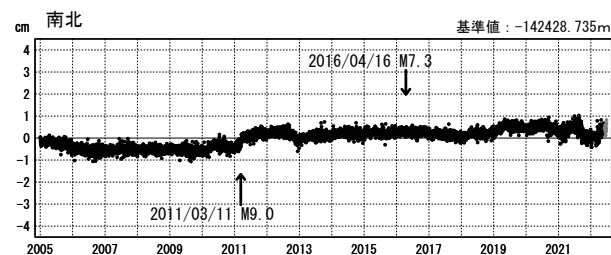
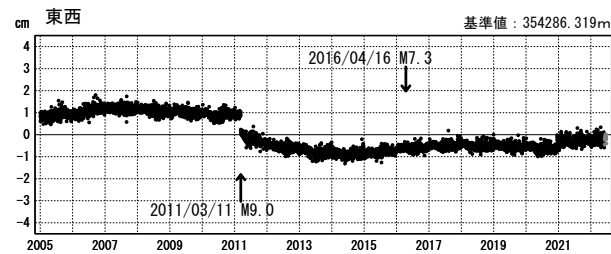
(1) 三隅(950388)→度会(960636)



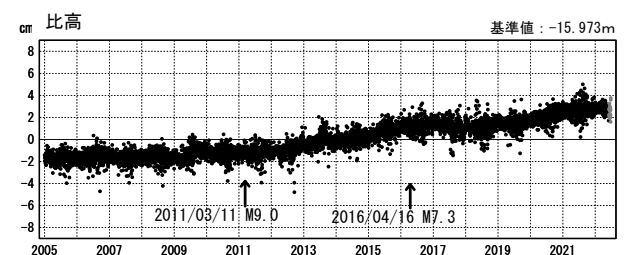
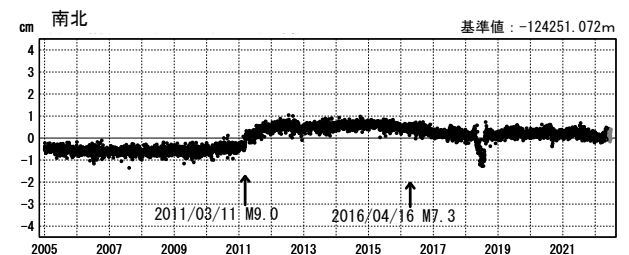
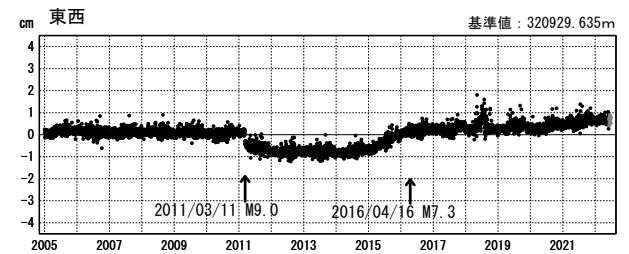
(2) 三隅(950388)→三重熊野(950315)



(3) 三隅(950388)→串本(940070)



(4) 三隅(950388)→白浜(031112)



●---[F5:最終解] ●---[R5:速報解]

※三隅には2016年4月の熊本地震に伴う地殻変動の補正を行った。

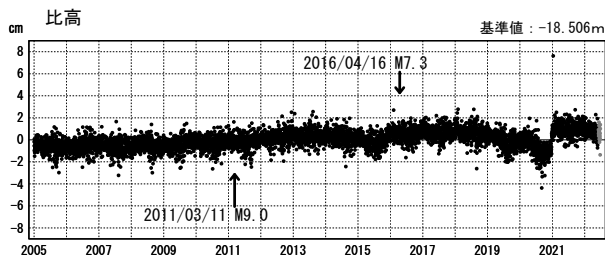
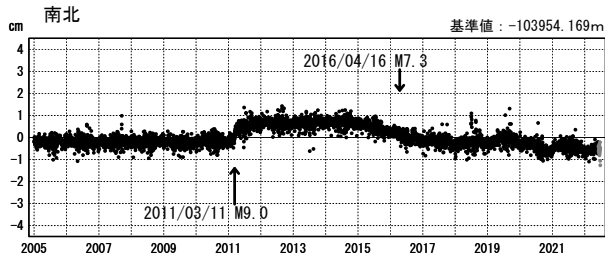
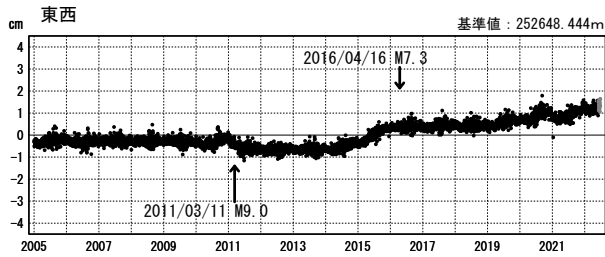
南海トラフ周辺 G N S S 連続観測時系列 (3)

1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

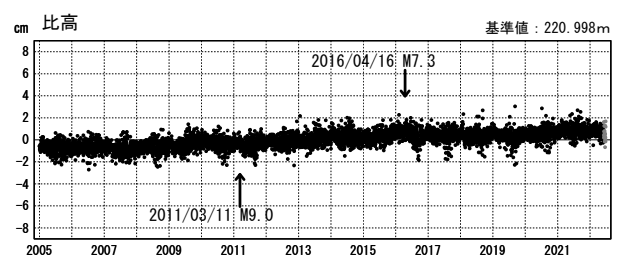
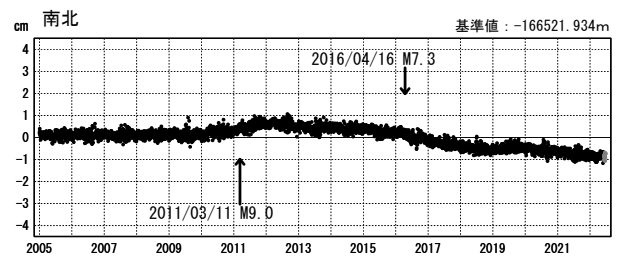
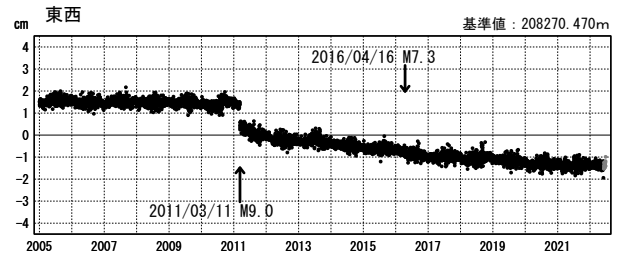
期間：2005/01/01~2022/06/25 JST

計算期間：2006/01/01~2009/01/01

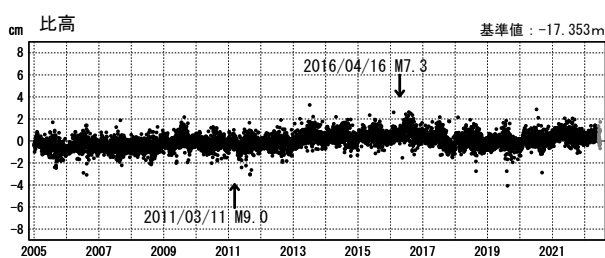
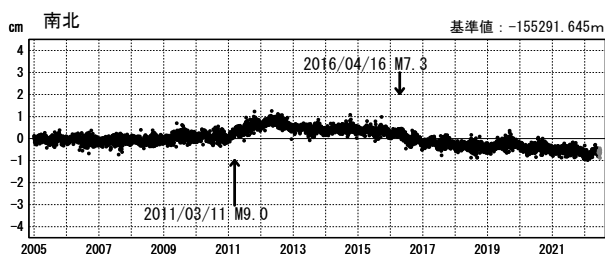
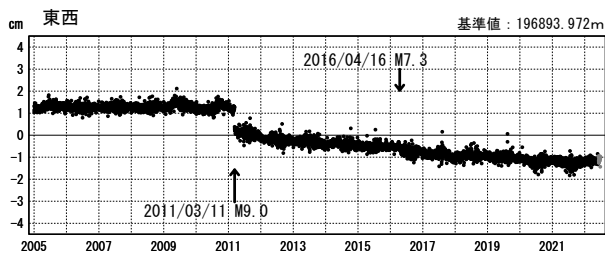
(5) 三隅(950388)→阿南2(950422)



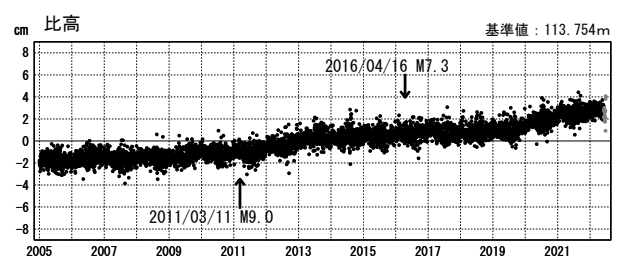
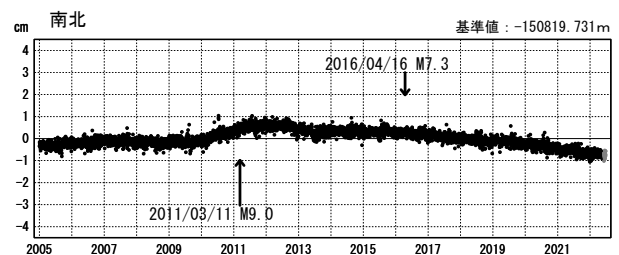
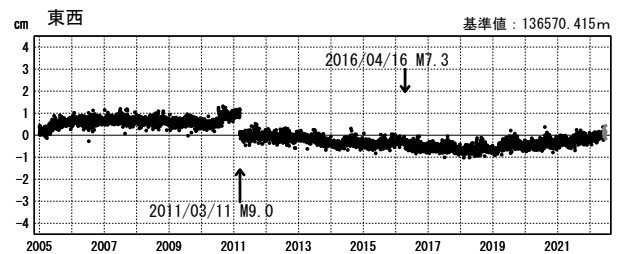
(6) 三隅(950388)→室戸4(031122)



(7) 三隅(950388)→室戸3(031121)



(8) 三隅(950388)→須崎(950445)



●—[F5:最終解] ●—[R5:速報解]

※三隅には2016年4月の熊本地震に伴う地殻変動の補正を行った。

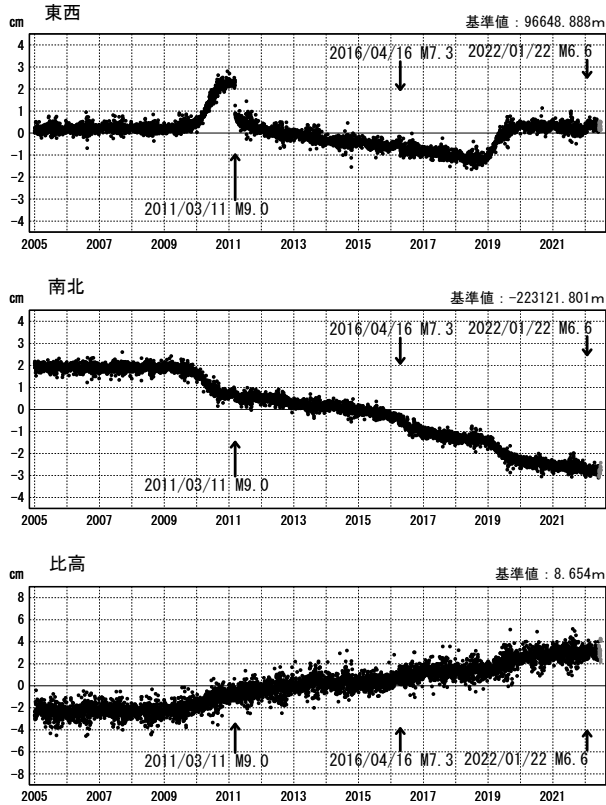
南海トラフ周辺 GNS S 連続観測時系列 (4)

1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

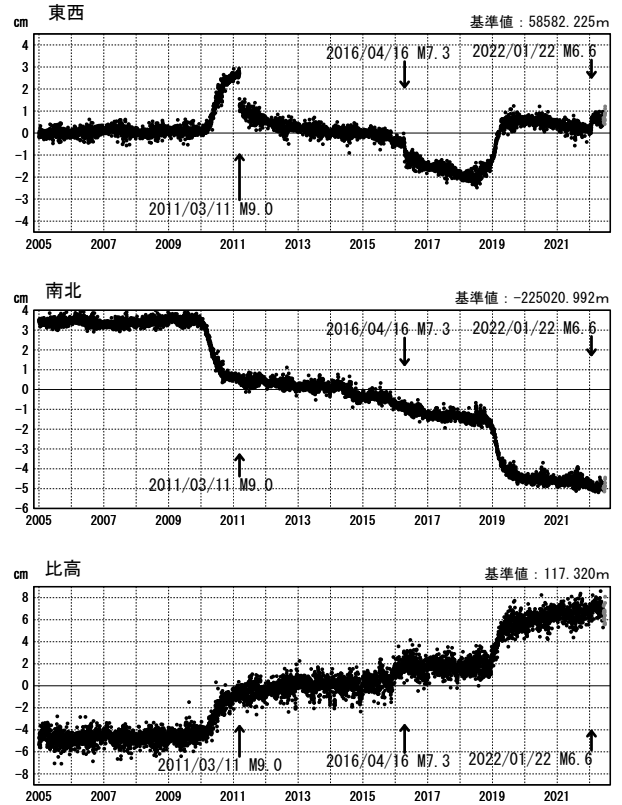
期間：2005/01/01~2022/06/25 JST

計算期間：2006/01/01~2009/01/01

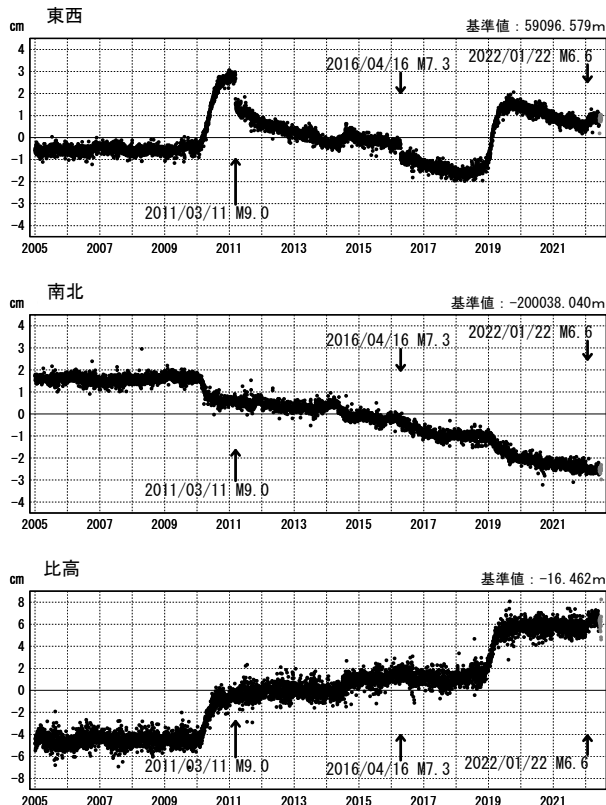
(9) 三隅(950388)→土佐清水(940085)



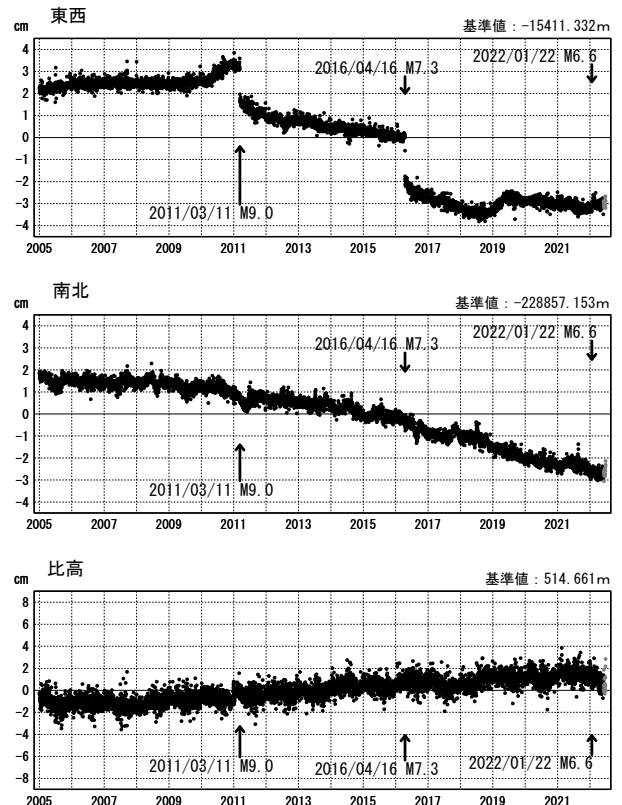
(10) 三隅(950388)→宿毛(021059)



(11) 三隅(950388)→御荘(950437)



(12) 三隅(950388)→北川(950476)



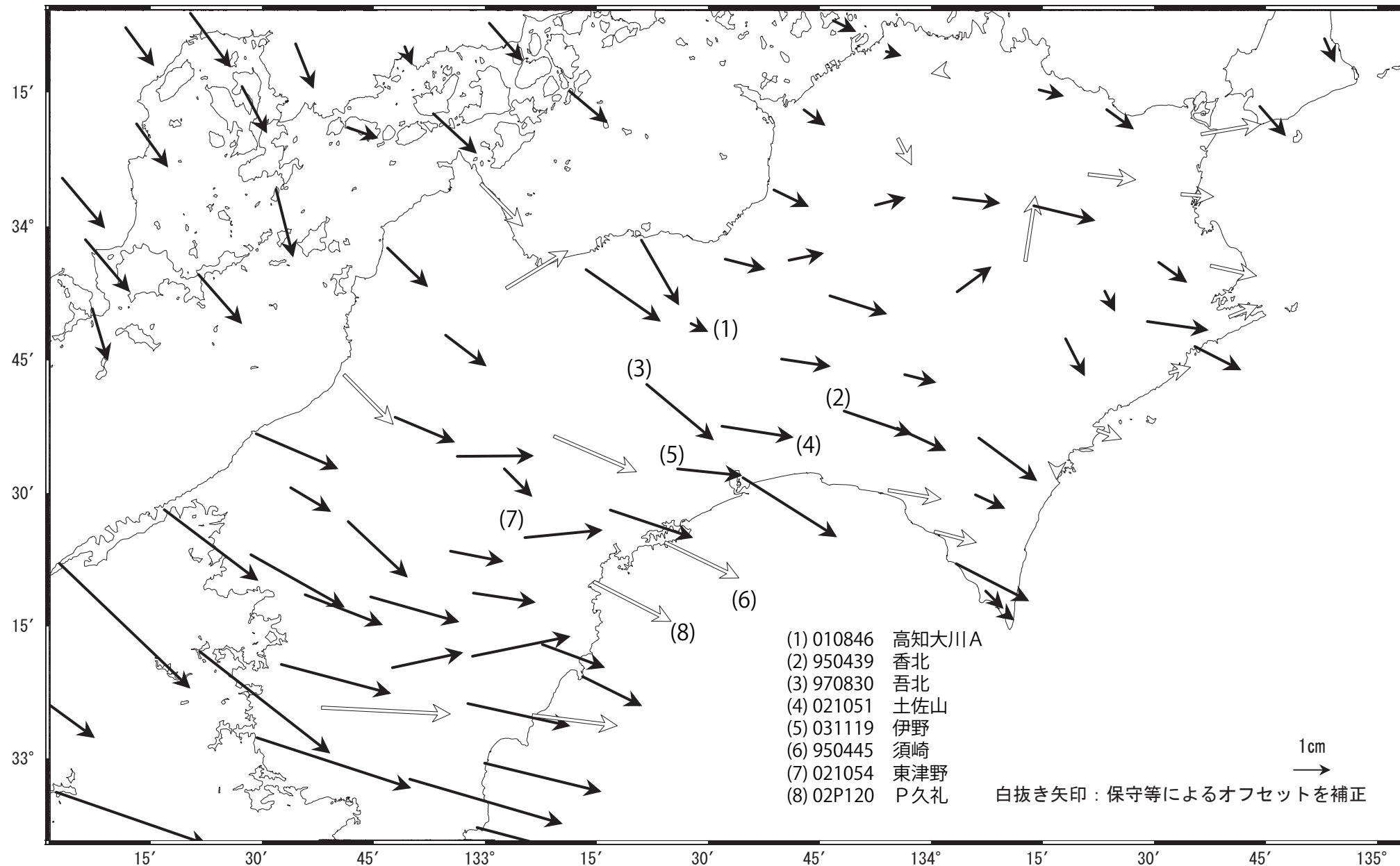
●— [F5:最終解] ●— [R5:速報解]

※三隅には2016年4月の熊本地震に伴う地殻変動の補正を行った。

四国中部の非定常水平地殻変動(1次トレンド・年周期・半年周期除去後)

基準期間: 2017/12/29~2018/01/04 [F5: 最終解]
 比較期間: 2022/06/12~2022/06/18 [R5: 速報解]

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01



固定局: 網野 (960640)

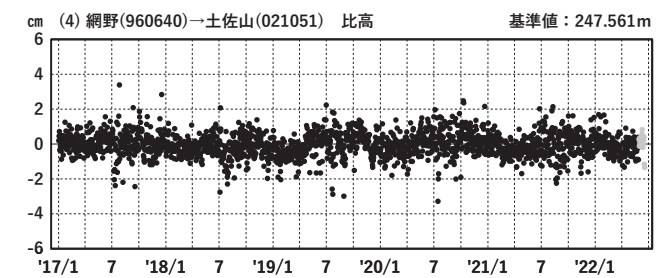
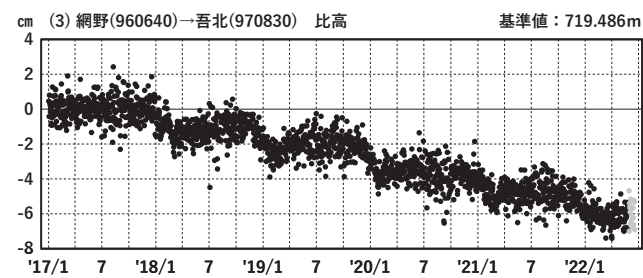
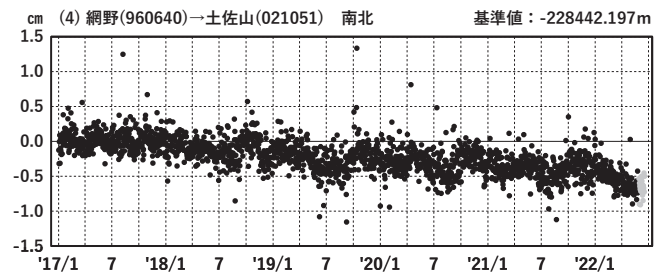
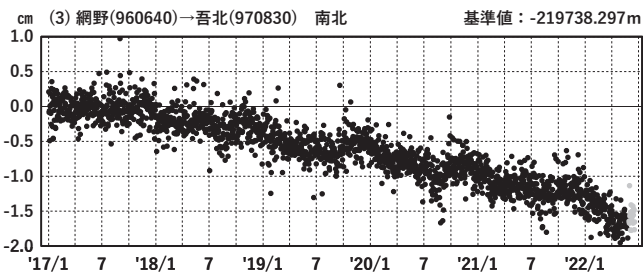
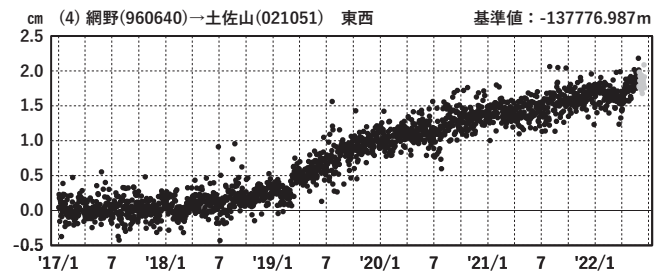
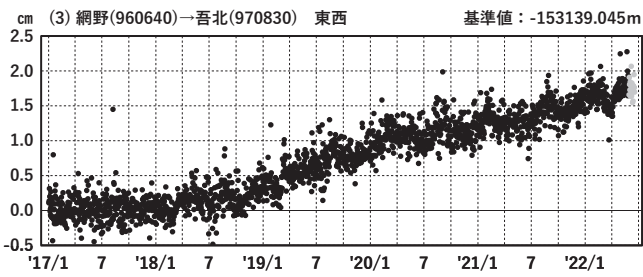
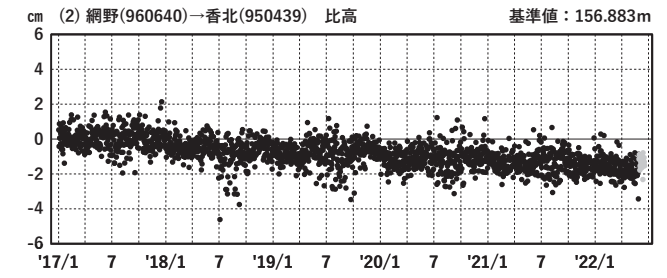
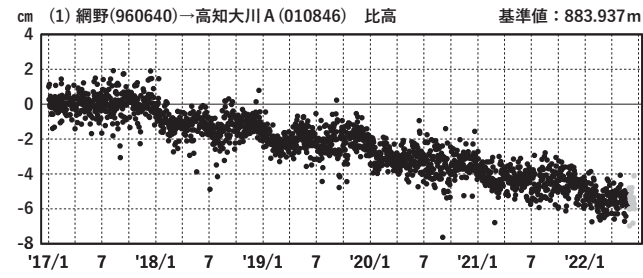
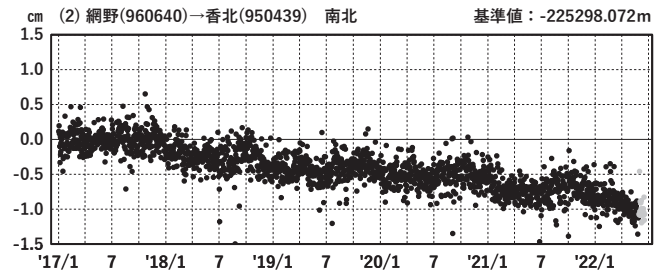
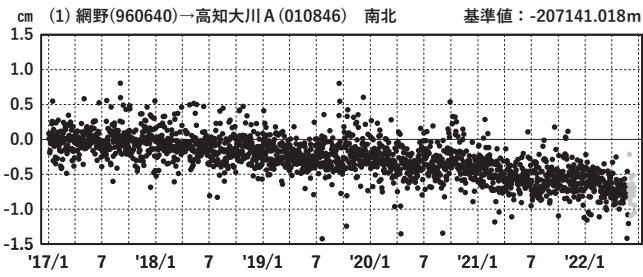
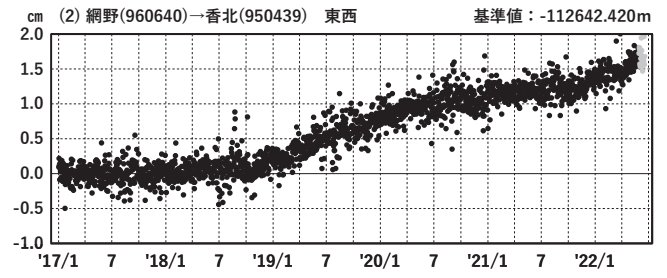
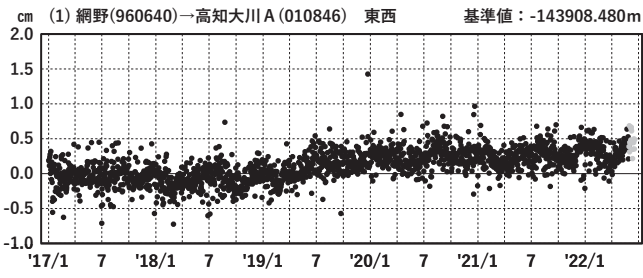
国土地理院

四国中部 G N S S 連続観測時系列 (1)

1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

期間: 2017/01/01~2022/06/18 JST

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01



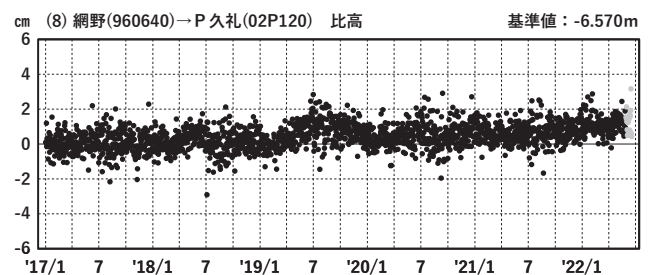
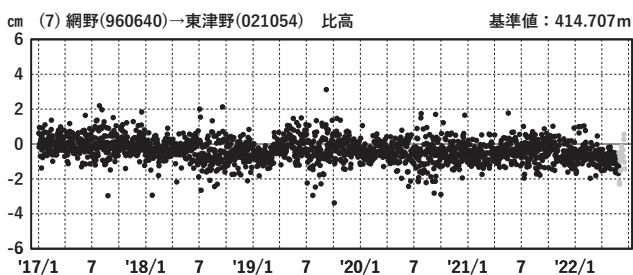
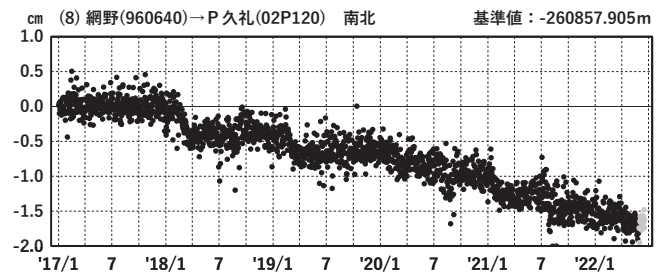
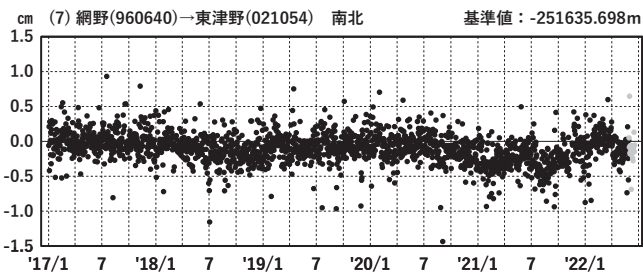
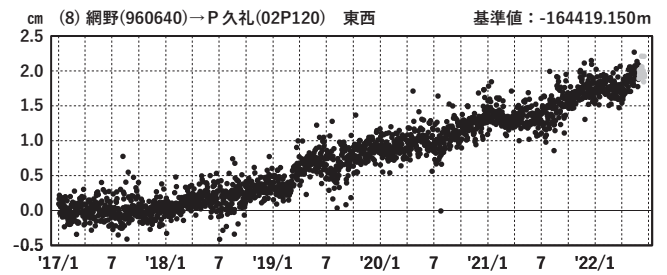
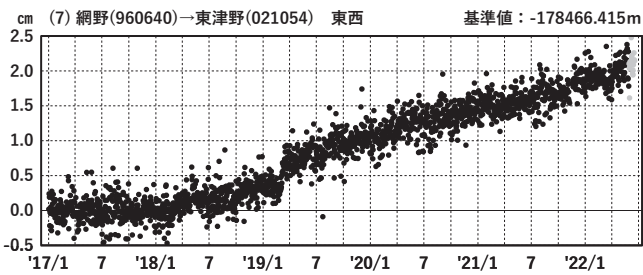
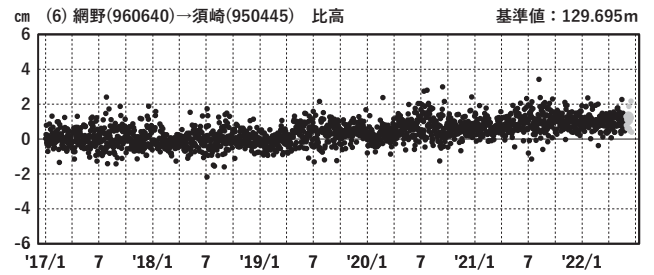
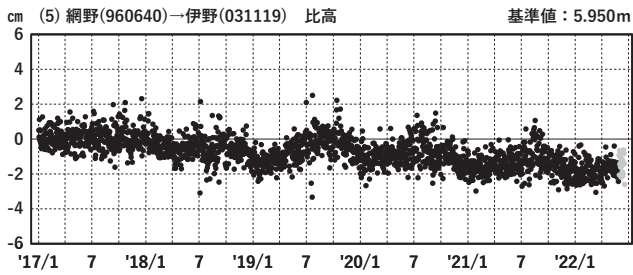
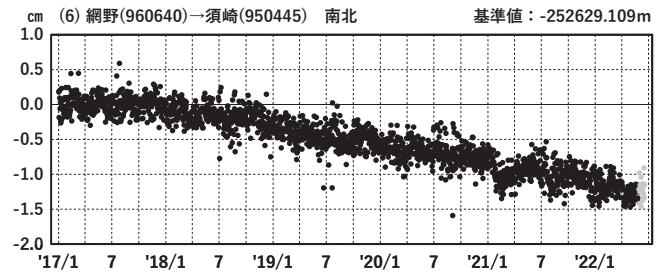
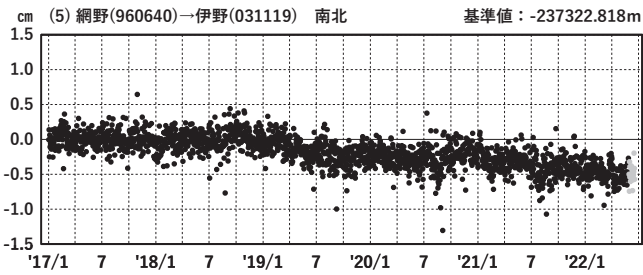
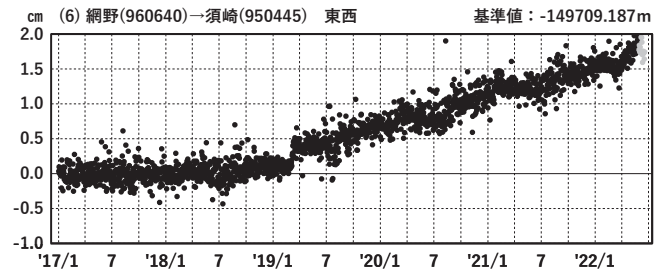
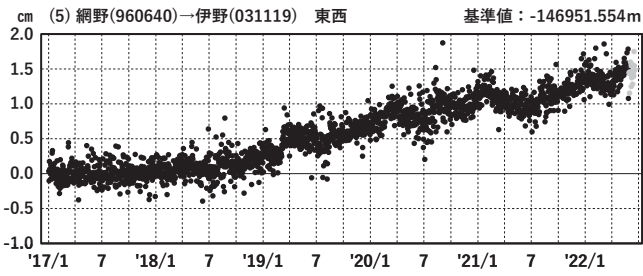
●---[F5:最終解] ●---[R5:速報解]

四国中部 G N S S 連続観測時系列 (2)

1次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

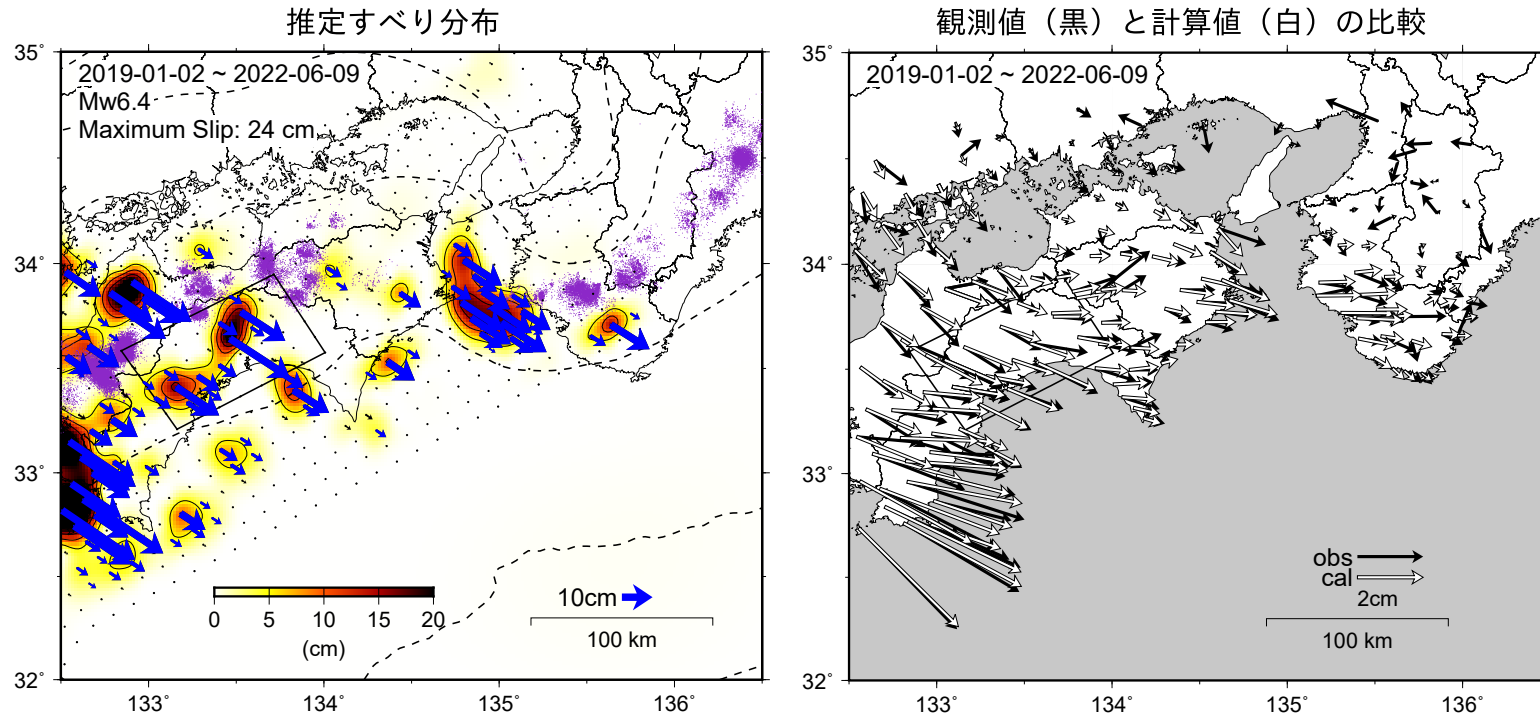
期間: 2017/01/01~2022/06/18 JST

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01



●---[F5:最終解] ●---[R5:速報解]

GNSS データから推定された四国中部の長期的ゆっくりすべり (暫定)



Mw 及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量 (カラー) 及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差 (σ) の3倍以上のグリッドを青色表示している。

使用したデータ: GEONET による日々の座標値 (F5、R5 解)

※電子基準点の保守等による変動は補正済み

トレンド期間: 2017-01-01~2018-01-01 (年周・半年周成分は 2017-01-01 ~ 最新のデータで補正)

モーメント計算範囲: 左図の黒枠内側

観測値: 3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線 (Hirose et al., 2008)

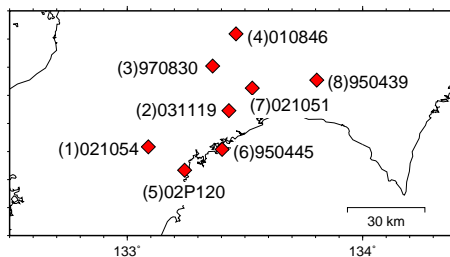
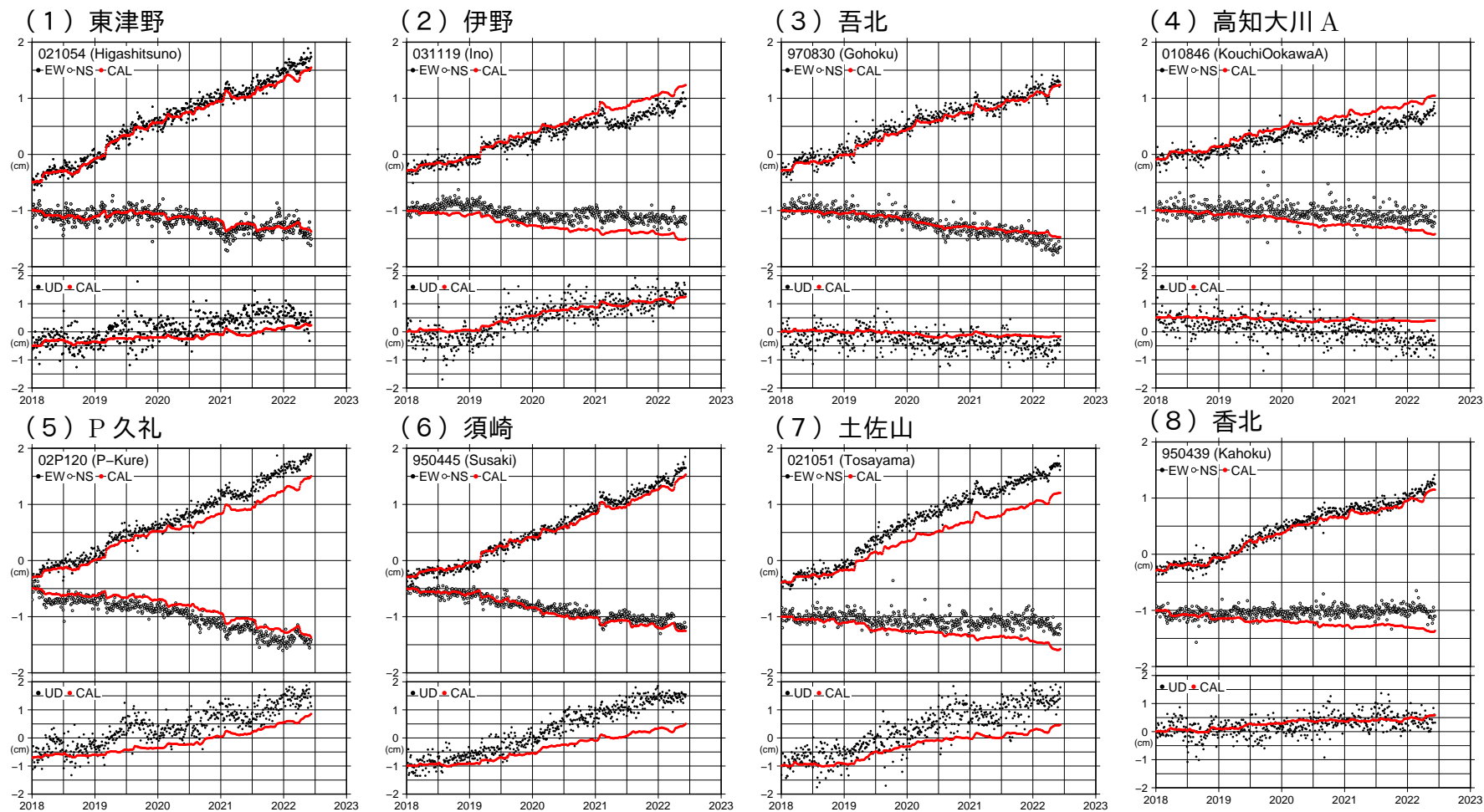
すべり方向: プレートの沈み込み方向と平行な方向に拘束

紫丸: 低周波地震 (気象庁一元化震源) (期間: 2019-01-02~2022-06-09)

固定局: 網野

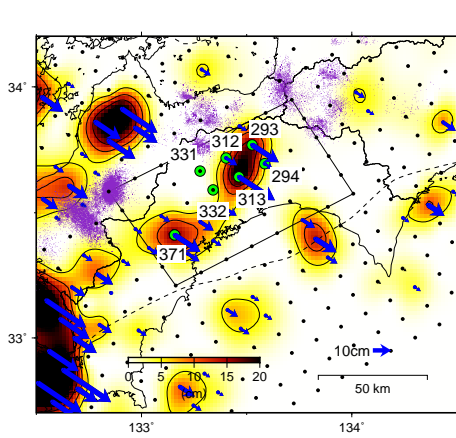
四国中部の観測点の座標時系列と計算値

時間依存のインバージョン

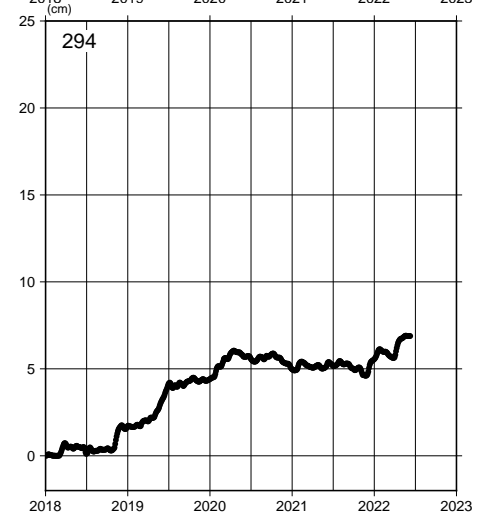
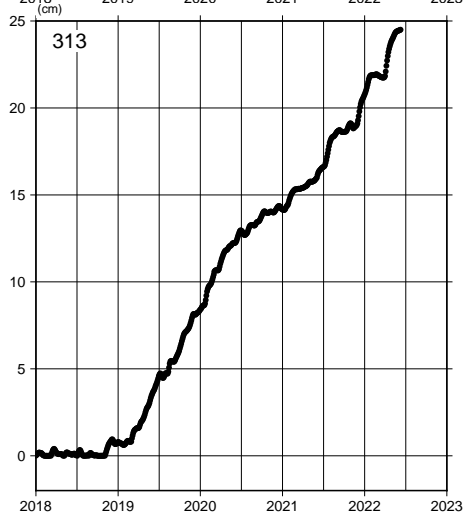
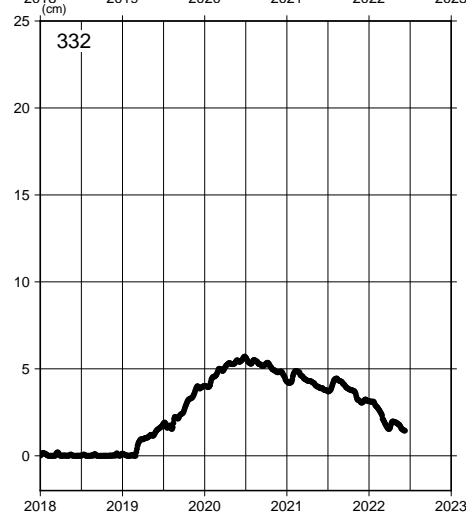
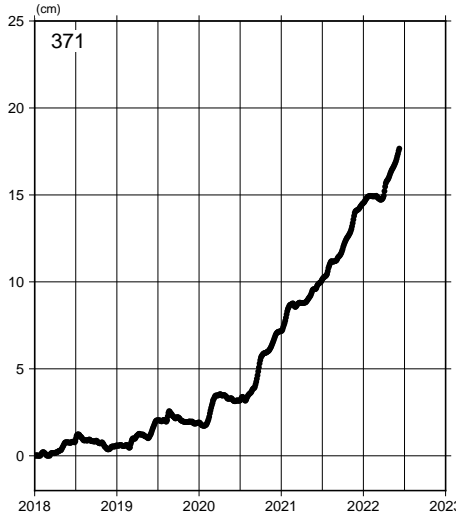
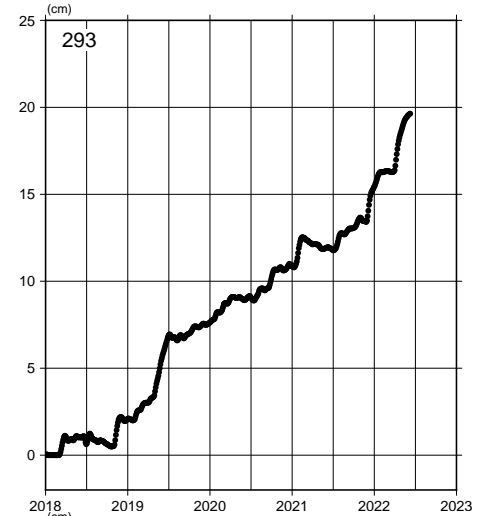
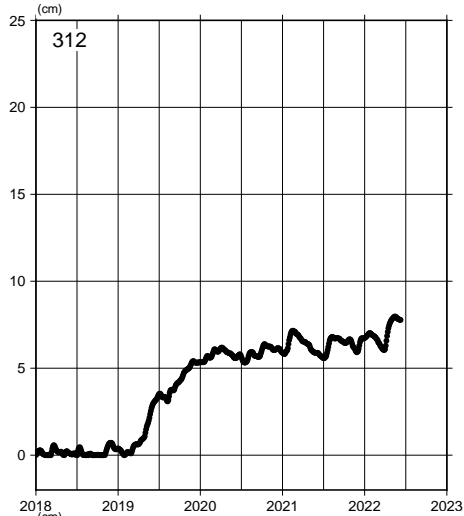
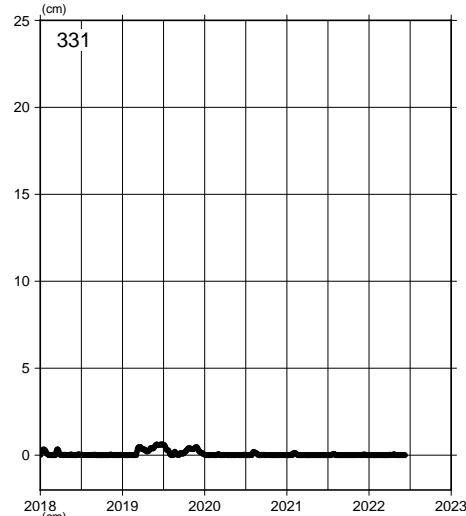


四国中部の長期的ゆっくりすべりの各グリッドにおけるすべりの時間変化

時間依存のインバージョン

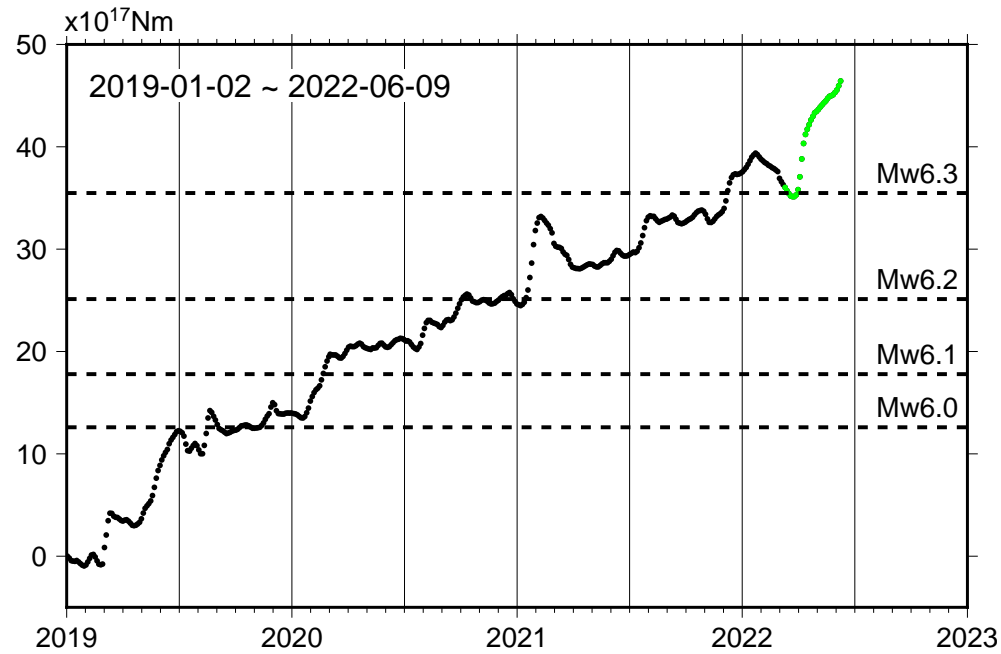


すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差（ σ ）の3倍以上のグリッドを青色表示している。



※プレートの沈み込み方向と平行な方向の変化を示している。

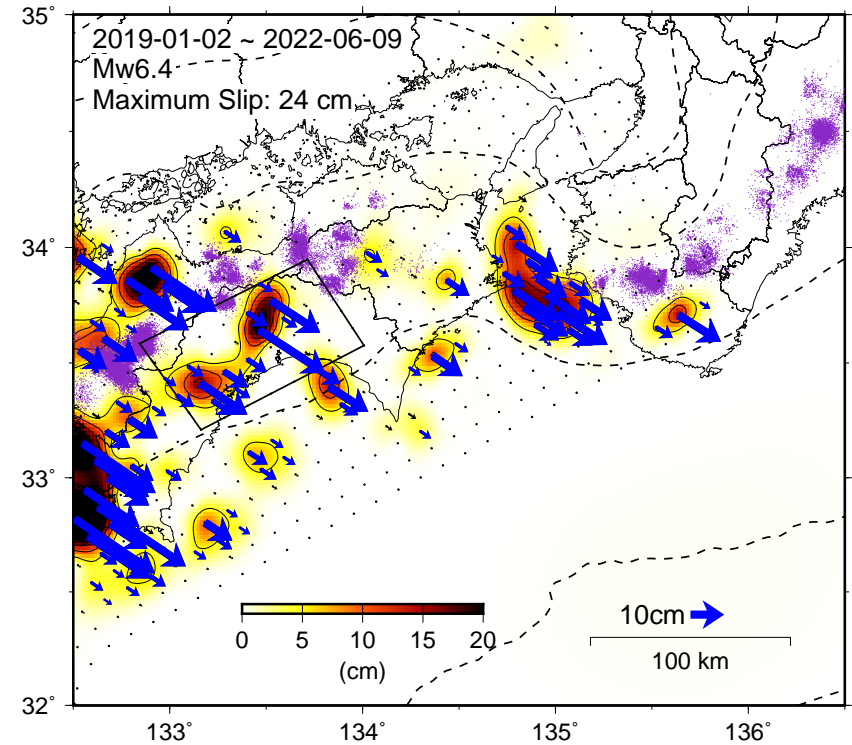
四国中部の長期的ゆっくりすべりのモーメント※時系列（試算）



※モーメント

断層運動のエネルギーの目安となる量。

地震の場合の Mw（モーメントマグニチュード）に換算できる。



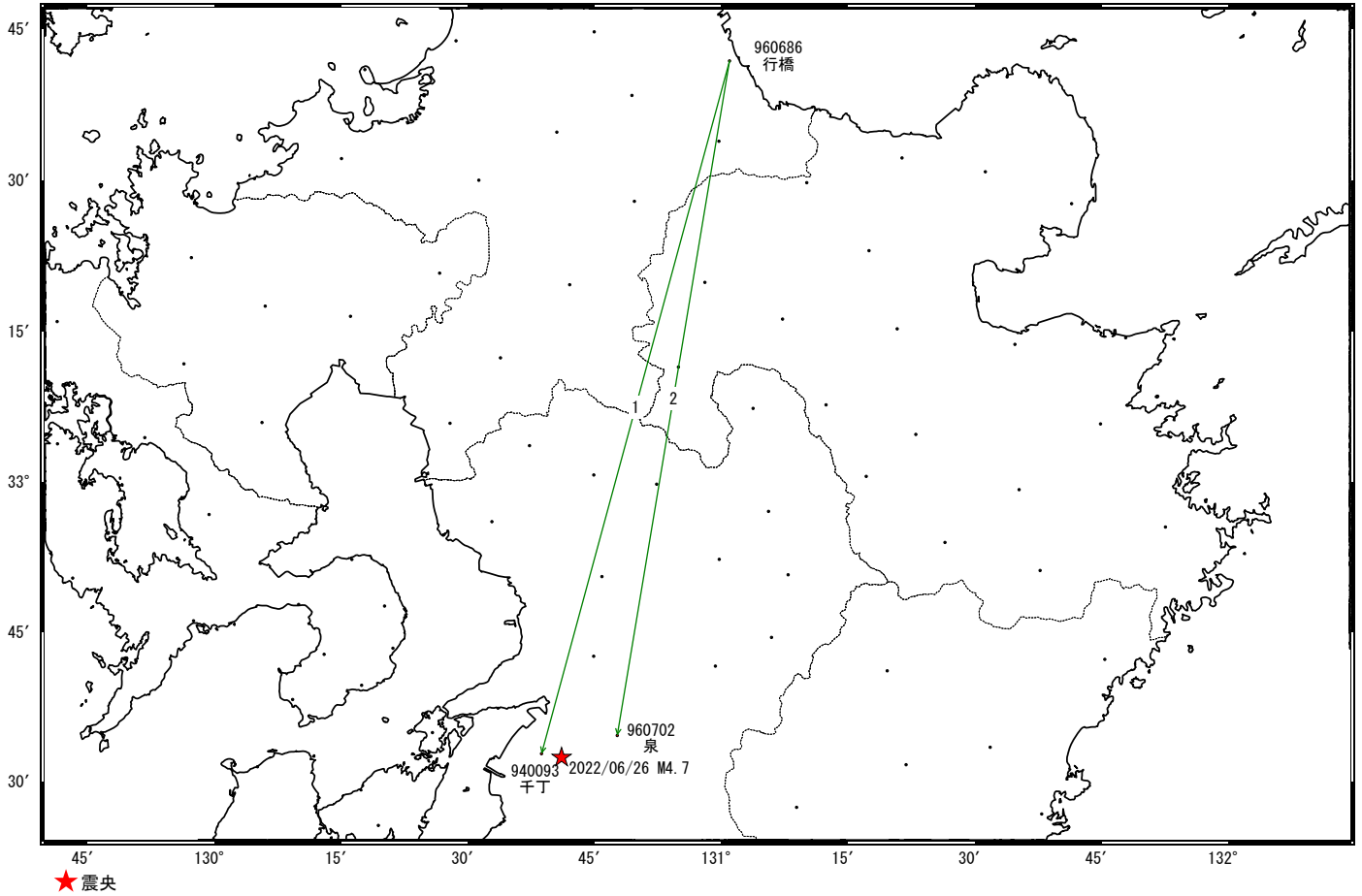
Mw 及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差（ σ ）の3倍以上のグリッドを青色表示している。

国土地理院

熊本県熊本地方の地震(6月26日 M4.7)前後の観測データ (暫定)

この地震に伴う顕著な地殻変動は見られない。

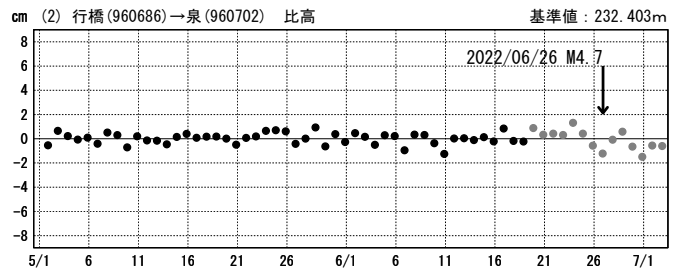
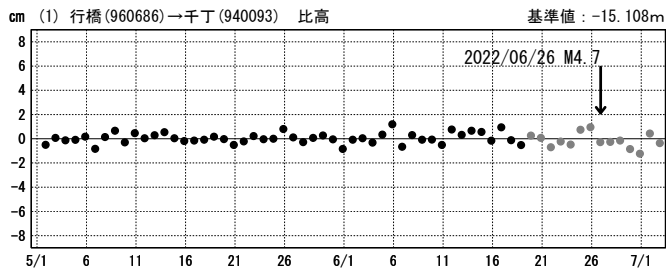
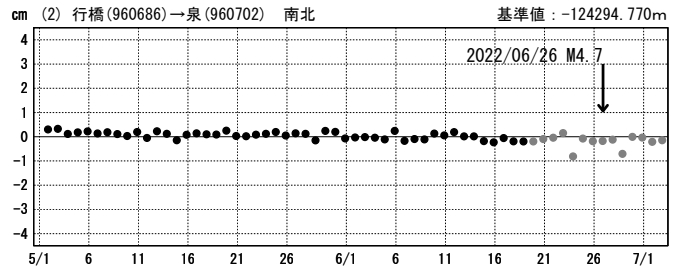
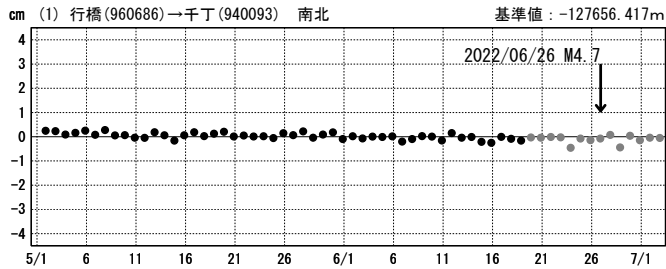
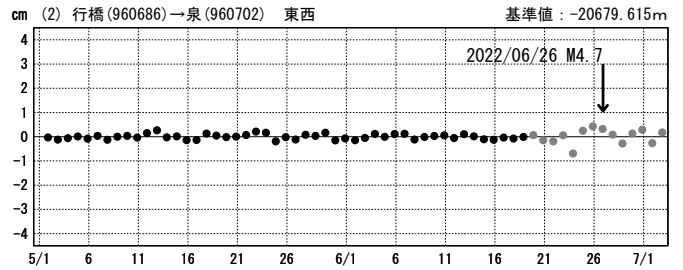
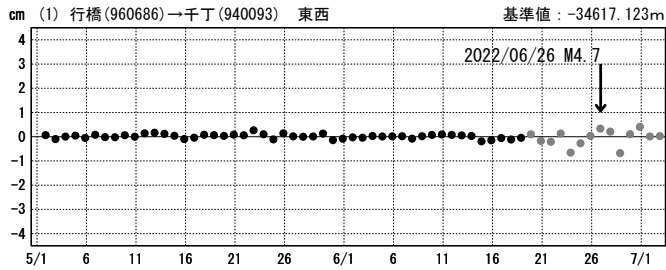
基線図



成分変化グラフ

期間: 2022/05/01~2022/07/02 JST

期間: 2022/05/01~2022/07/02 JST

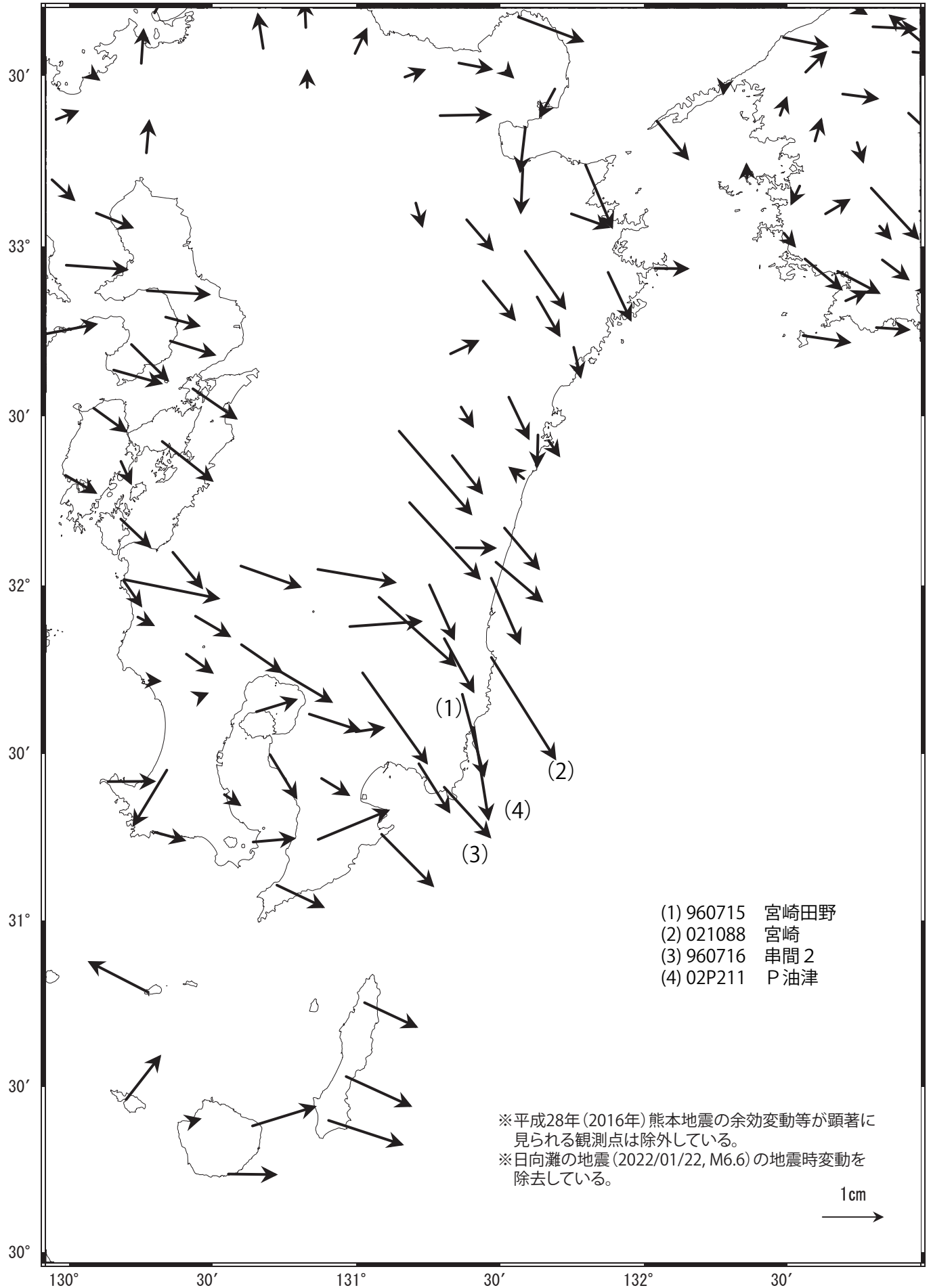


●—[F5:最終解] ●—[R5:速報解]

九州地域の非定常水平地殻変動(1次トレンド除去後)

基準期間: 2020/01/01~2020/01/07 [F5: 最終解]
 比較期間: 2022/06/10~2022/06/16 [R5: 速報解]

計算期間: 2012/01/01~2013/03/01

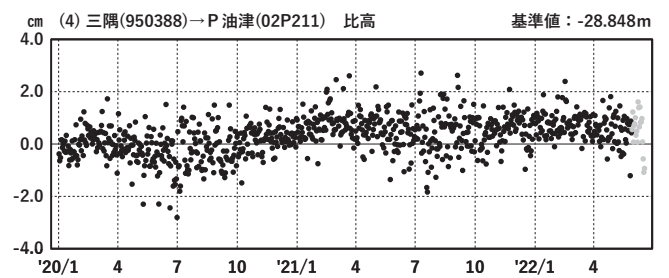
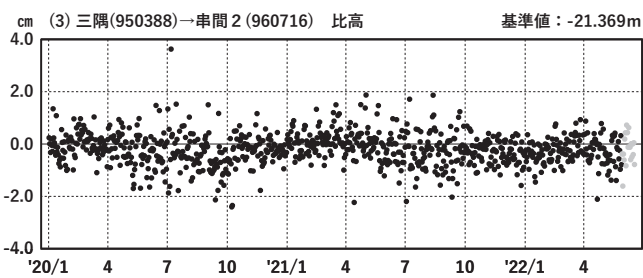
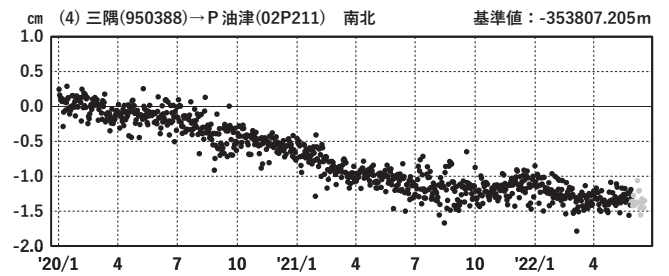
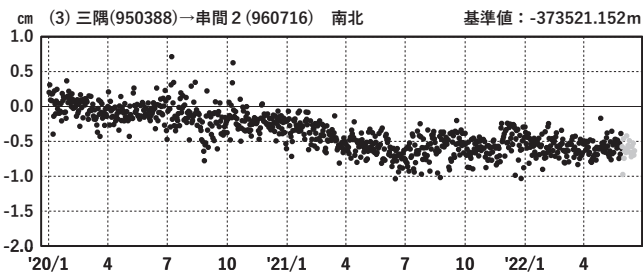
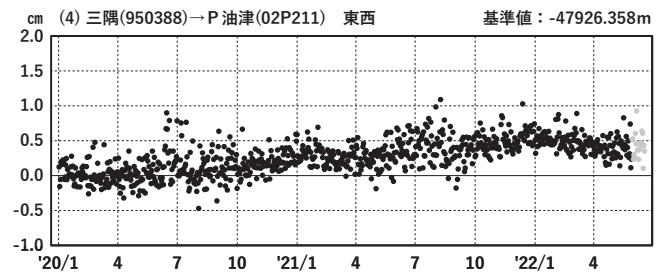
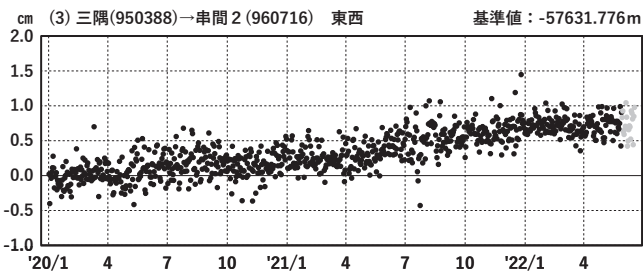
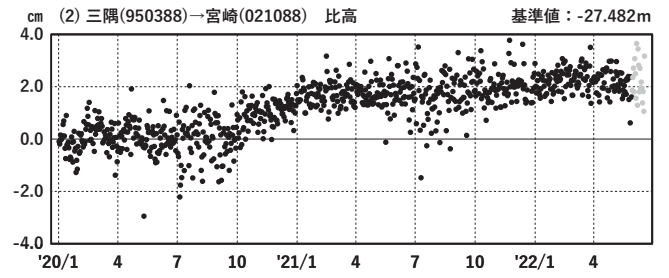
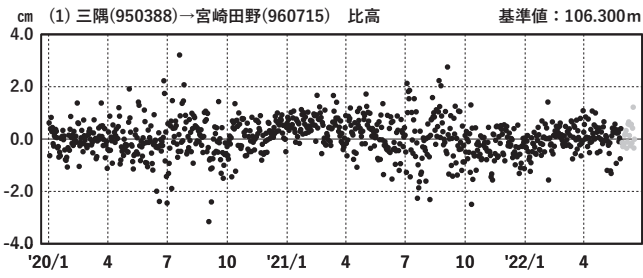
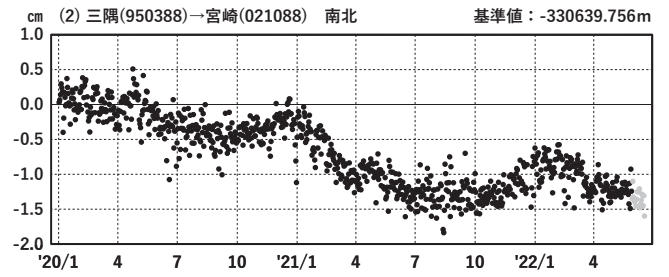
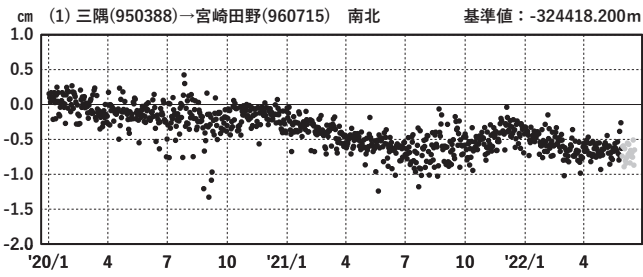
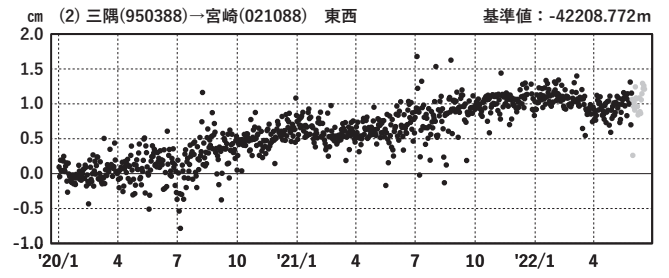
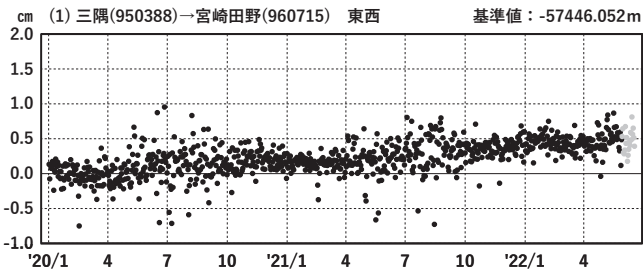


九州地域 G N S S 連続観測時系列

1次トレンド除去後グラフ

期間: 2020/01/01~2022/06/18 JST

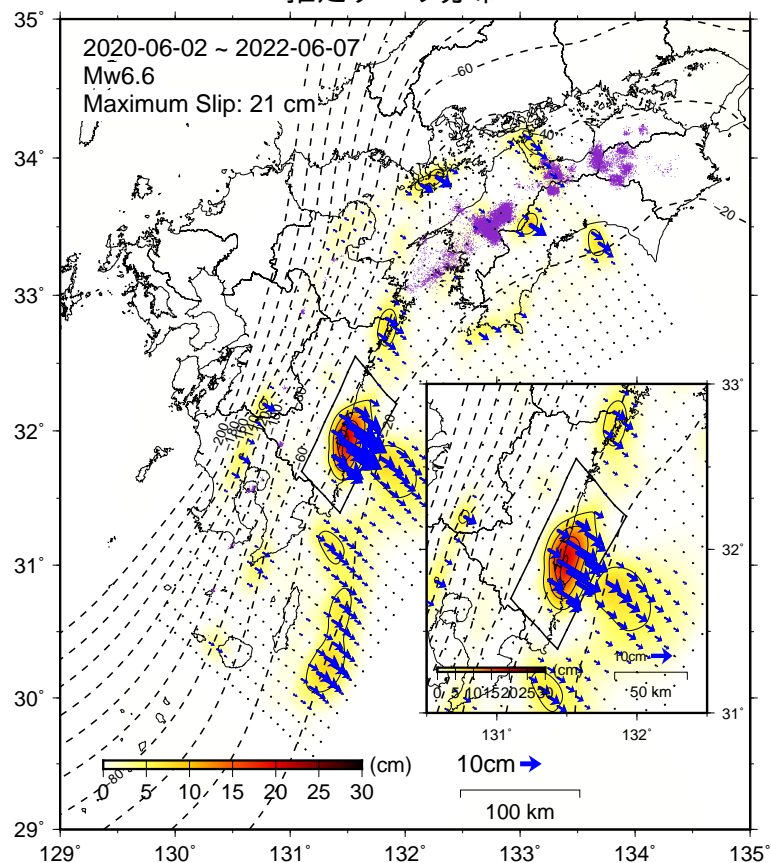
計算期間: 2012/01/01~2013/03/01



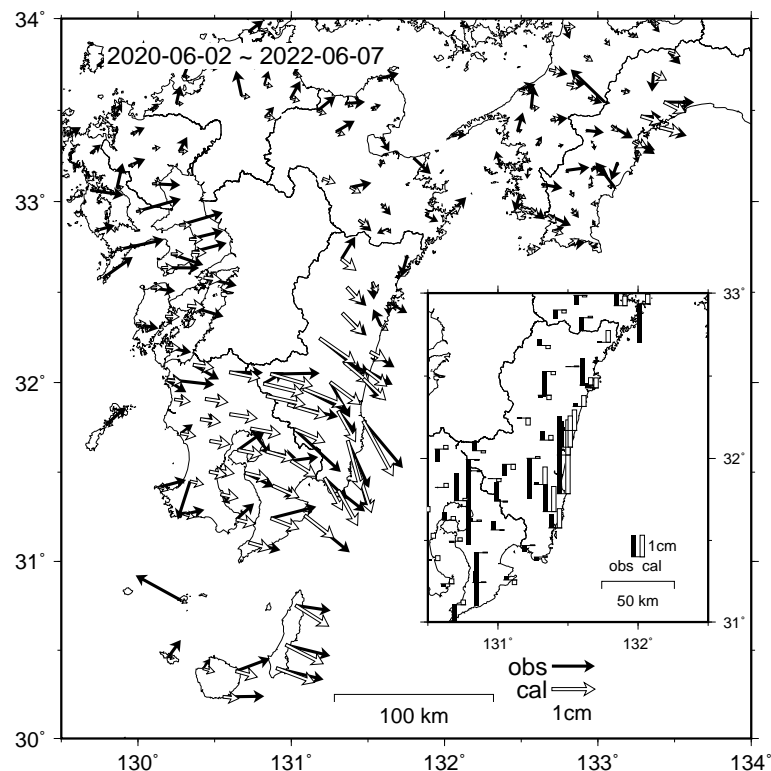
●---[F5:最終解] ●---[R5:速報解]

GNSS データから推定された日向灘南部の長期的ゆっくりすべり (暫定)

推定すべり分布



観測値 (黒) と計算値 (白) の比較



Mw 及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
すべり量 (カラー) 及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差 (σ) の3倍以上のグリッドを青色表示している。

使用したデータ: GEONET による日々の座標値 (F5、R5 解)

※電子基準点の保守等による変動は補正済み

※平成 28 年 (2016 年) 熊本地震の余効変動等が顕著に見られる観測点は除外している。

※日向灘の地震 (2022-01-22, Mw6.6) の地震時変動を除去している。

トレンド期間: 2012-01-01~2013-03-01 (年周・半年周成分は補正無し)

モーメント計算範囲: 左図の黒枠内側

観測値: 3 日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線: フィリピン海プレート上面の等深線 (Hirose et al., 2008)

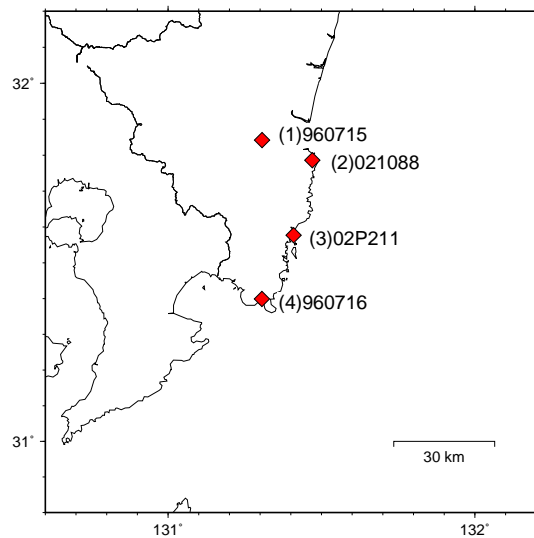
すべり方向: プレートの沈み込み方向と平行な方向に拘束

紫丸: 低周波地震 (気象庁一元化震源) (期間: 2020-06-02~2022-06-07)

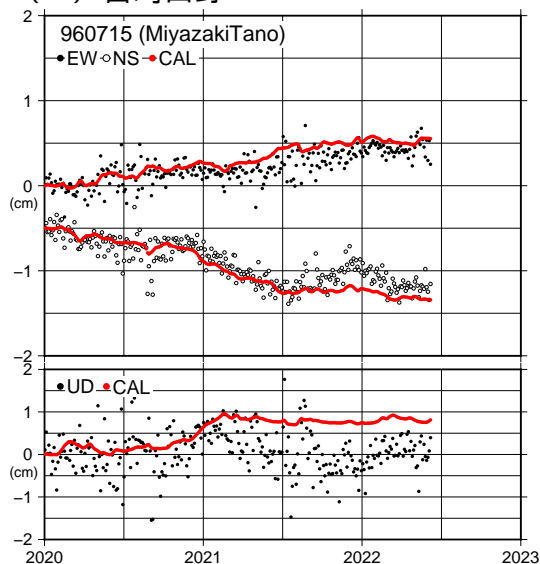
固定局: 三隅

九州地域の観測点の座標時系列と計算値

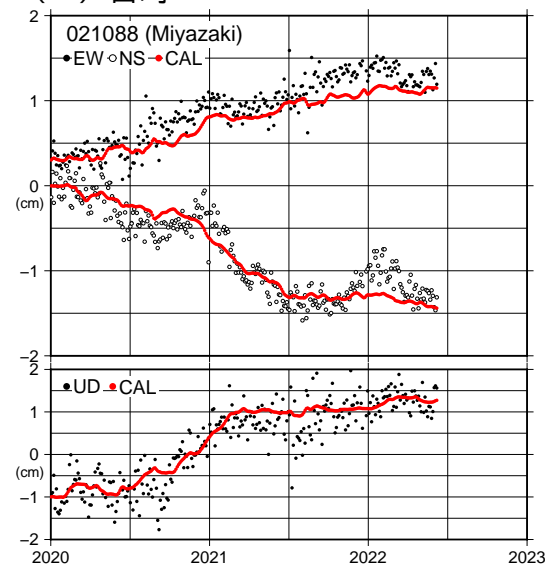
時間依存のインバージョン



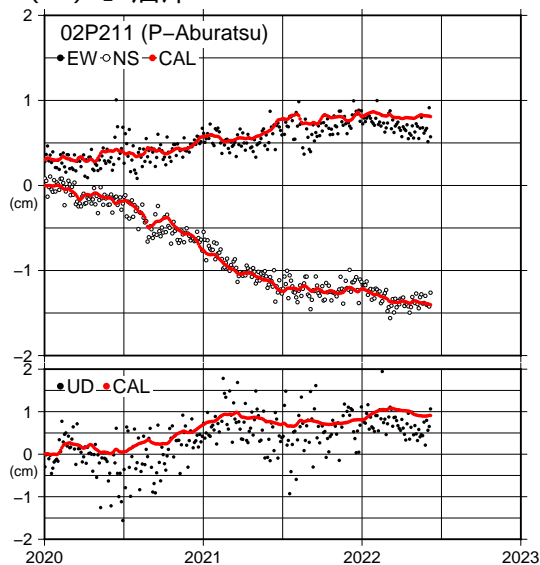
(1) 宮崎田野



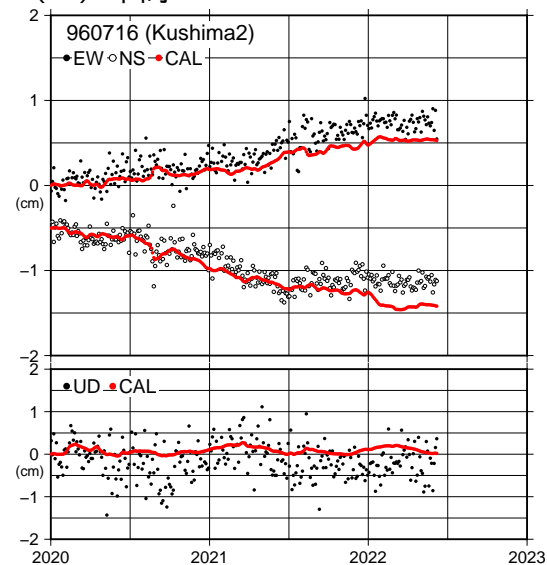
(2) 宮崎



(3) P 油津

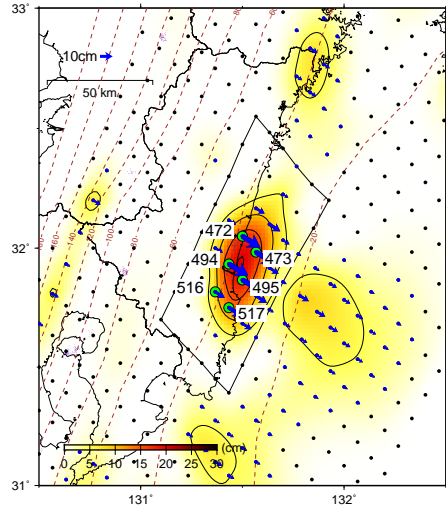


(4) 串間 2

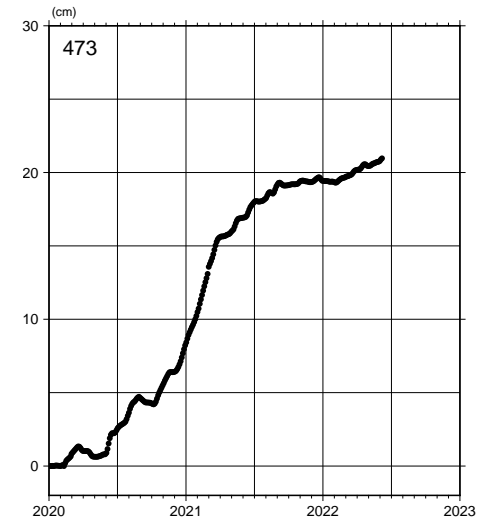
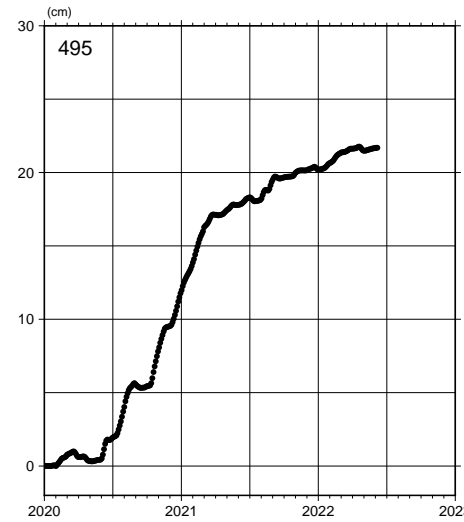
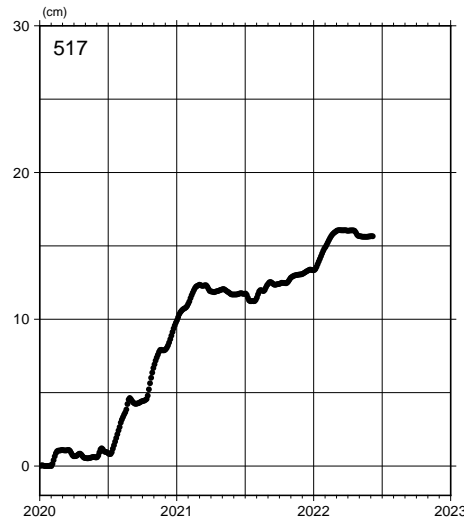
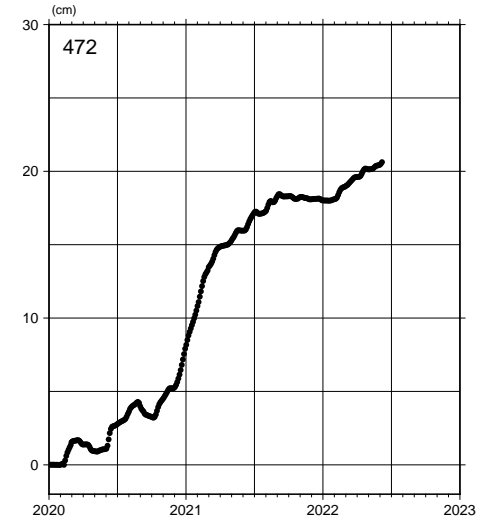
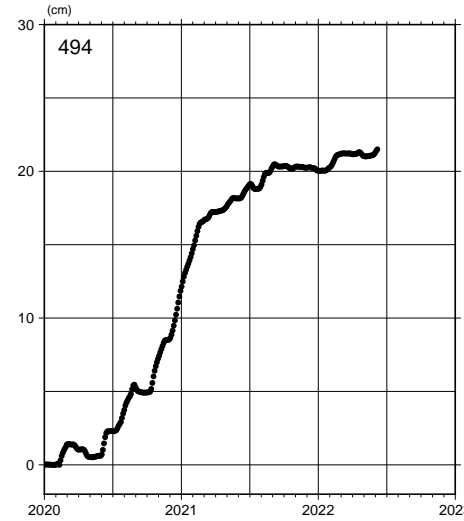
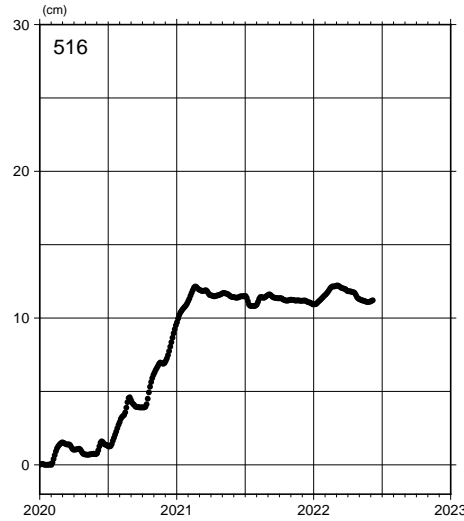


日向灘南部の長期的ゆっくりすべりの各グリッドにおけるすべりの時間変化

時間依存のインバージョン

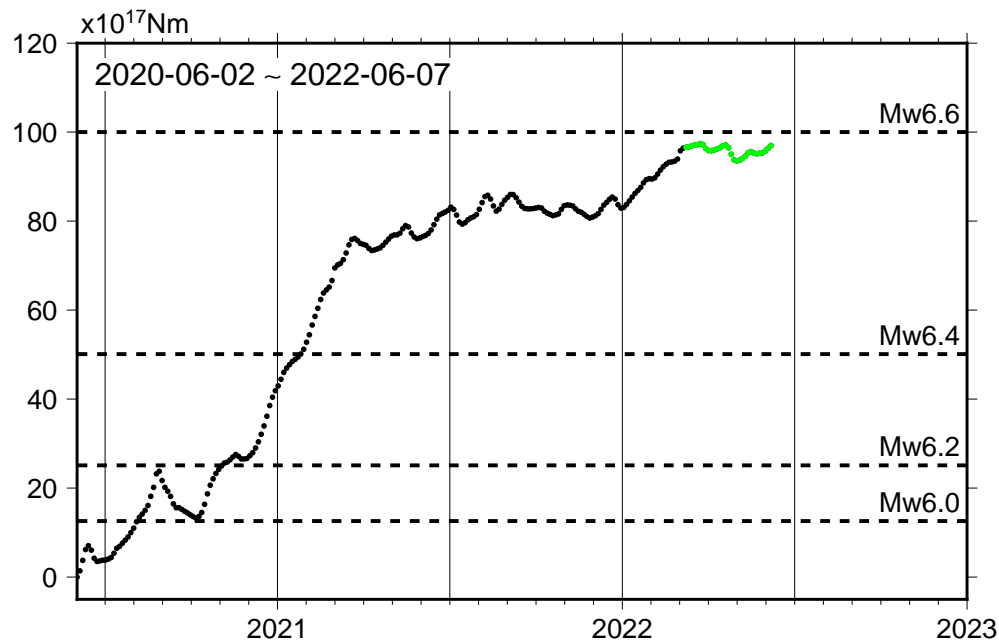


すべり量（カラー）及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
推定したすべり量が標準偏差（ σ ）の3倍以上のグリッドを青色表示している。

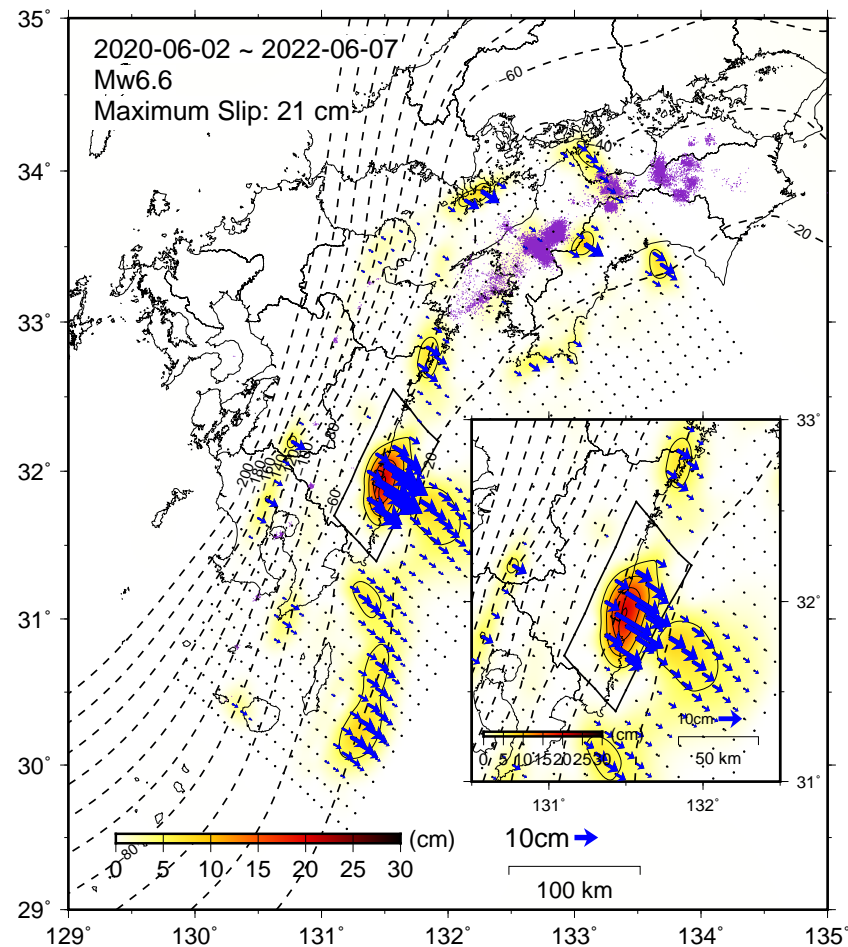


※プレートの沈み込み方向と平行な方向の変化を示している。

日向灘南部の長期的ゆっくりすべりのモーメント ※ 時系列 (試算)



※モーメント
 断層運動のエネルギーの目安となる量。
 地震の場合の Mw (モーメントマグニチュード) に換算できる。



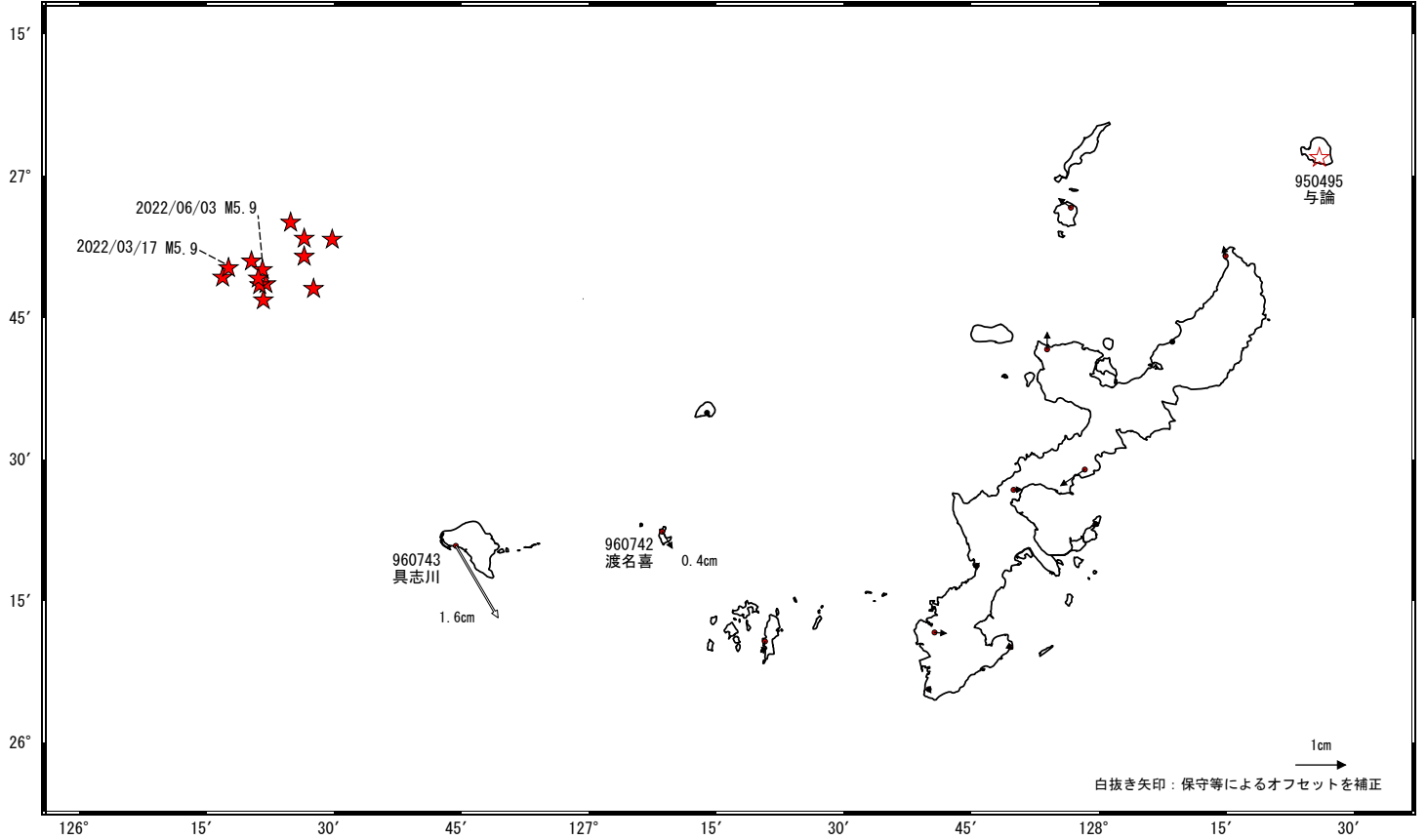
Mw 及び最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載。
 すべり量 (カラー) 及びすべりベクトルは水平面に投影したものを示す。
 推定したすべり量が標準偏差 (σ) の3倍以上のグリッドを青色表示している。

沖縄本島北西沖の地震活動時の観測データ（暫定）

地殻変動（水平）（一次トレンド除去後）

基準期間：2022/01/22～2022/01/28 [F5:最終解]
比較期間：2022/06/21～2022/06/27 [R5:速報解]

計算期間：2021/01/01～2021/12/31

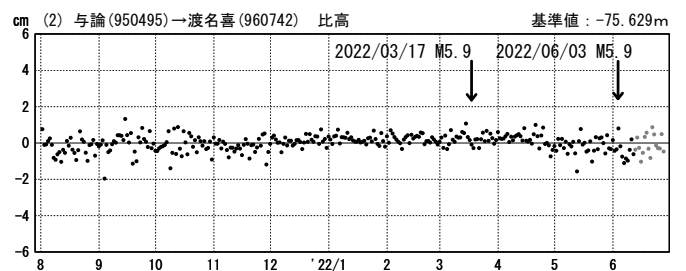
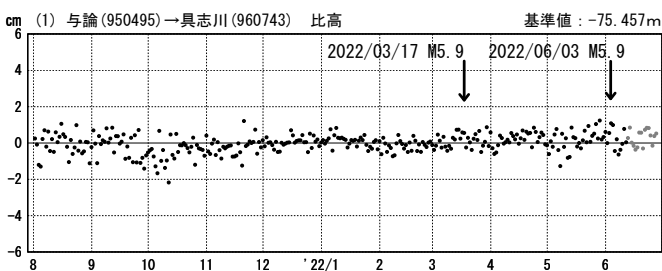
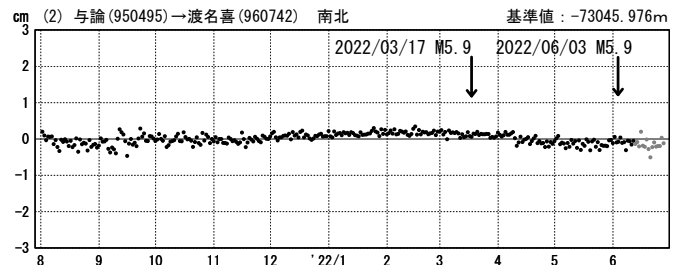
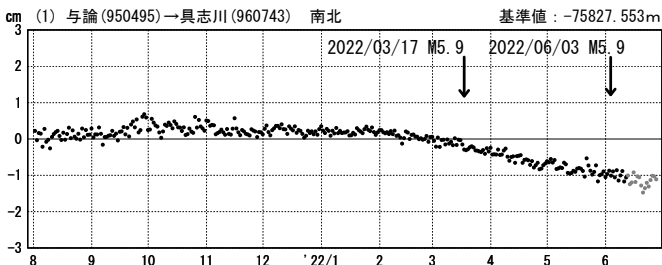
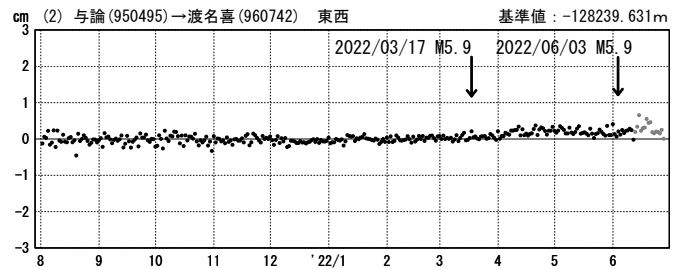
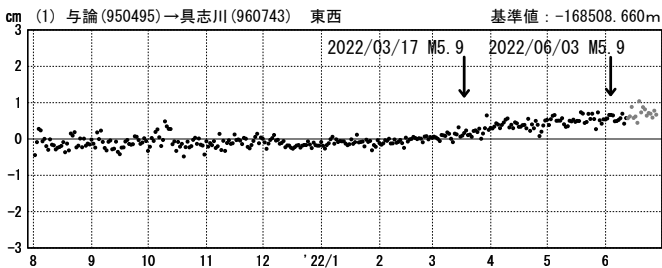


☆ 固定局：与論(950495) ★ 震央

1次トレンド除去後グラフ

期間：2021/08/01～2022/06/27 JST

期間：2021/08/01～2022/06/27 JST 計算期間：2021/01/01～2022/01/01

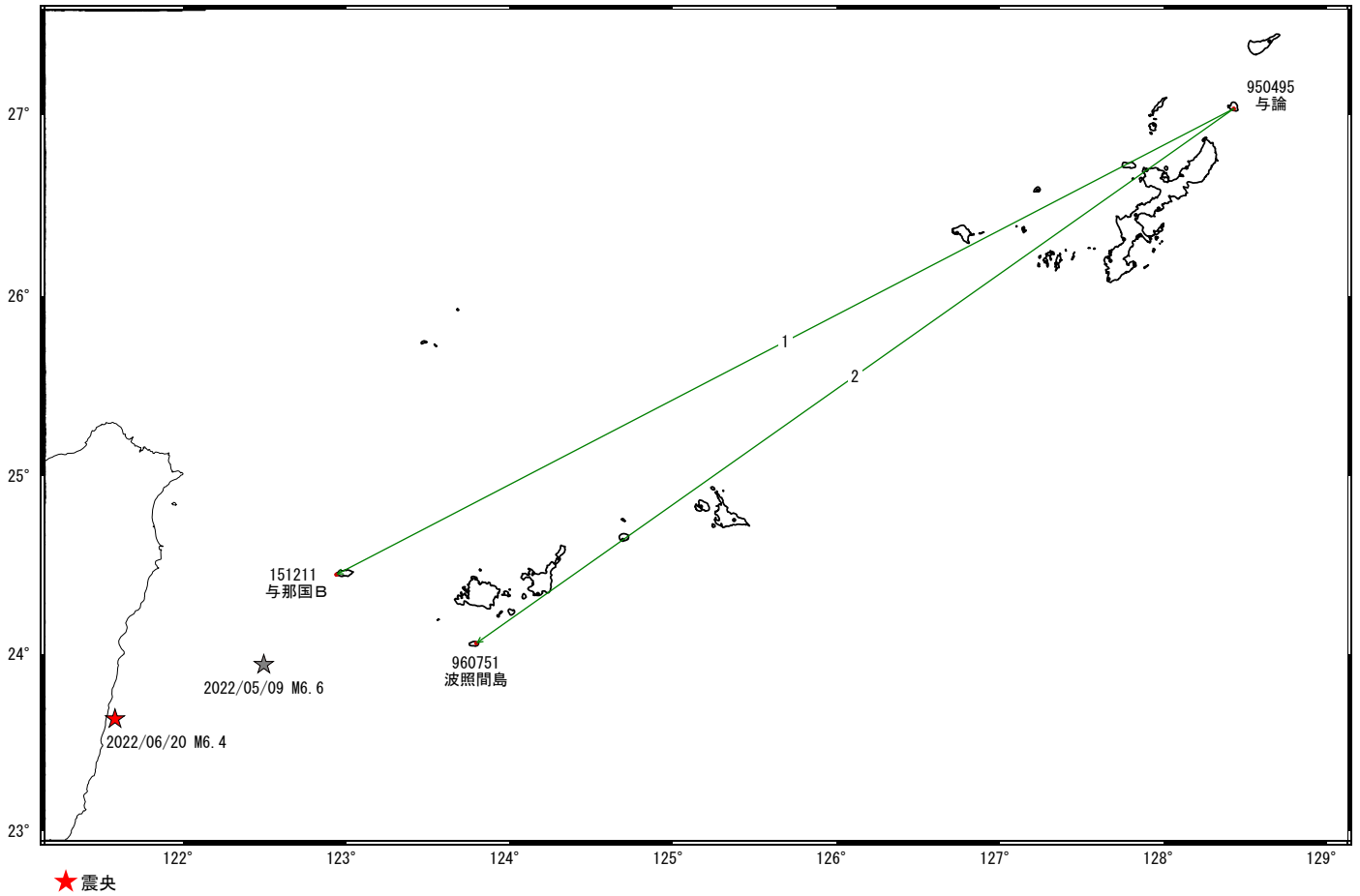


●--- [F5:最終解] ●--- [R5:速報解]

台湾付近の地震(6月20日 M6.4)前後の観測データ (暫定)

この地震に伴う顕著な地殻変動は見られない。

基線図

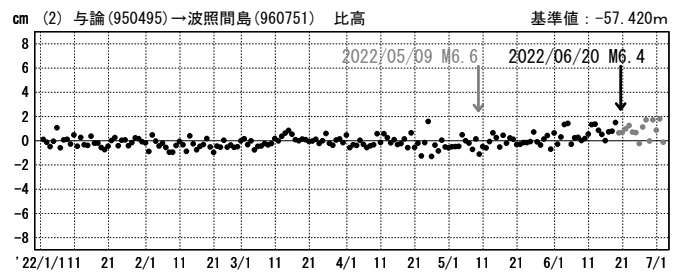
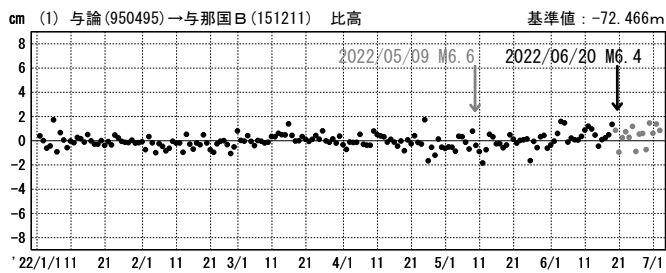
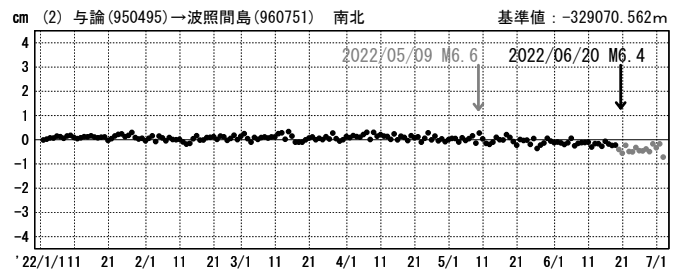
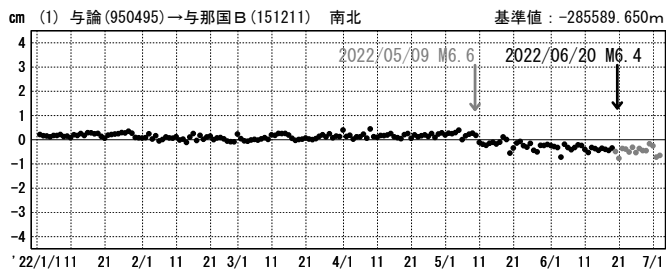
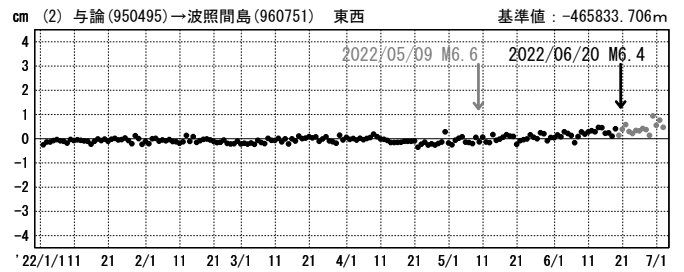
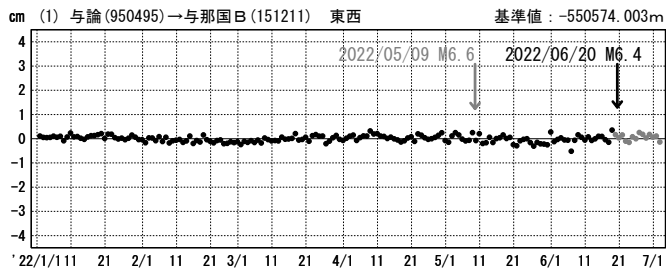


★震央

1次トレンド除去後グラフ

期間: 2022/01/01~2022/07/02 JST

期間: 2022/01/01~2022/07/02 JST 計算期間: 2022/01/01~2022/05/01



●—[F5:最終解] ●—[R5:速報解]

国土地理院

2022年6月21日アフガニスタンの地震 だいち2号 SAR 干渉解析結果

2022年6月21日（UTC）にアフガニスタンで発生した地震（Mw5.9、USGS）について、だいち2号のデータの解析を行った結果、地震に伴う地殻変動が検出された。（図1）

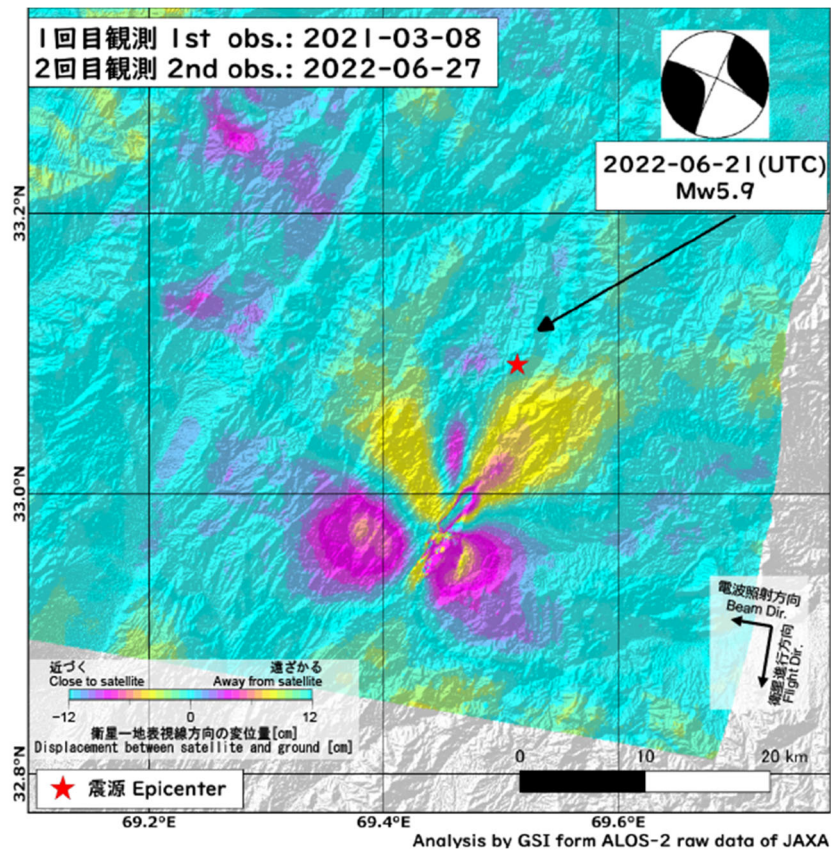


図 1. 干渉画像

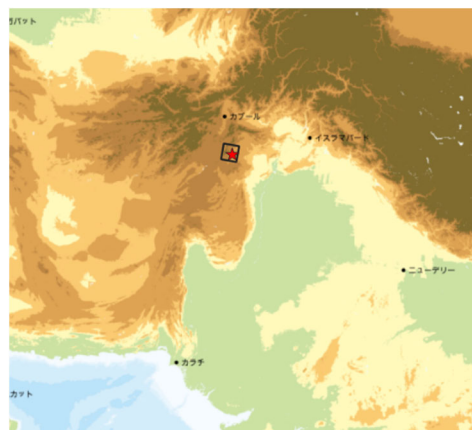


図 2. 解析エリア

表. 使用データ

図番号	観測日	観測時間 (UTC)	衛星進行方向	電波照射方向	観測モード	入射角 (震央付近)	垂直基線長
1	2021-03-08 2022-06-27	7:22 頃	南行	右	高分解能 (10m)	40.0°	-136m

本成果は、地震予知連絡会 SAR 解析ワーキンググループの活動を通して得られたものである。

GEONET による最近の地殻変動(水平)

(1) 最近の1年間の変動ベクトル図(全国)

比較手法 : 平均値比較

基準データ : 2021年06月19日～2021年06月25日

比較データ : 2022年06月19日～2022年06月25日

(2) 最近の1か月の変動ベクトル図(全国および地方毎)

比較手法 : 平均値比較

基準データ : 2022年05月19日～2022年05月25日

比較データ : 2022年06月19日～2022年06月25日

(3) 2期間の変動ベクトルの差(期間②のベクトル－期間①のベクトル)の図(1か月)

期間①のベクトル

比較手法 : 平均値比較

基準データ : 2021年05月11日～2021年05月25日

比較データ : 2021年06月11日～2021年06月25日

期間②のベクトル

比較手法 : 平均値比較

基準データ : 2022年05月11日～2022年05月25日

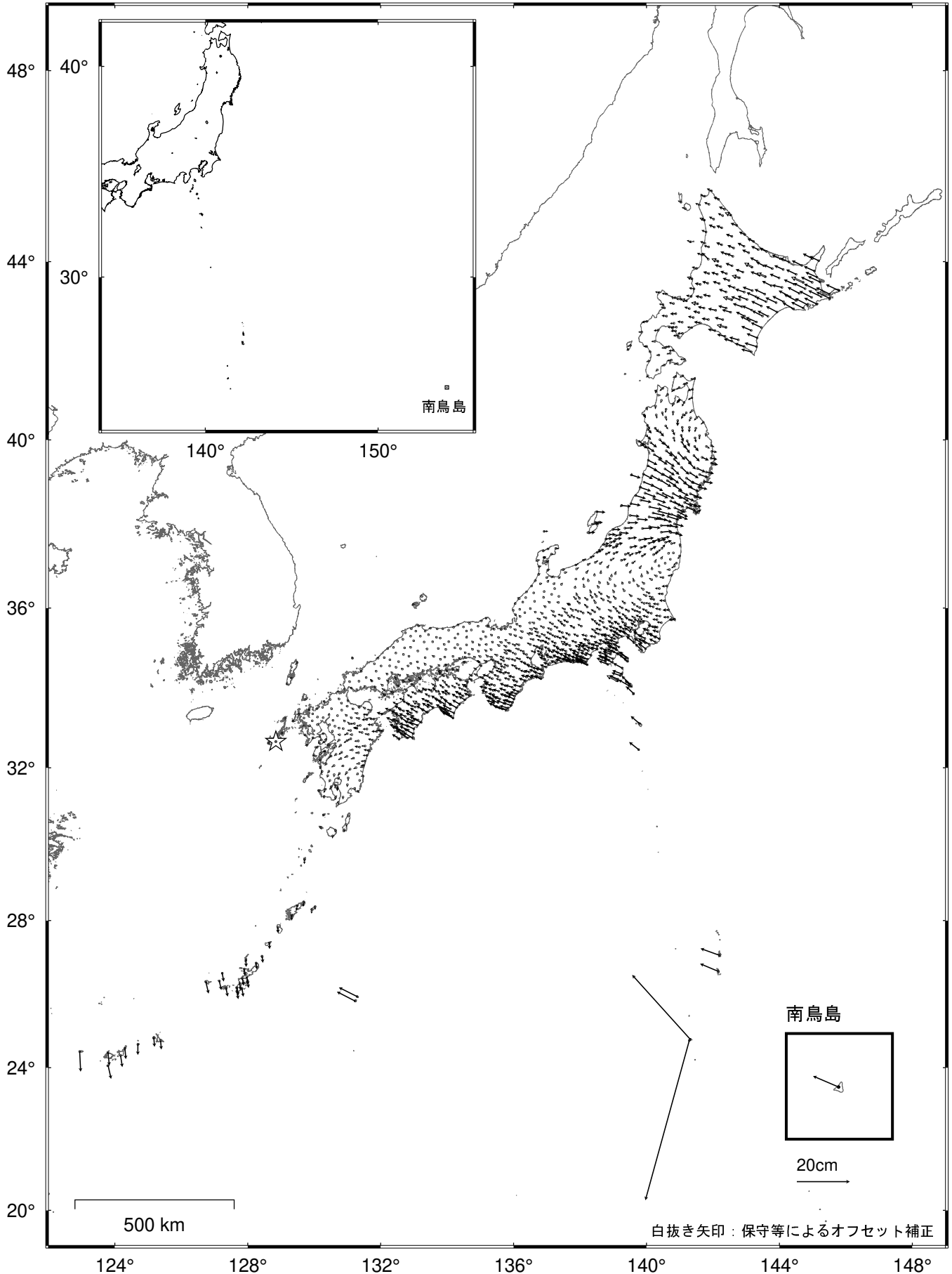
比較データ : 2022年06月11日～2022年06月25日

※第253回(2013年7月)から白抜き矢印の条件を期間①の基準期間と比較期間、期間②の基準期間と比較期間のそれぞれの間にオフセットがある場合とした。

全国の地殻変動（水平） - 1年間 -

基準期間：2021/06/19 -- 2021/06/25 [F5：最終解]

比較期間：2022/06/19 -- 2022/06/25 [R5：速報解]



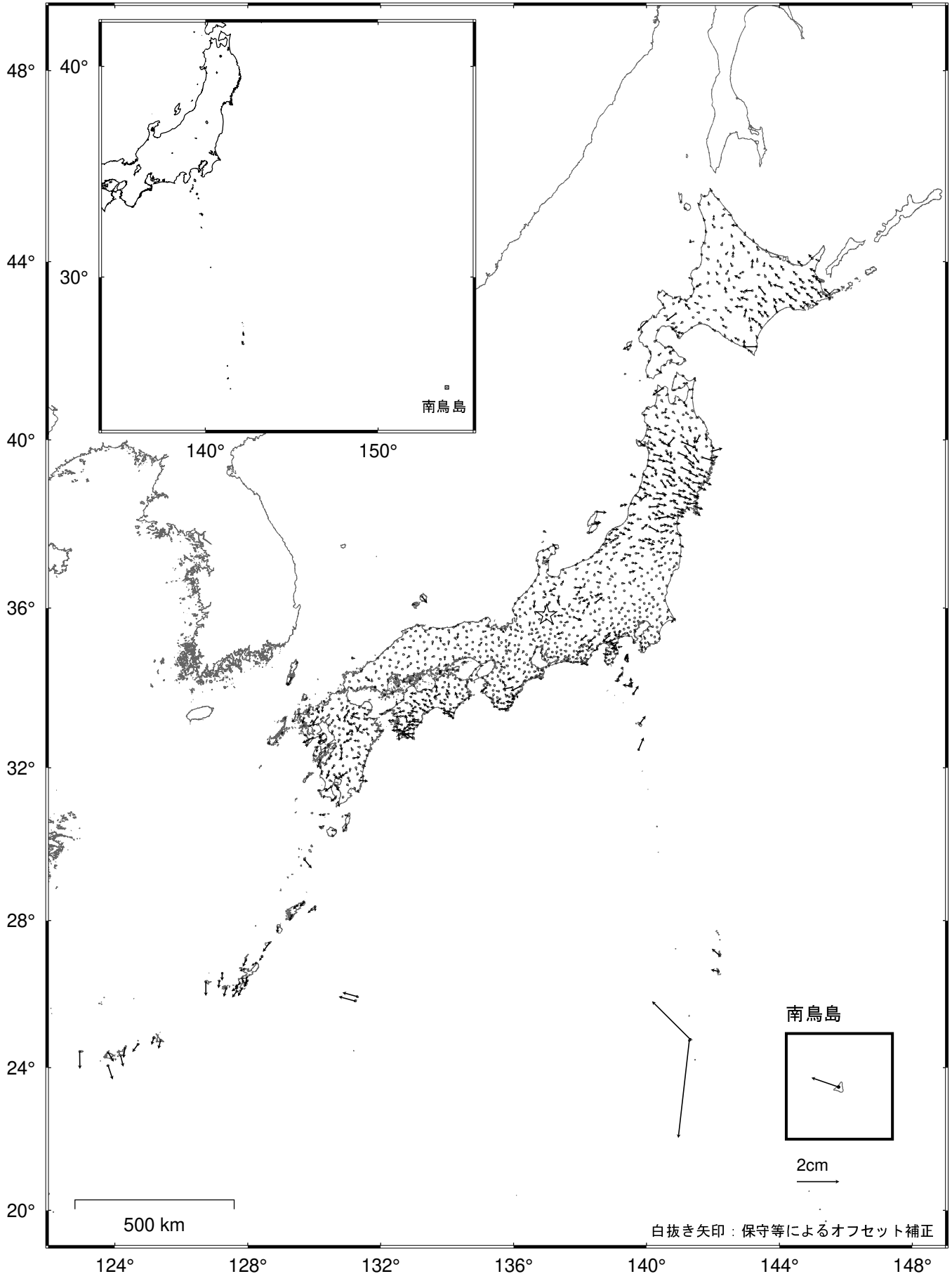
☆ 固定局：福江（長崎県）

- ・ 東北地方を中心とした広い範囲で、平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震後の余効変動が見られる。
- ・ 宮城県及び福島県の太平洋沿岸で、2022年3月16日に発生した福島県沖の地震に伴う地殻変動が見られる。
- ・ 硫黄島では、島内の地殻変動が見られる。
- ・ その他の地方では、プレート運動による定常的な地殻変動が見られる。

全国の地殻変動（水平）－1か月－

基準期間：2022/05/19 -- 2022/05/25 [F5：最終解]

比較期間：2022/06/19 -- 2022/06/25 [R5：速報解]



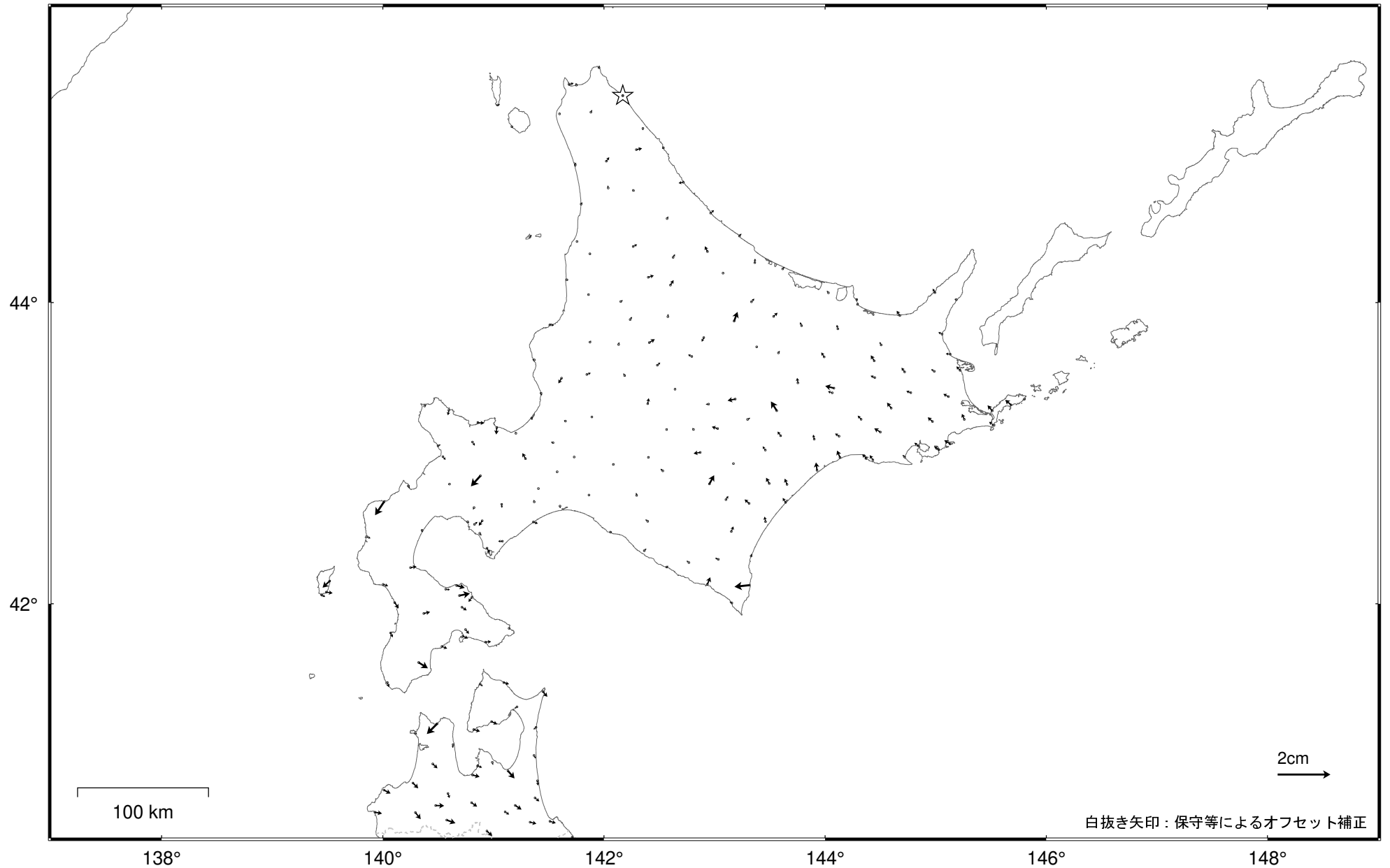
☆ 固定点：白鳥・荘川・板取・加茂白川・萩原の平均値（岐阜県）

- ・ 東北地方を中心に、平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震後の余効変動が見られる。
- ・ 硫黄島では、島内の地殻変動が見られる。

北海道地方の地殻変動（水平）－1か月－

基準期間：2022/05/19 -- 2022/05/25 [F 5：最終解]

比較期間：2022/06/19 -- 2022/06/25 [R 5：速報解]

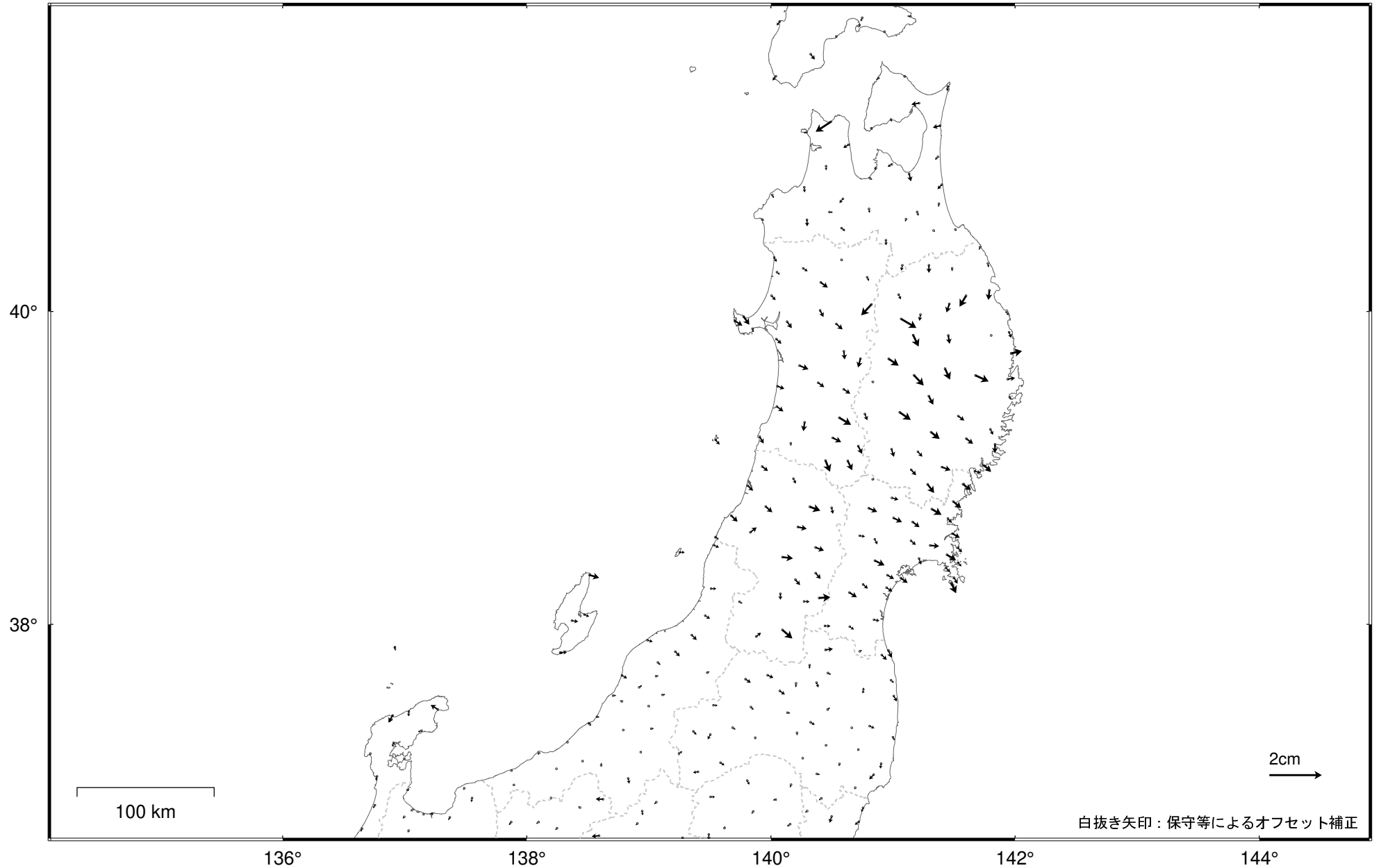


☆ 固定局：猿払（北海道） ・ 特段の変化は見られない。

東北地方の地殻変動（水平）－1か月－

基準期間：2022/05/19 -- 2022/05/25 [F 5：最終解]

比較期間：2022/06/19 -- 2022/06/25 [R 5：速報解]

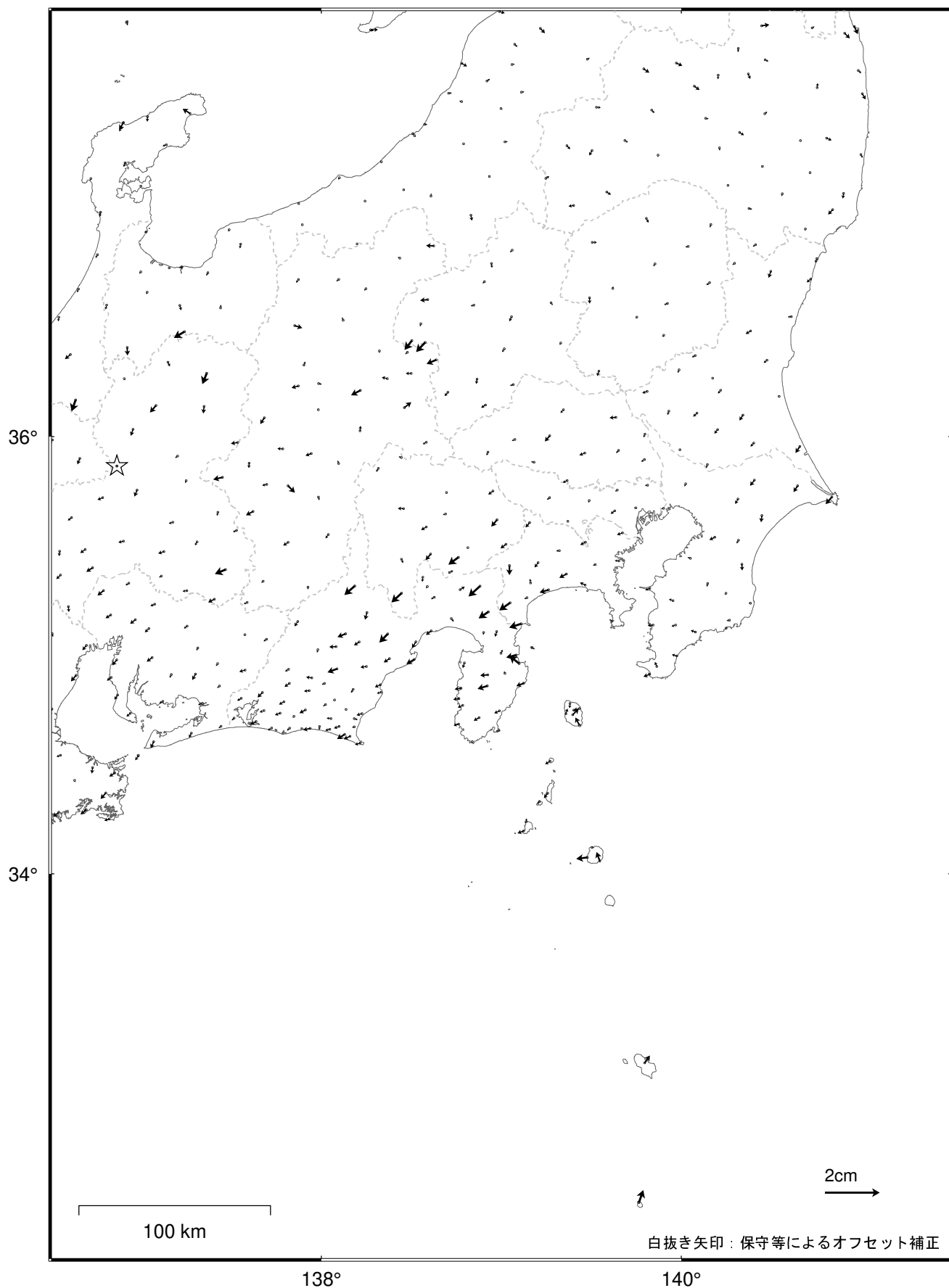


☆ 固定局：白鳥（岐阜県） ・平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震後の余効変動が見られる。

関東・中部地方の地殻変動（水平）－1か月－

基準期間：2022/05/19 -- 2022/05/25 [F5：最終解]

比較期間：2022/06/19 -- 2022/06/25 [R5：速報解]



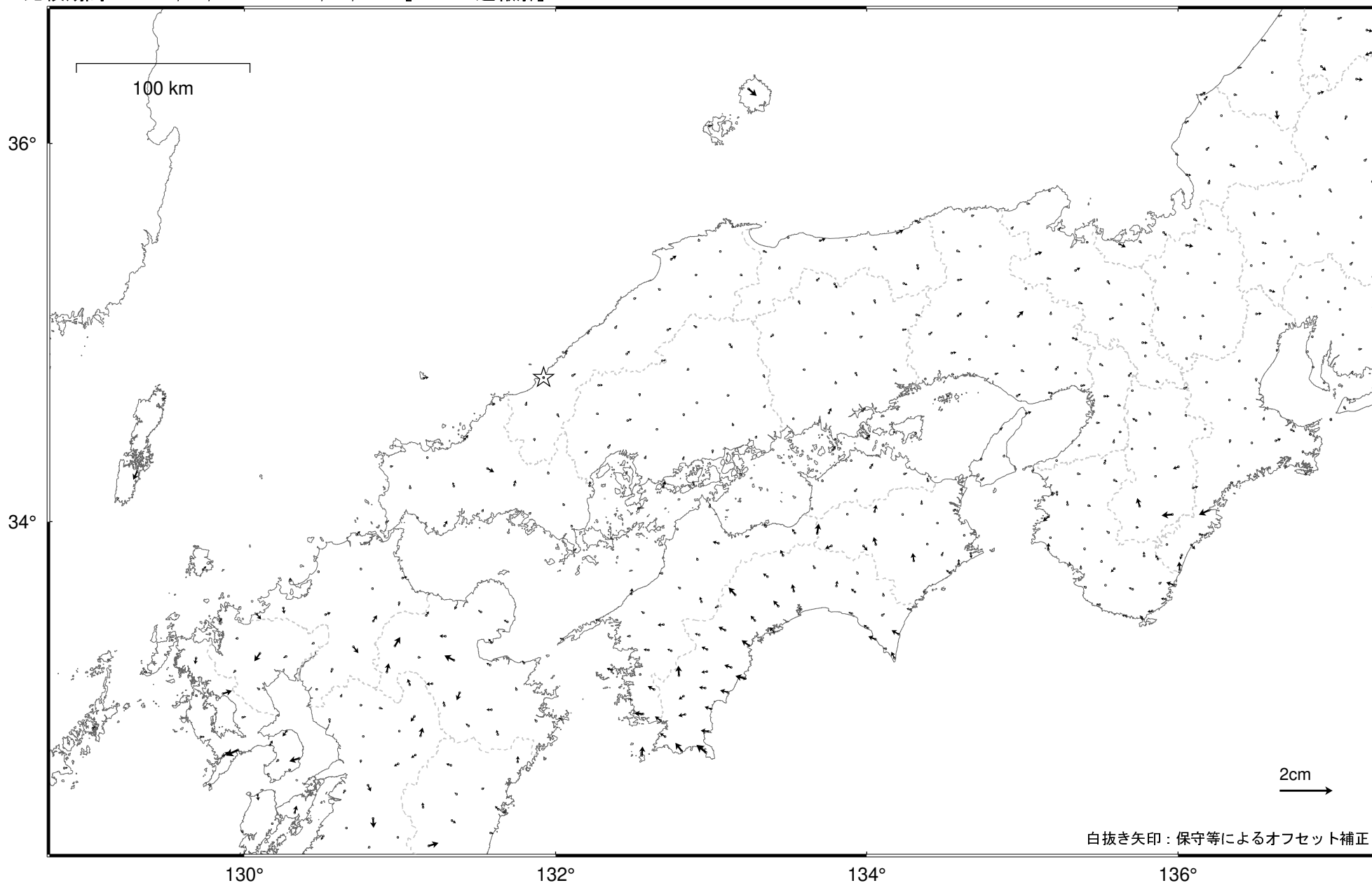
☆ 固定局：白鳥（岐阜県）

・ 特段の変化は見られない。

近畿・中国・四国地方の地殻変動（水平）－1か月－

基準期間：2022/05/19 -- 2022/05/25 [F 5：最終解]

比較期間：2022/06/19 -- 2022/06/25 [R 5：速報解]

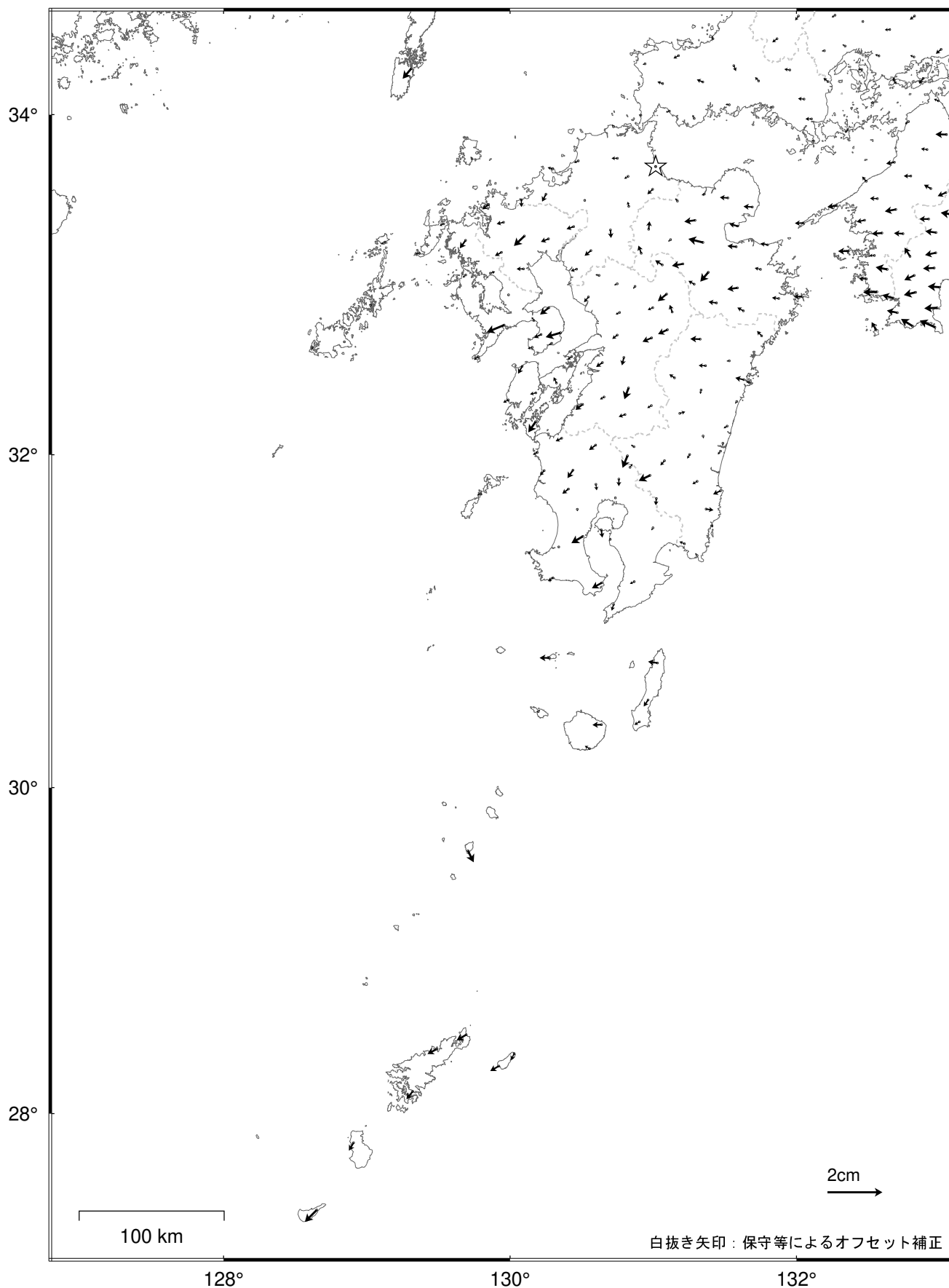


☆ 固定局：三隅（島根県） ・ 特段の変化は見られない。

九州地方の地殻変動（水平） — 1 か月 —

基準期間：2022/05/19 -- 2022/05/25 [F5：最終解]

比較期間：2022/06/19 -- 2022/06/25 [R5：速報解]



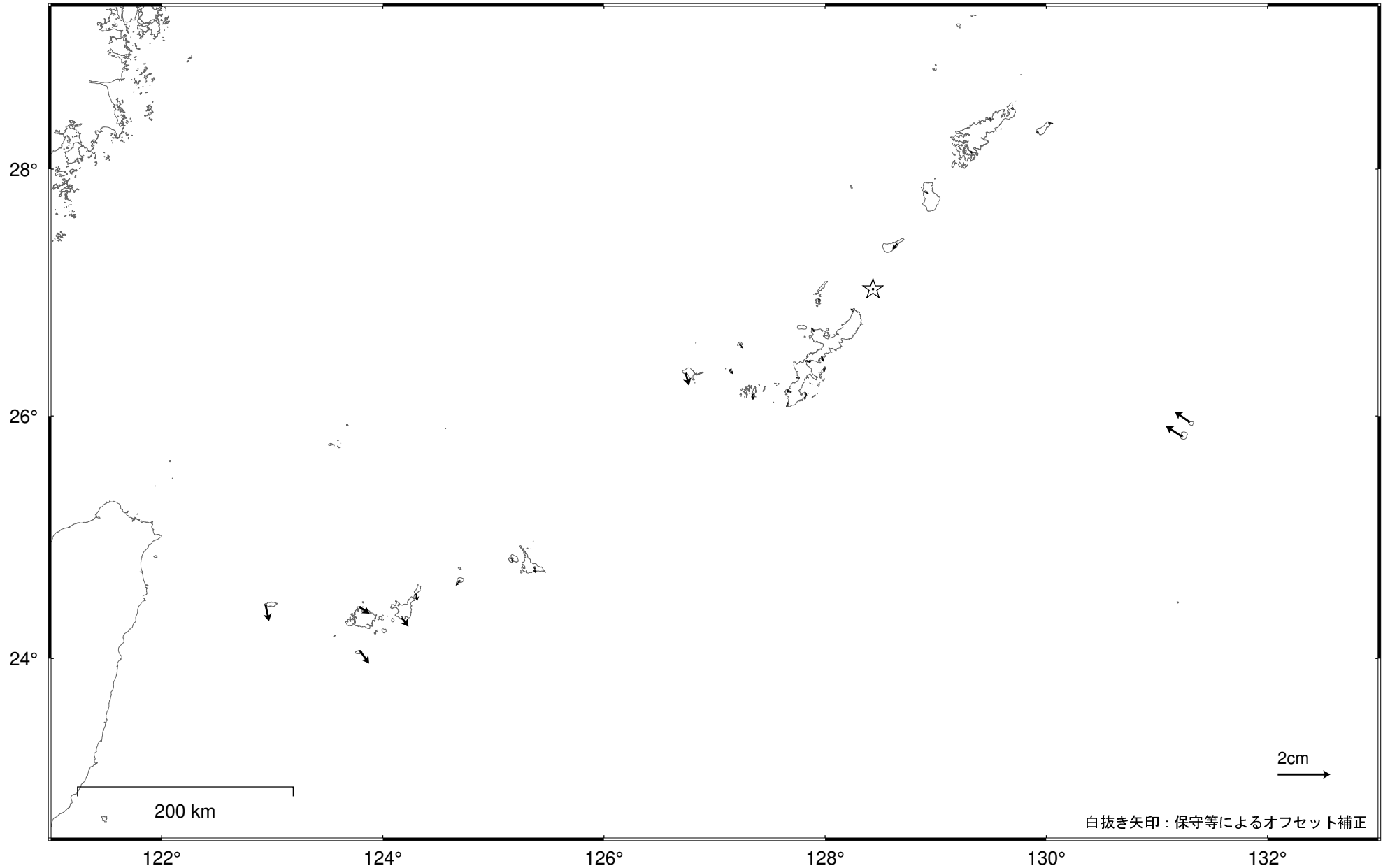
☆ 固定局：行橋（福岡県）

・ 特段の変化は見られない。

沖縄地方の地殻変動（水平）－1か月－

基準期間：2022/05/19 -- 2022/05/25 [F 5：最終解]

比較期間：2022/06/19 -- 2022/06/25 [R 5：速報解]



☆ 固定局：与論（鹿児島県）・先島諸島では、定常とは異なる地殻変動が見られる。

2期間の地殻水平変動ベクトルの差—1か月—

基準期間：2021/05/11 -- 2021/05/25 [F 5：最終解]

比較期間：2021/06/11 -- 2021/06/25 [F 5：最終解]

基準期間：2022/05/11 -- 2022/05/25 [F 5：最終解]

比較期間：2022/06/11 -- 2022/06/25 [R 5：速報解]



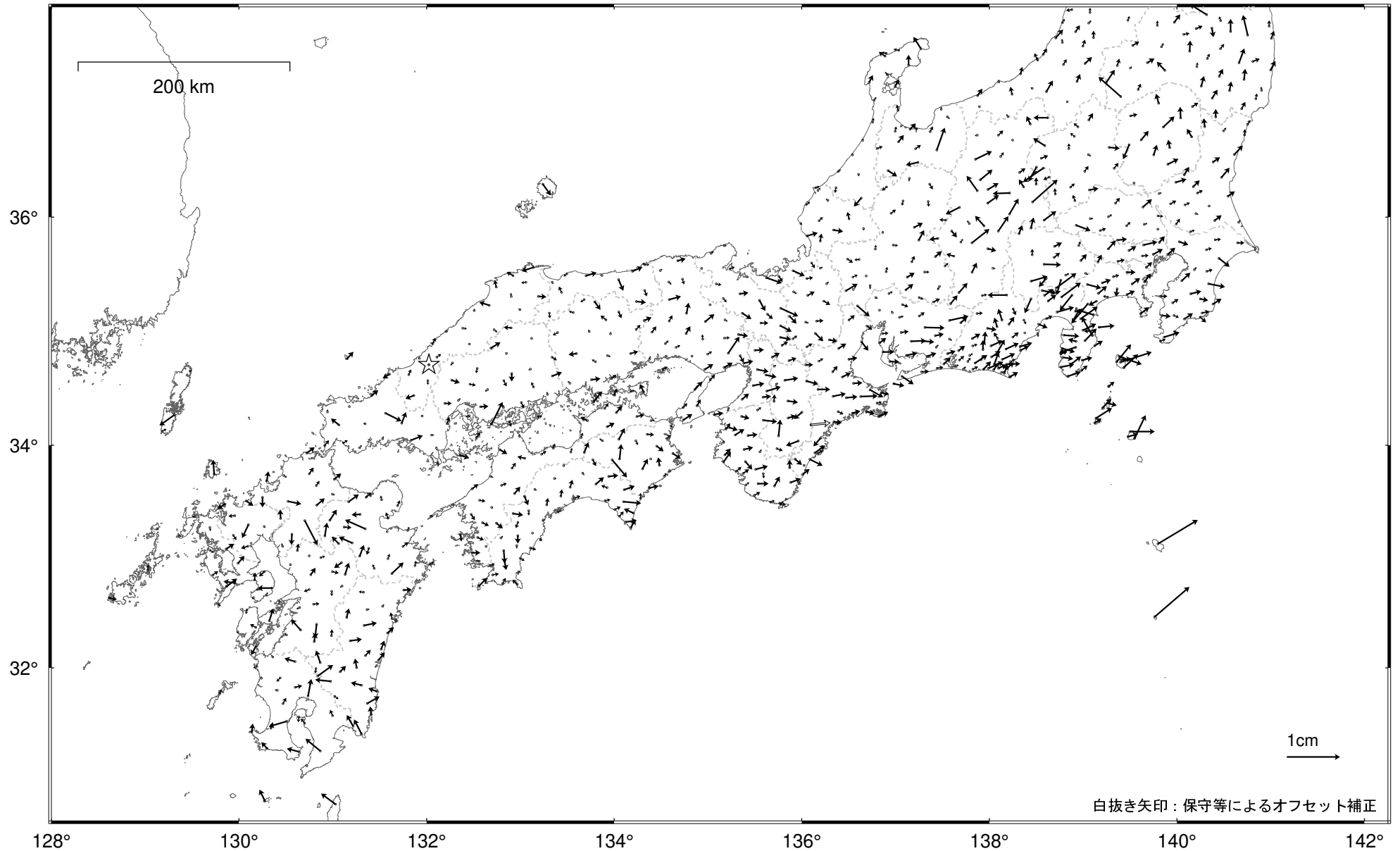
☆ 固定点：猿払・稚内3・稚内・稚内4・浜頓別の平均値（北海道）

・ 特段の変化は見られない。

2期間の地殻水平変動ベクトルの差-1か月-

基準期間：2021/05/11 -- 2021/05/25 [F 5：最終解]
比較期間：2021/06/11 -- 2021/06/25 [F 5：最終解]

基準期間：2022/05/11 -- 2022/05/25 [F 5：最終解]
比較期間：2022/06/11 -- 2022/06/25 [R 5：速報解]



☆ 固定点：三隅・江津・弥栄・匹見・柿木の平均値（島根県）
・ 特段の変化は見られない。

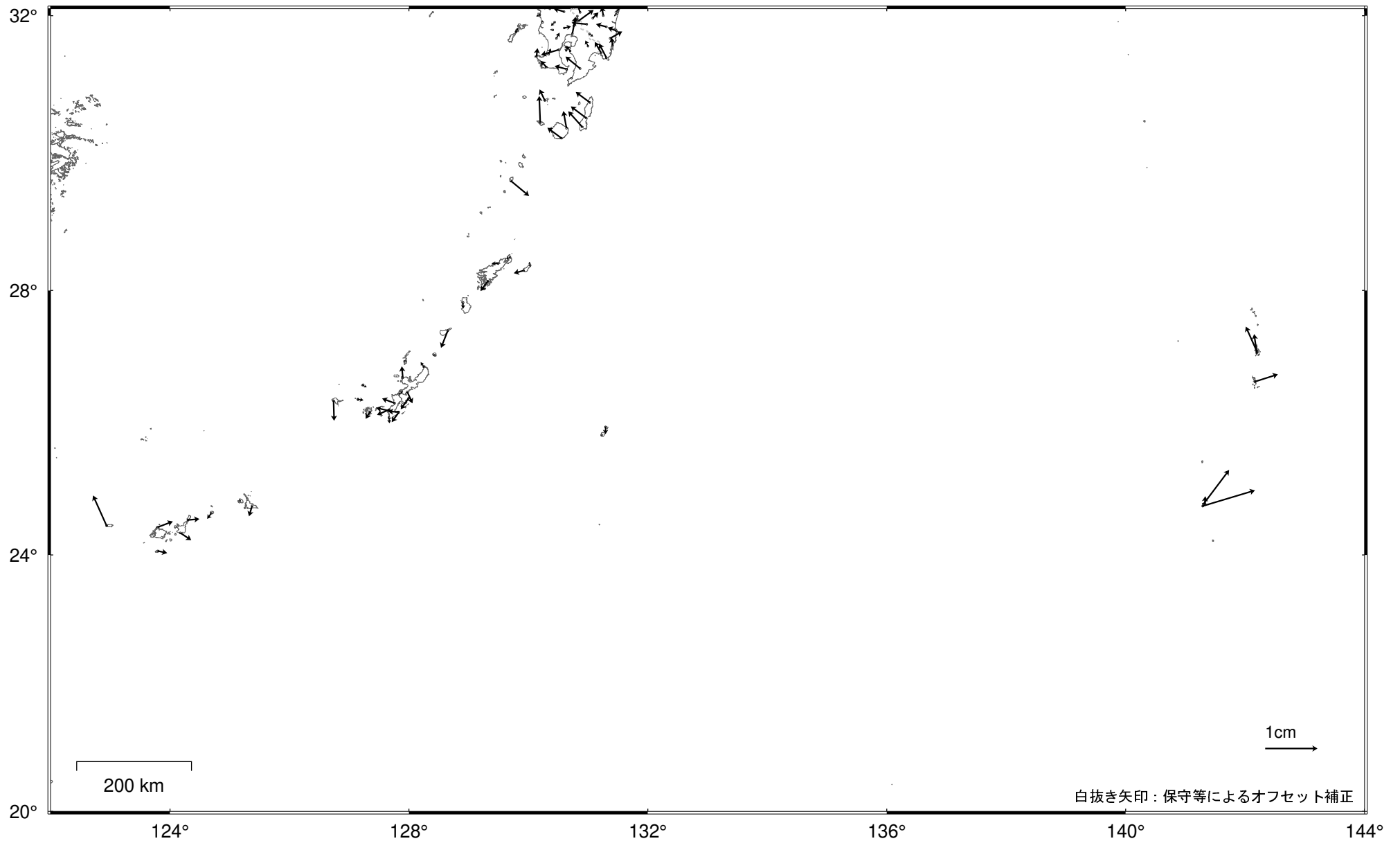
2期間の地殻水平変動ベクトルの差-1か月-

基準期間：2021/05/11 -- 2021/05/25 [F 5：最終解]

比較期間：2021/06/11 -- 2021/06/25 [F 5：最終解]

基準期間：2022/05/11 -- 2022/05/25 [F 5：最終解]

比較期間：2022/06/11 -- 2022/06/25 [R 5：速報解]



☆ 固定点：三隅・江津・弥栄・匹見・柿木の平均値（島根県）

- ・硫黄島では、島内の地殻変動が見られる。
- ・与那国島では、2021年5月に発生した地震活動に伴う地殻変動の影響が見られる。

国土地理院